

在宅介護実態調査報告書

令和8年3月

大 垣 市

目次

1	調査の概要	0
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査の設計	1
	(3) 回収結果	1
	(4) 報告書の見方	1
	(5) 集計・分析における留意点	1
2	要介護認定データ	3
	(1) 年齢	3
	(2) 性別	3
	(3) 二次判定結果（要介護度）	4
	(4) 障害高齢者の日常生活自立度	4
	(5) 認知症高齢者の日常生活自立度	5
	(6) サービス利用の組み合わせ	5
	(7) 訪問系サービスの合計利用回数	10
	(8) 通所系サービスの合計利用回数	10
	(9) 短期系サービスの合計利用回数	11
3	基本調査項目（A票）	12
	(1) 世帯類型	12
	(2) 家族等による介護の頻度	13
	(3) 主な介護者の本人との関係	16
	(4) 主な介護者の性別	17
	(5) 主な介護者の年齢	18
	(6) 主な介護者が行っている介護	20
	(7) 介護のための離職の有無	24
	(8) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況	25
	(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス	31
	(10) 施設等への入所・入居の検討状況	41
	(11) 本人が抱えている傷病	48
	(12) 訪問診療の利用の有無	50
	(13) 介護保険サービスの利用の有無	52
	(14) 介護保険サービス未利用の理由	53
4	主な介護者様用の調査項目（B票）	56
	(1) 主な介護者の勤務形態	56
	(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	57
	(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援	60
	(4) 主な介護者の就労継続見込み	62
	(5) 主な介護者が不安に感じる介護等	65

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、第10期大垣市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定にあたって、要支援・要介護認定を受け在宅で生活している人及びその介護者から、要介護者の在宅生活の実態や家族介護者の就労実態などを把握し、基礎資料とすることを目的とします。

(2) 調査の設計

本調査は、次のとおり設計し、実施しました。

調査対象者	調査期間	調査方法
要支援・要介護認定を受け、在宅で生活している人	令和7年10月17日～ 令和7年11月19日	郵送による配布、回収

(3) 回収結果

調査項目（A票）（B票）の回収数は、次のとおりです。

回収数	有効回答数
770	770

(4) 報告書の見方

- 図表中のn（Number of Caseの略）は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示しています。
- 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、パーセントの合計が100%にならない場合があります。
- 性別、年齢、要介護度、サービスの利用実績等については、要介護認定データを用いています。
- クロス集計のグラフを見やすくするため、比較対象となる項目の回答が不明な場合を除いて集計しています。したがって、比較対象となる項目の合計は全体の合計と一致しません。

(5) 集計・分析における留意点

本集計・分析では、1か月あたりの介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「サービス・活動事業」も含まれます。

それぞれ用語の定義は、次のとおりです。

<サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用 語		定 義
未利用		「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		訪問介護、訪問介護相当サービス、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		通所介護、通所介護相当サービス、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	(介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

<サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

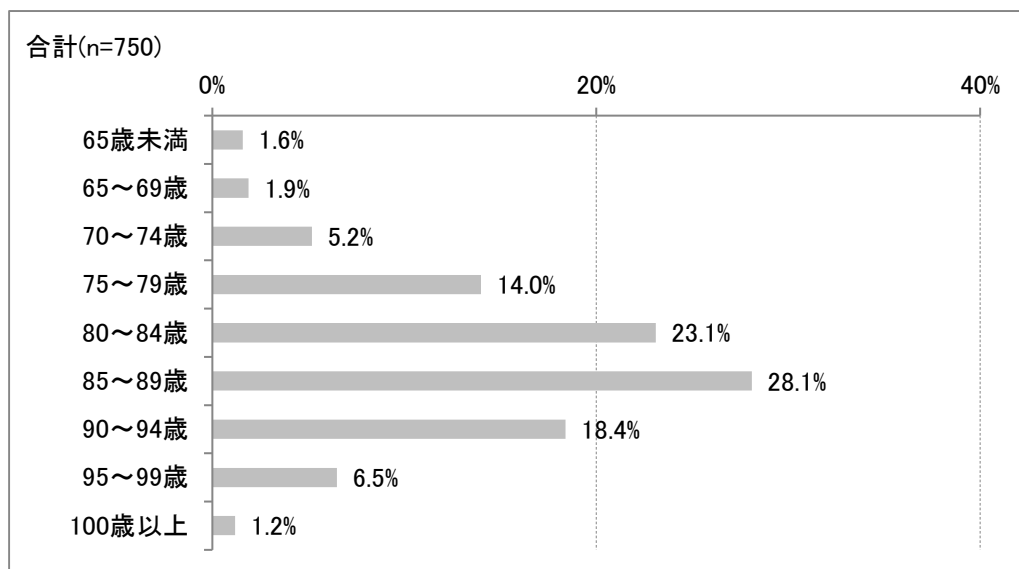
用 語		定 義
未利用		上表に同じです。
訪問系のみ		上表の「訪問系」又は「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ		上表の「訪問系(又は定期巡回)」+「通所系」、「訪問系(又は定期巡回)」+「短期系」、「訪問系(又は定期巡回)」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ		上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。

2 要介護認定データ

(1) 年齢

要介護認定者の年齢は、「85～89歳」が28.1%と最も多くなっています。次いで、「80～84歳」が23.1%、「90～94歳」が18.4%となっています。

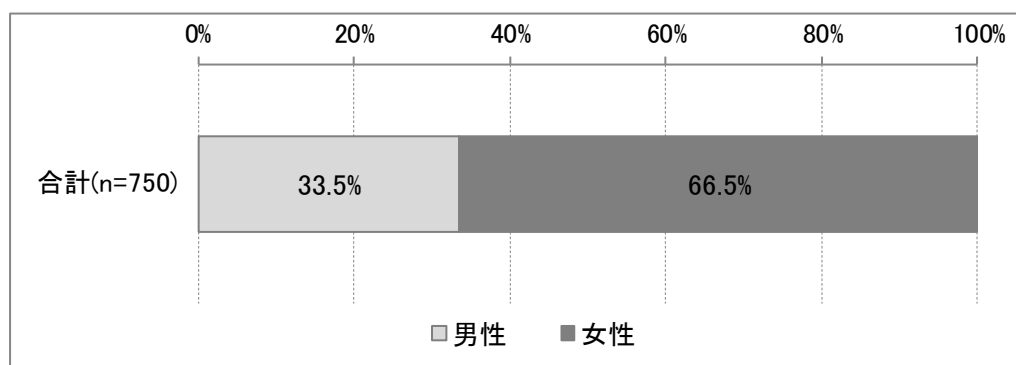
図表 1-1 年齢



(2) 性別

要介護認定者の性別は、「男性」が33.5%、「女性」が66.5%と女性の割合が高くなっています。

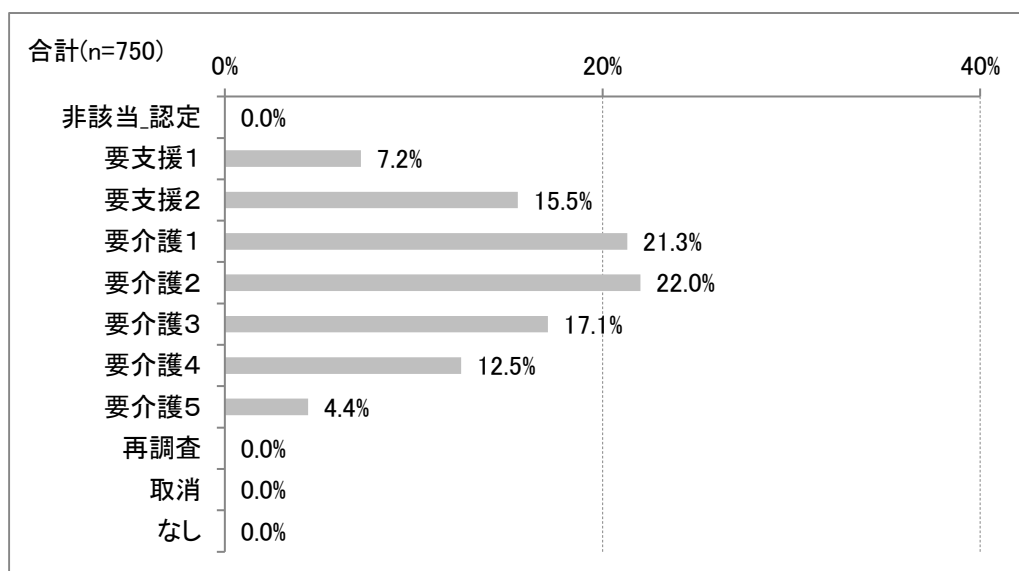
図表 1-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

二次判定結果（要介護度）は、「要介護2」が22.0%と最も多くなっています。次いで、「要介護1」が21.3%、「要介護3」が17.1%、「要支援2」が15.5%、「要介護4」が12.5%、「要支援1」が7.2%、「要介護5」が4.4%となっています。

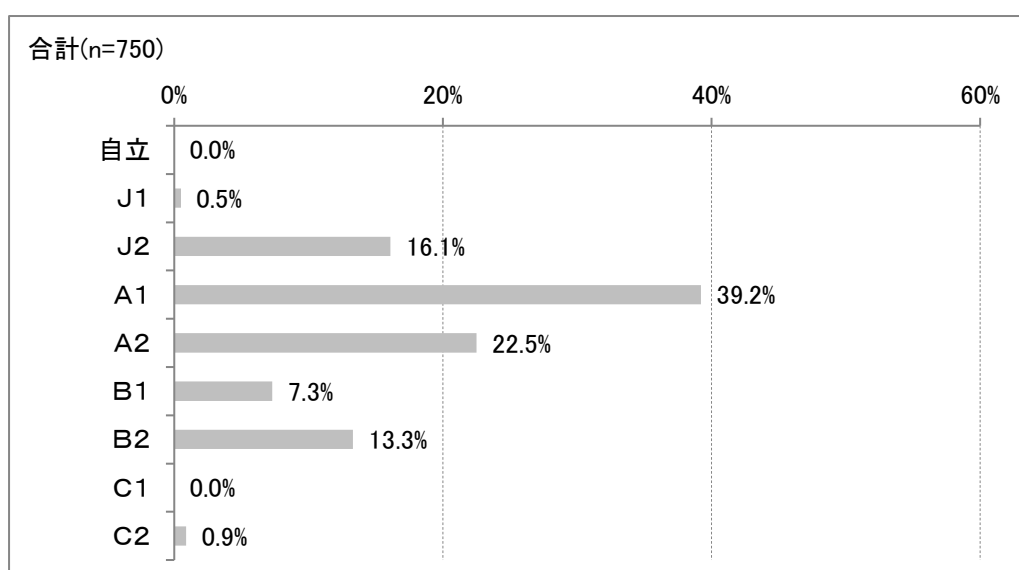
図表 1-3 二次判定結果



(4) 障害高齢者の日常生活自立度

障害高齢者の日常生活自立度は、「A1」が39.2%と最も多くなっています。次いで、「A2」が22.5%、「J2」が16.1%、「B2」が13.3%となっています。

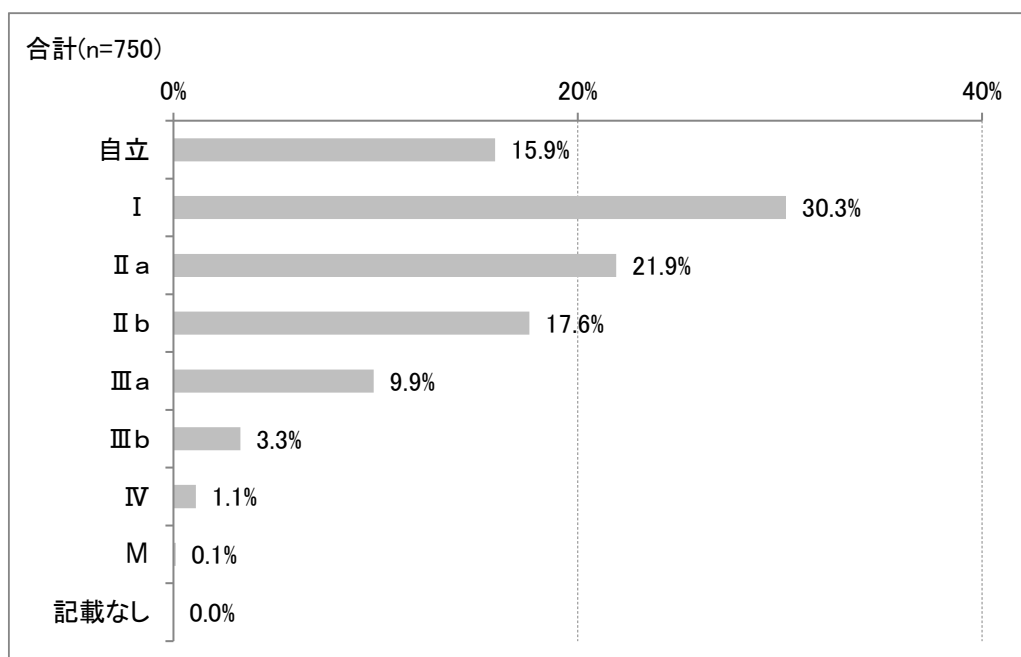
図表 1-4 障害高齢者の日常生活自立度



(5) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は、「I」が30.3%と最も多くなっています。次いで、「II a」が21.9%、「II b」が17.6%、「自立」が15.9%となっています。

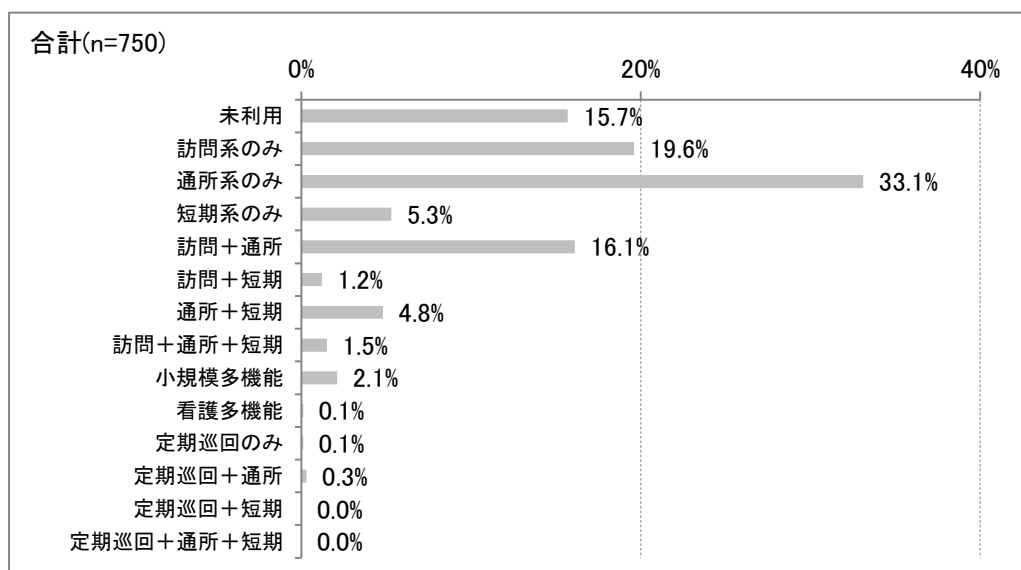
図表 1-5 認知症高齢者の日常生活自立度



(6) サービス利用の組み合わせ

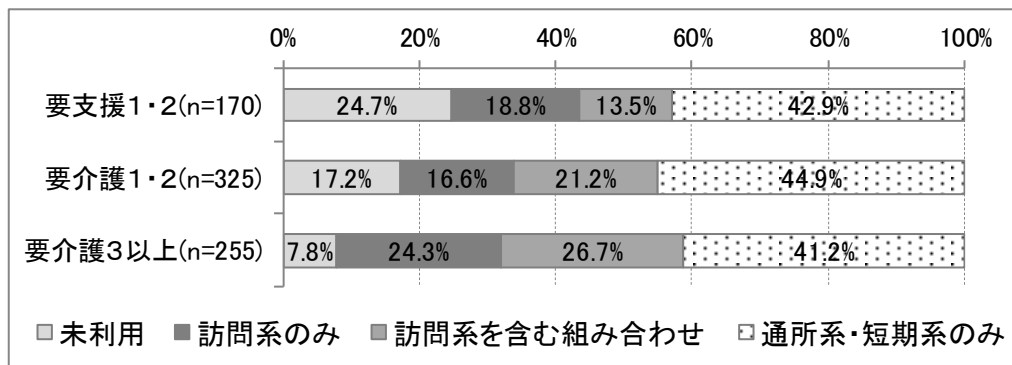
介護保険サービス利用の組み合わせは、「通所系のみ」が33.1%と最も多くなっています。次いで、「訪問系のみ」が19.6%、「訪問+通所」が16.1%となっています。

図表 1-6 サービス利用の組み合わせ



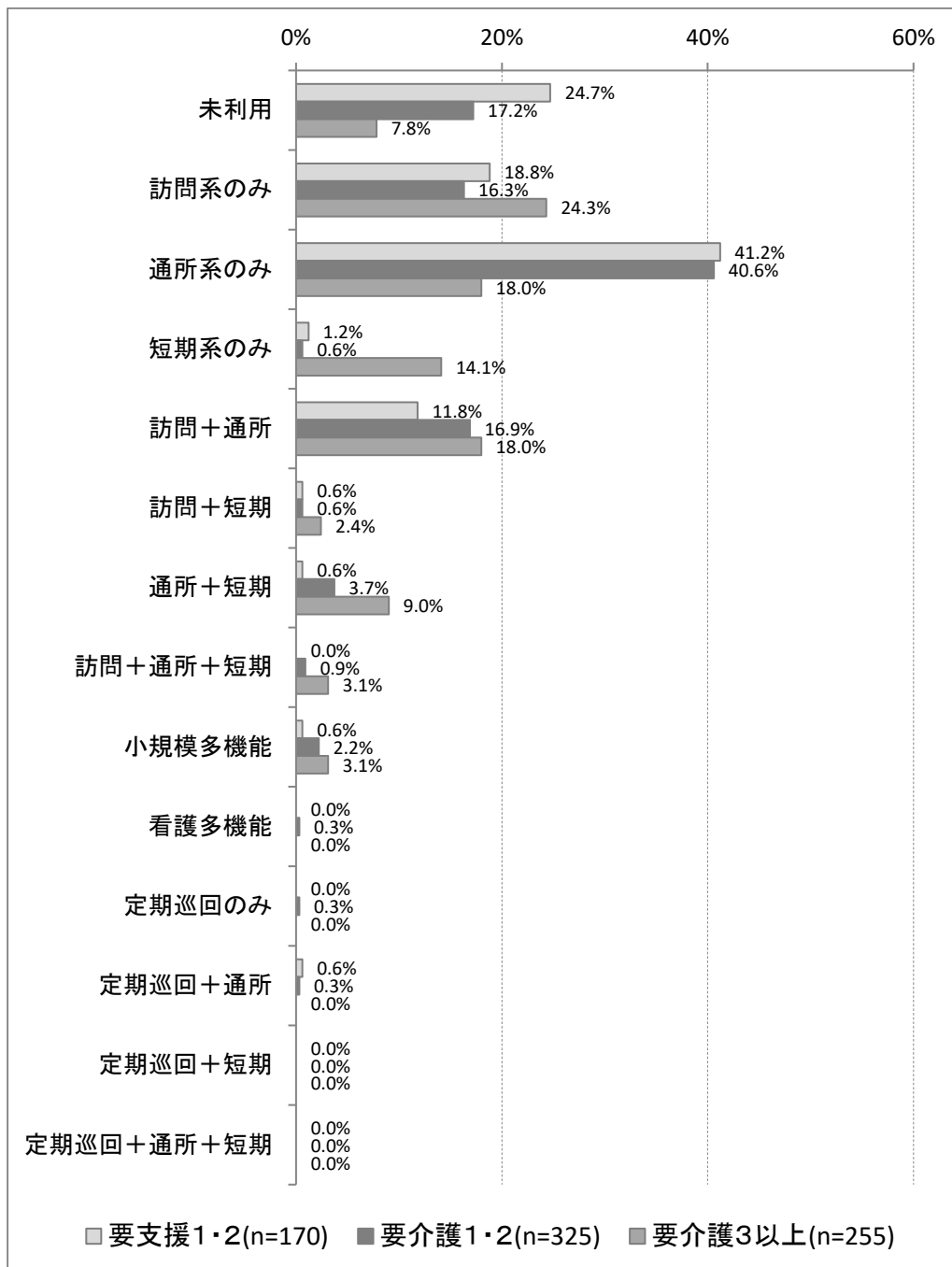
要介護度別にサービス利用の組み合わせをみると、いずれの要介護度においても「通所系・短期系のみ」が最も多く、40%以上となっています。また、要介護度が重度になるにつれ「未利用」の割合が低くなっています。

図表 1-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



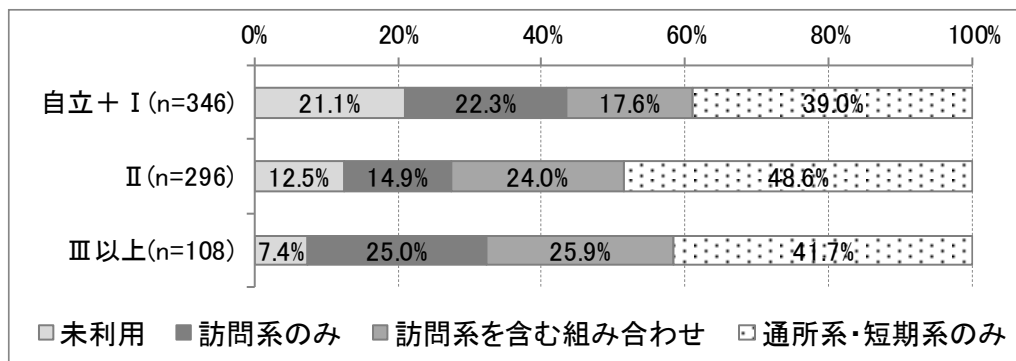
要介護度別にサービス利用の組み合わせを詳細にみると、要支援1・2及び要介護1・2では「通所系のみ」がそれぞれ41.2%、40.6%となっています。一方、要介護3以上では、「通所系のみ」が18.0%にとどまり、「訪問系のみ」が24.3%、「訪問+通所」が18.0%、「通所+短期」が9.0%と、訪問系や他種のサービスを組み合わせた利用の割合が高くなっています。

図表 1-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ



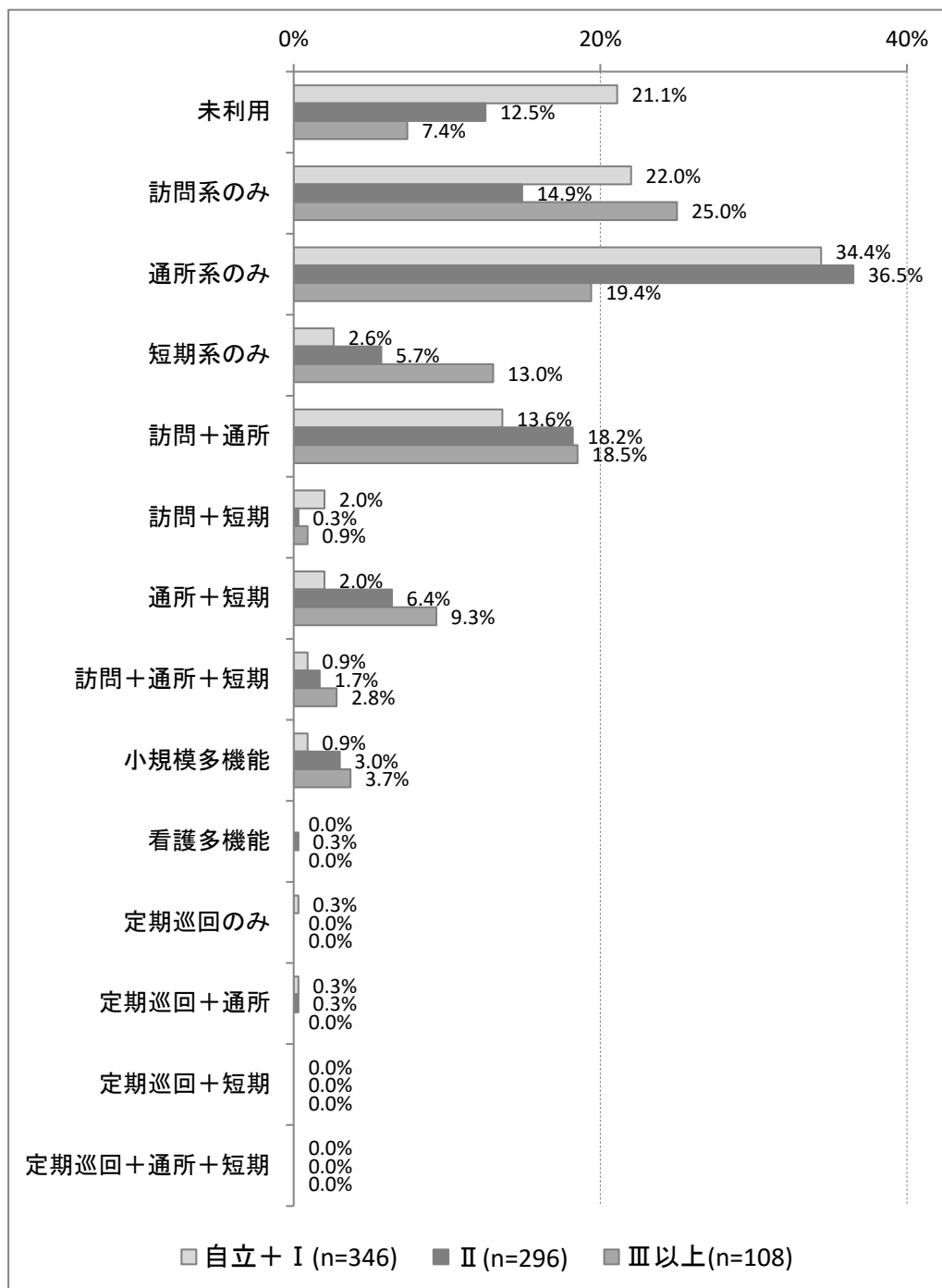
認知症自立度別にサービス利用の組み合わせをみると、いずれの認知症自立度においても「通所系・短期系のみ」が最も多く、40～50%程度となっています。

図表 1-9 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



認知症自立度別にサービス利用の組み合わせを詳細にみると、自立+ⅠおよびⅡでは「通所系のみ」がそれぞれ34.4%、36.5%となっている一方、Ⅲ以上では、19.4%にとどまり、「訪問系のみ」「短期系のみ」「通所+短期」の割合が比較的高くなっています。

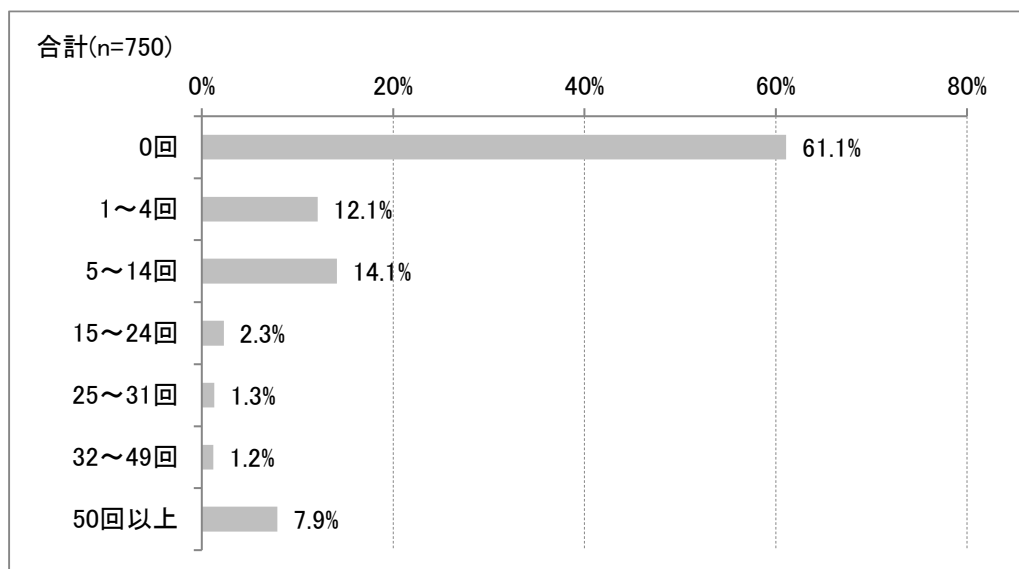
図表 1-10 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ



(7) 訪問系サービスの合計利用回数

訪問系サービスの合計利用回数は、「0回」が61.1%と最も多くなっています。次いで、「5～14回」が14.1%、「1～4回」が12.1%となっています。

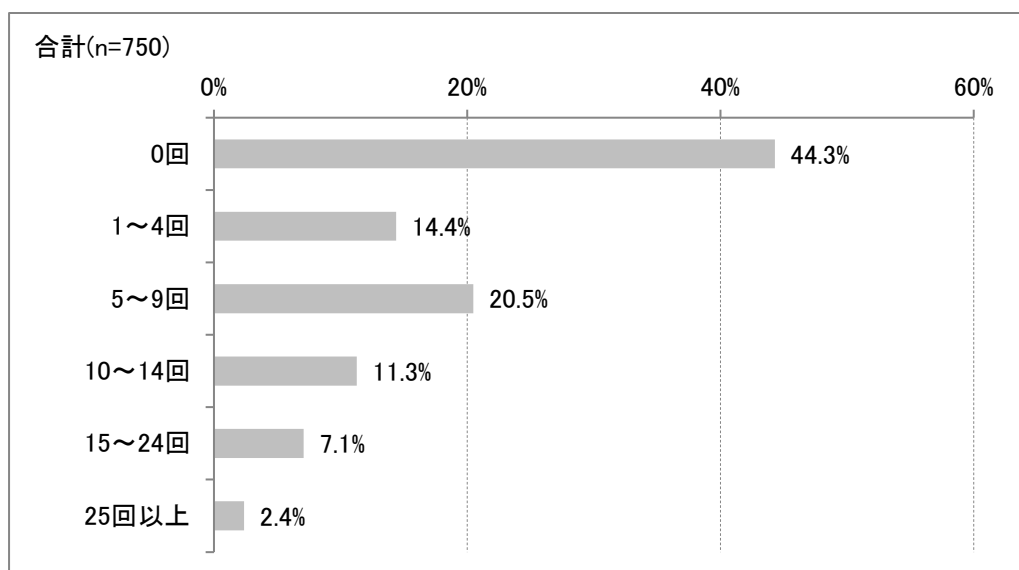
図表 1-11 サービスの利用回数（訪問系）



(8) 通所系サービスの合計利用回数

通所系サービスの合計利用回数は、「0回」が44.3%と最も多くなっています。次いで、「5～9回」が20.5%、「1～4回」が14.4%となっています。

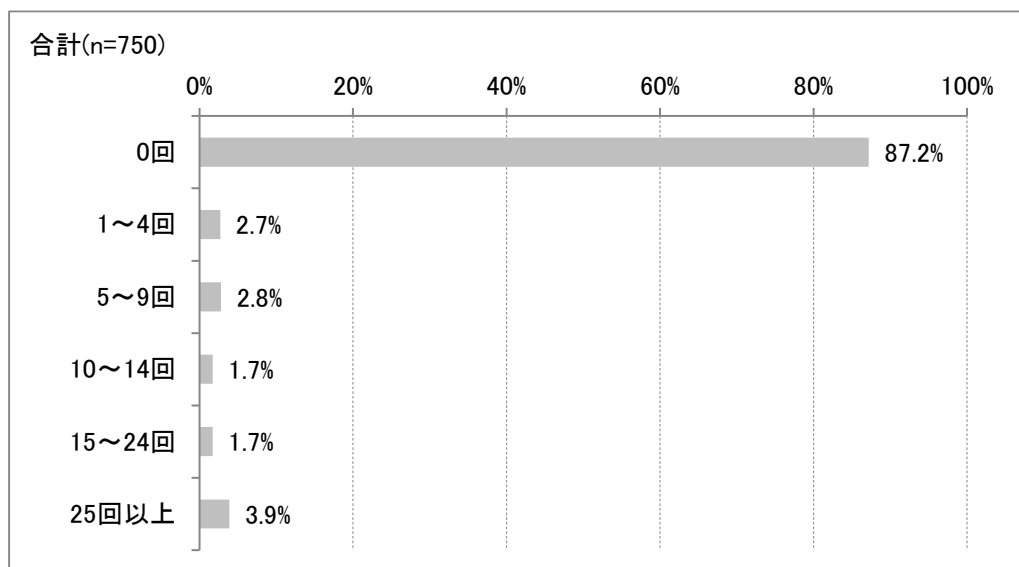
図表 1-12 サービスの利用回数（通所系）



(9) 短期系サービスの合計利用回数

短期系サービスの合計利用回数は、「0回」が87.2%と最も多くなっています。次いで、「25回以上」が3.9%となっています。

図表 1-13 サービスの利用回数（短期系）

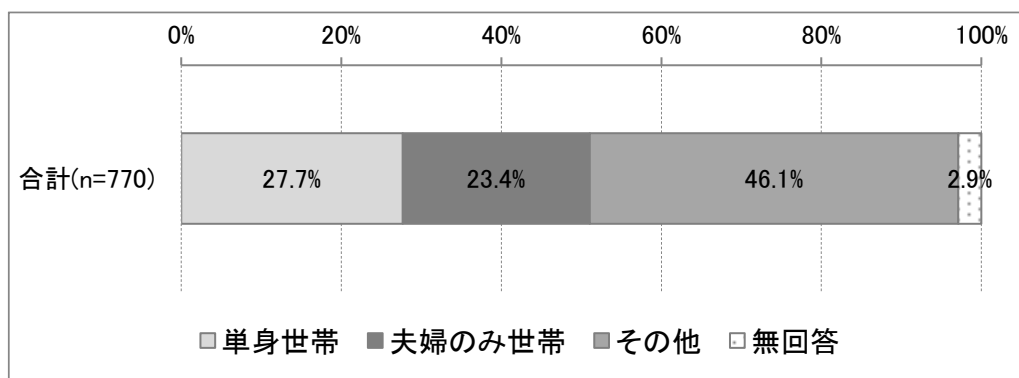


3 基本調査項目（A票）

（1）世帯類型

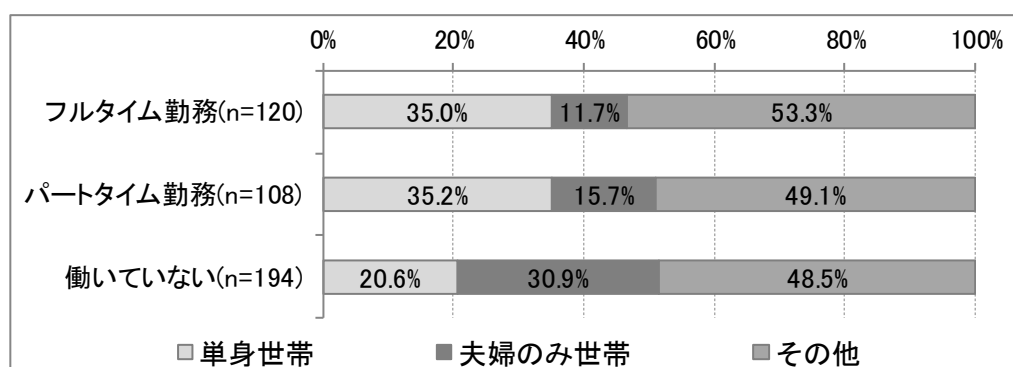
世帯類型は、「その他」が46.1%と最も多くなっています。次いで、「単身世帯」が27.7%、「夫婦のみ世帯」が23.4%となっています。

図表 2-1 世帯類型（単数回答）



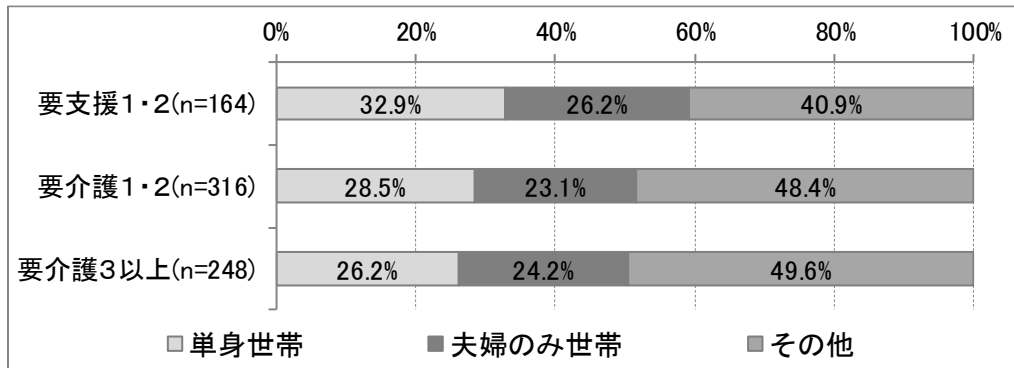
主な介護者の勤務形態別に世帯類型をみると、いずれの勤務形態においても「その他」が50%程度と最も割合が高くなっています。働いていない介護者では「夫婦のみ世帯」の割合が高く30.9%となっています。

図表 2-2 勤務形態別・世帯類型



要介護度別に世帯類型をみると、要介護度が重度になるにつれ「単身世帯」の割合が低くなる一方、「その他」の割合が高くなっています。いずれの要介護度においても「夫婦のみ世帯」では大きな差はみられません。

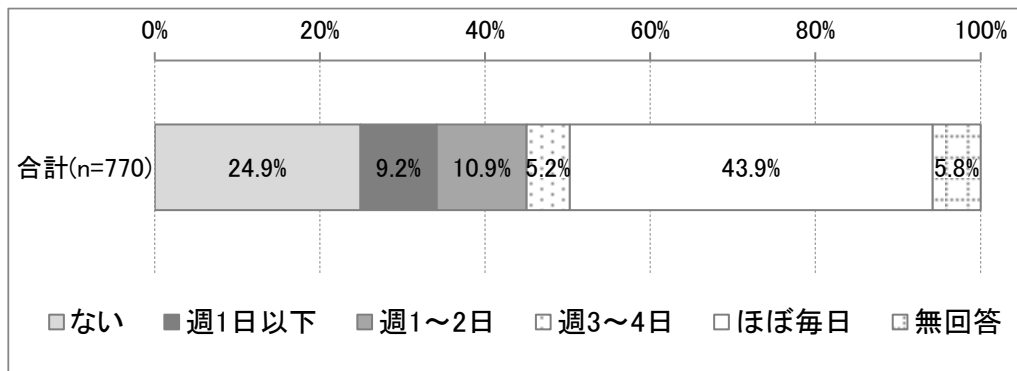
図表 2-3 要介護度別・世帯類型



(2) 家族等による介護の頻度

家族や親族からの介護は、「ほぼ毎日」が43.9%と最も多くなっています。次いで、「ない」が24.9%、「週1～2日」が10.9%、「週1日以下」が9.2%となっています。

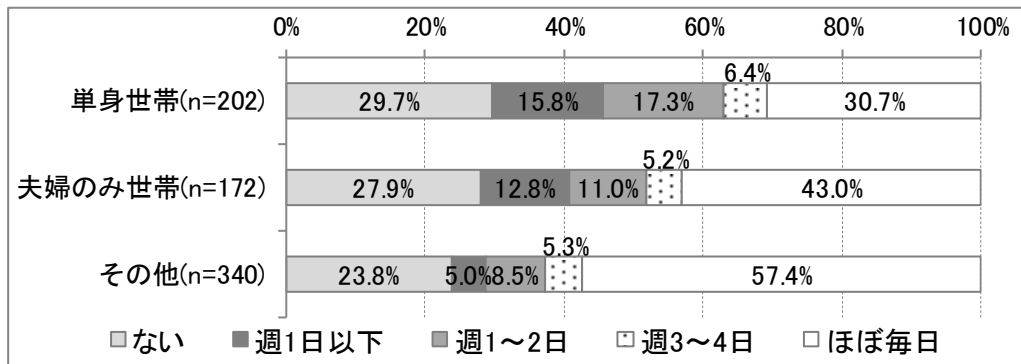
図表 2-4 家族等による介護の頻度（単数回答）



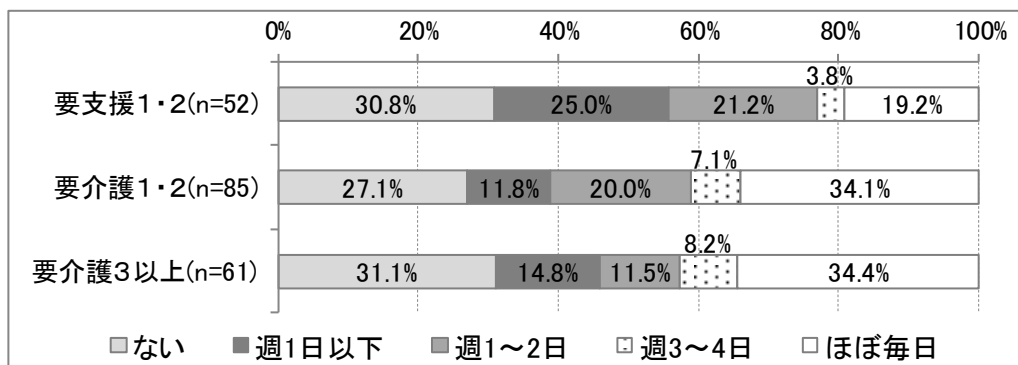
世帯類型別に家族等による介護の頻度をみると、いずれの世帯においても「ほぼ毎日」の割合が最も高く、単身世帯で30.7%、夫婦のみ世帯で43.0%、その他世帯で57.4%となっています。単身世帯では「ない」の割合も高く29.7%となっています。

世帯類型ごとで要介護度別に家族等による介護の頻度をみると、いずれの世帯類型においても、要介護1・2および要介護3以上の「ほぼ毎日」の割合が高くなっており、特にその他世帯では要介護1・2の「ほぼ毎日」が72.0%となっています。

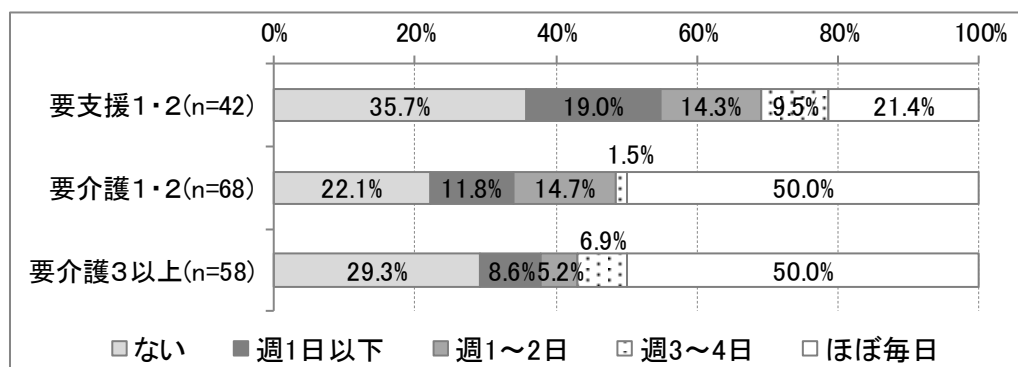
図表 2-5 世帯類型別・家族等による介護の頻度



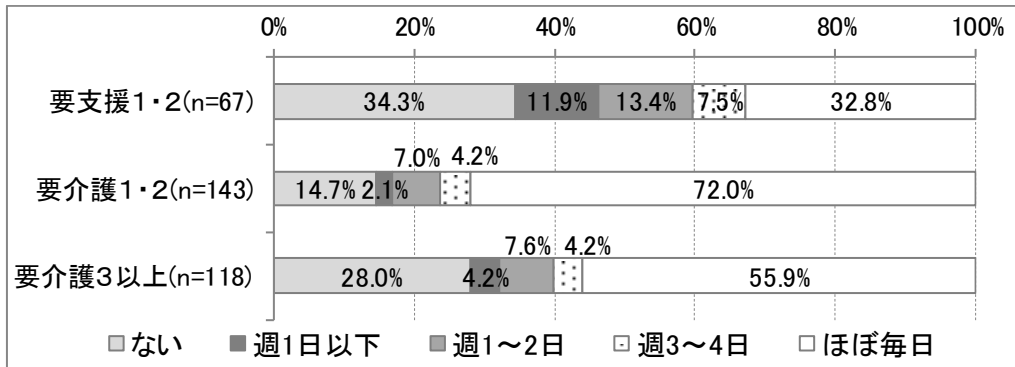
図表 2-6 要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）



図表 2-7 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）

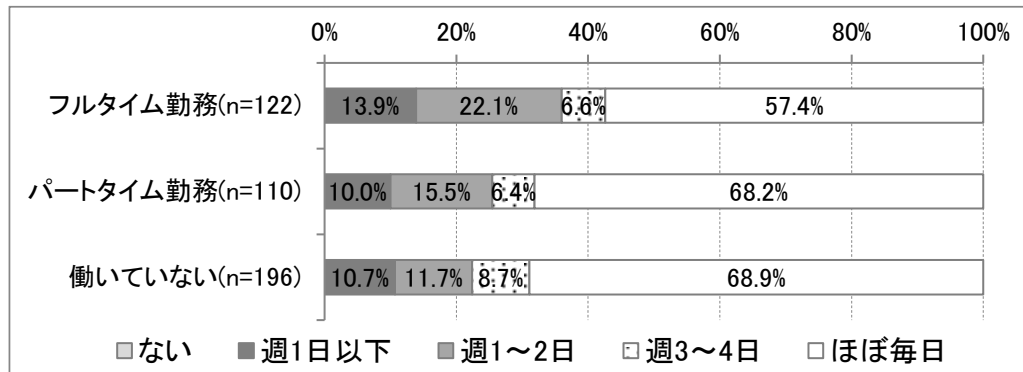


図表 2-8 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）



主な介護者の勤務形態別に家族等の介護の頻度をみると、いずれの勤務形態でも「ほぼ毎日」の割合が最も高く、フルタイム勤務の介護者で57.4%、パートタイム勤務の介護者で68.2%、働いていない介護者で68.9%となっています。

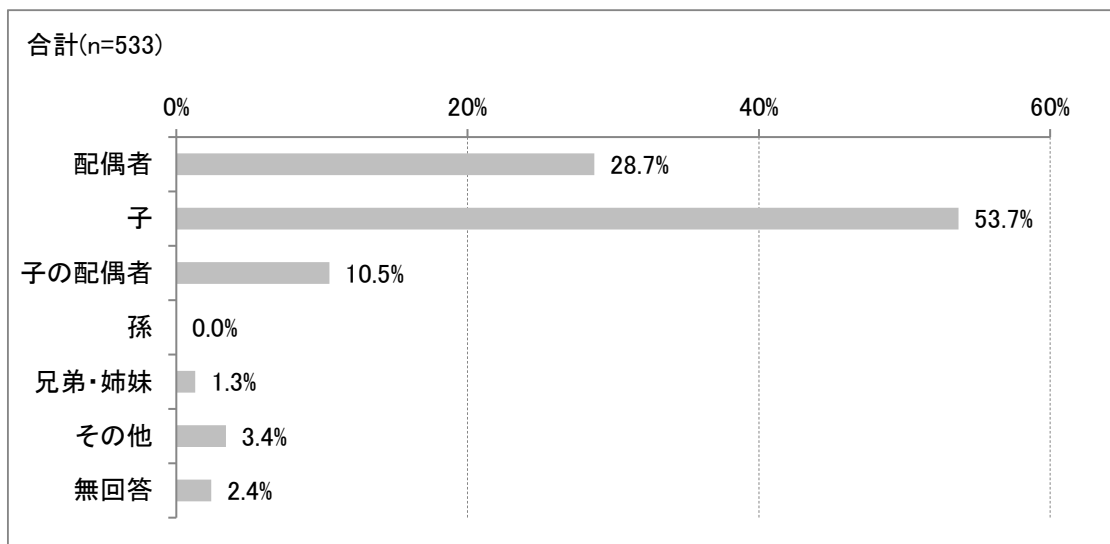
図表 2-9 勤務形態別・家族等による介護の頻度



(3) 主な介護者の本人との関係

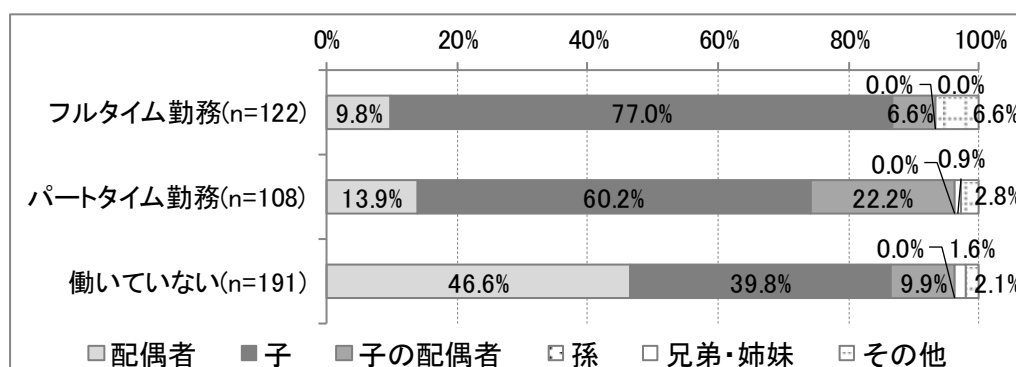
主な介護者は、「子」が53.7%と最も多くなっています。次いで、「配偶者」が28.7%、「子の配偶者」が10.5%となっています。

図表 2-10 主な介護者の本人との関係（単数回答）



勤務形態別に主な介護者をみると、フルタイム勤務・パートタイム勤務の介護者では「子」がそれぞれ77.0%、60.2%と最も多くなっています。一方、働いていない介護者では「配偶者」が46.6%と最も多くなっており、「子」の割合は39.8%となっています。また、パートタイム勤務の介護者では「子の配偶者」の割合が22.2%となっています。

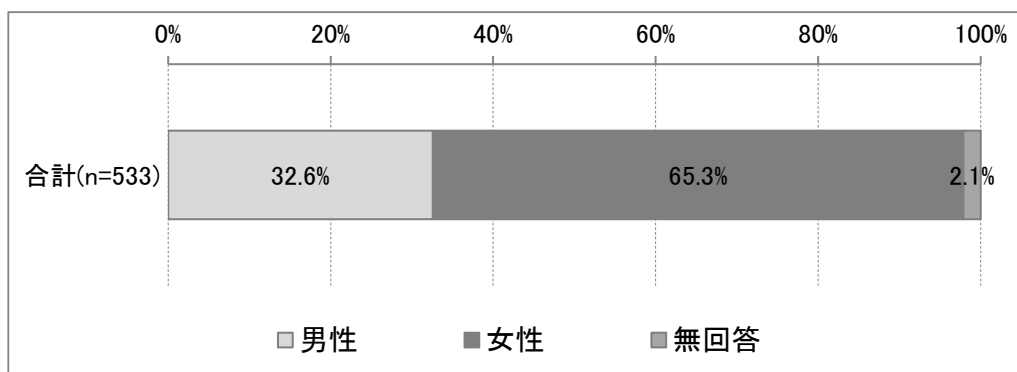
図表 2-11 勤務形態別・主な介護者の本人との関係



(4) 主な介護者の性別

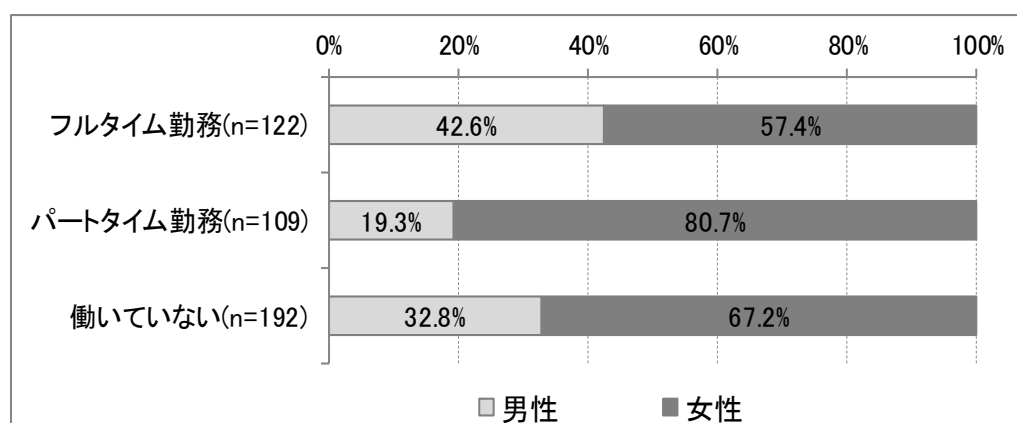
主な介護者の性別は、「男性」が32.6%、「女性」が65.3%となっています。

図表 2-12 主な介護者の性別（単数回答）



勤務形態別に主な介護者の性別をみると、いずれの勤務形態でも「女性」の割合が高くなっており、特にパートタイム勤務では「女性」が80%以上を占めています。

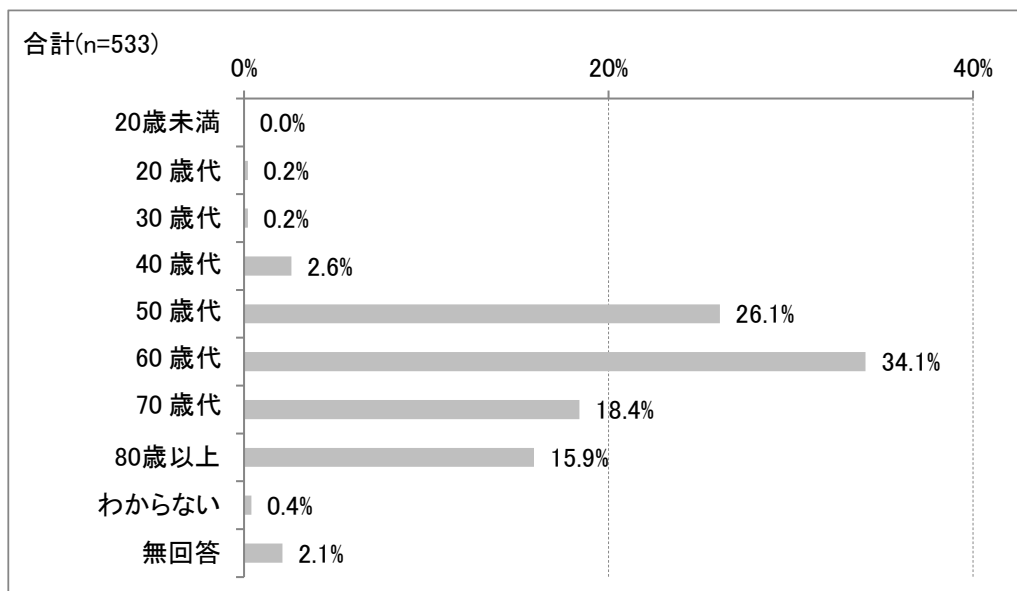
図表 2-13 勤務形態別・主な介護者の性別



(5) 主な介護者の年齢

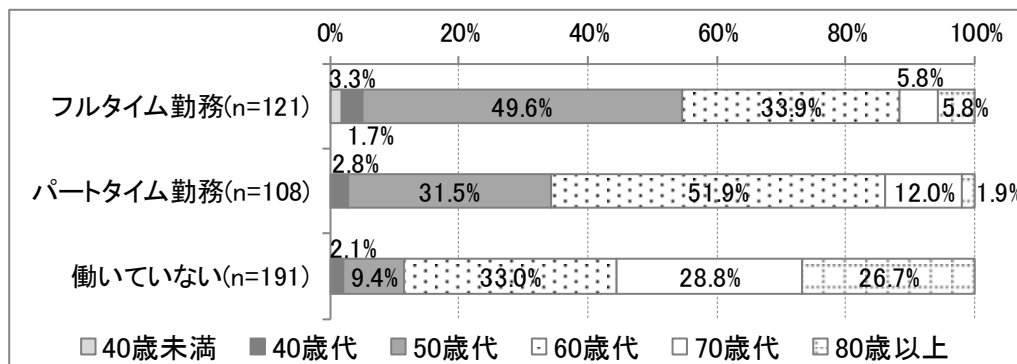
主な介護者の年齢は、「60歳代」の割合が最も高く34.1%となっています。次いで、「50歳代」が26.1%、「70歳代」が18.4%、「80歳以上」が15.9%となっています。

図表 2-14 主な介護者の年齢（単数回答）



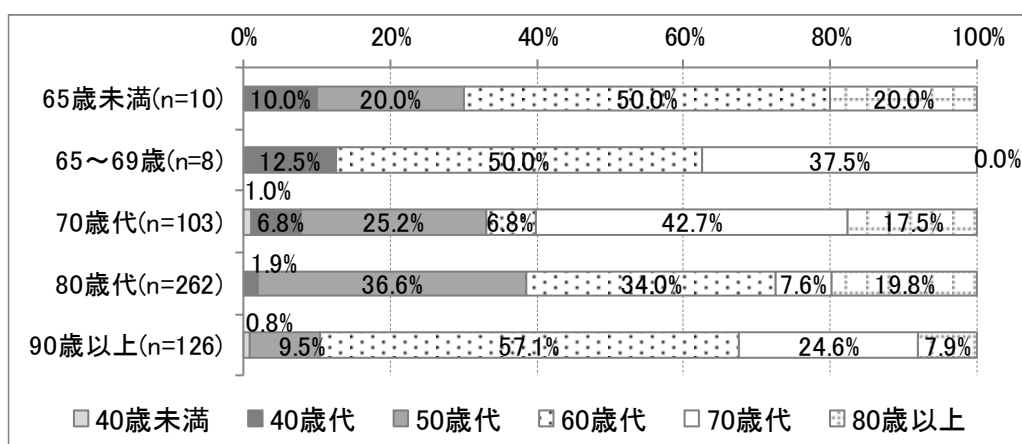
勤務形態別に主な介護者の年齢をみると、フルタイム勤務の介護者では「50歳代」が49.6%、パートタイム勤務の介護者、働いていない介護者では「60歳代」がそれぞれ51.9%、33.0%と、最も多くなっています。フルタイム勤務・パートタイム勤務の介護者では「60歳代以下」が85%以上を占めている一方、働いていない介護者では50%未満となっています。

図表 2-15 就労状況別・主な介護者の年齢



要介護認定者の年齢別に主な介護者の年齢をみると、要介護認定者の年齢が65歳未満、65～69歳では「60歳代」がともに50.0%、70歳代では「70歳代」が42.7%、80歳代では「50歳代」が36.6%、90歳以上では「60歳代」が57.1%と最も多くなっています。要介護認定者の年齢が「70歳代」以下の場合は配偶者が、「80歳代」以上の場合は、子の年代が介護者となるケースが多くなっていると考えられます。

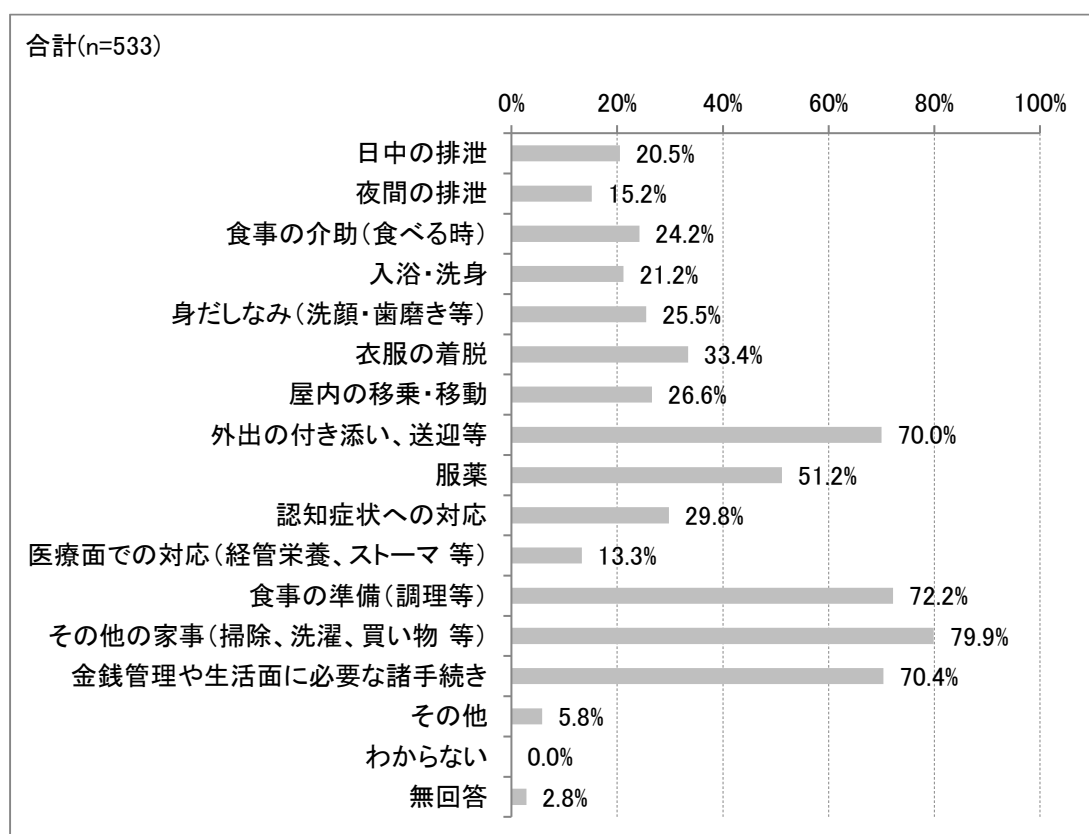
図表 2-16 本人の年齢別・主な介護者の年齢



(6) 主な介護者が行っている介護

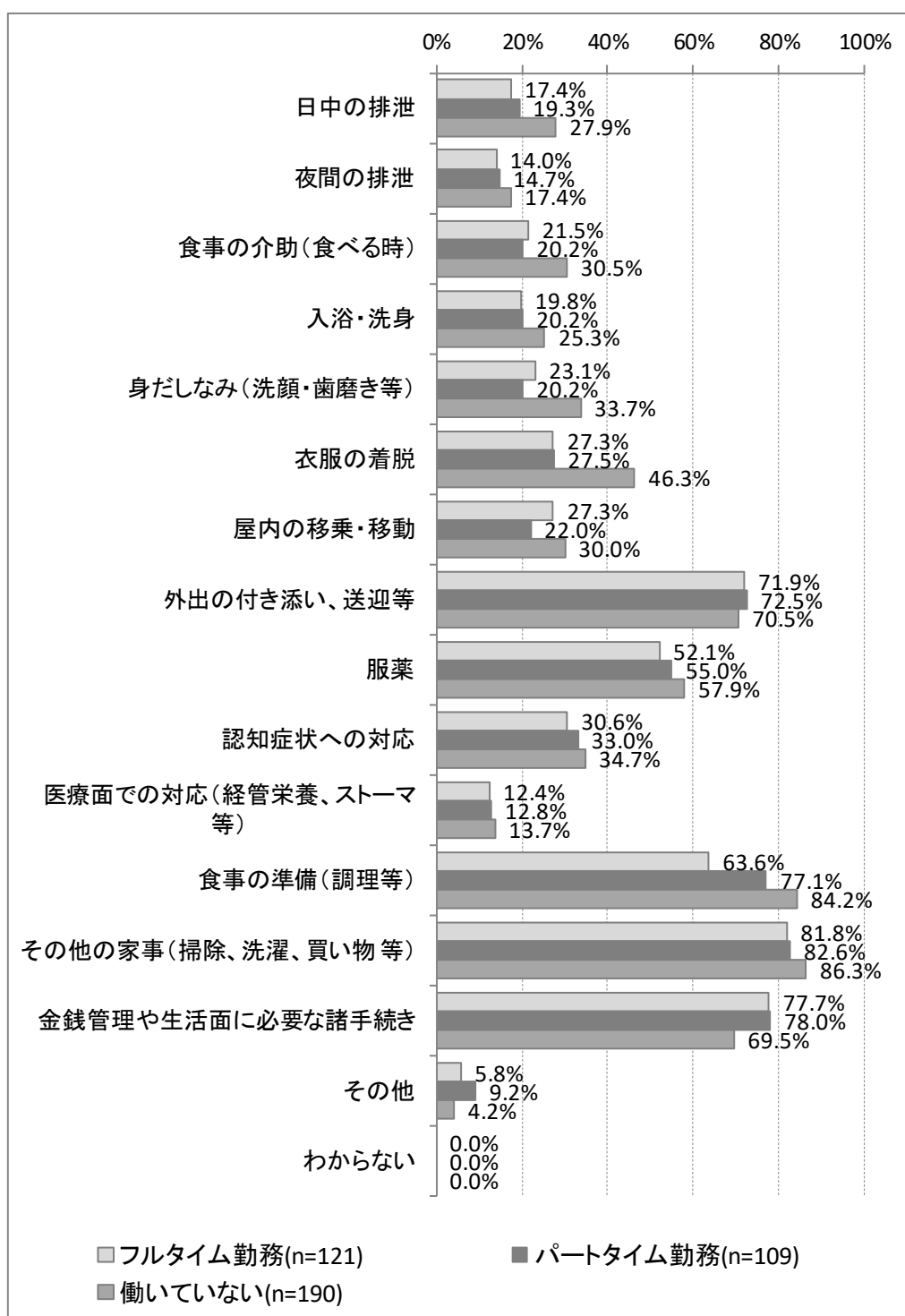
主な介護者が行っている介護については、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が79.9%と最も多くなっています。次いで、「食事の準備(調理等)」が72.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が70.4%、「外出の付き添い、送迎等」が70.0%、「服薬」が51.2%となっています。

図表 2-17 主な介護者が行っている介護 (複数回答)



主な介護者が行っている介護を勤務形態別にみると、フルタイム勤務では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が81.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.7%、「外出の付き添い、送迎等」が71.9%となっています。パートタイム勤務では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が78.0%、「食事の準備（調理等）」が77.1%となっています。働いていない介護者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が86.3%、「食事の準備（調理等）」が84.2%、「外出の付き添い、送迎等」が70.5%となっています

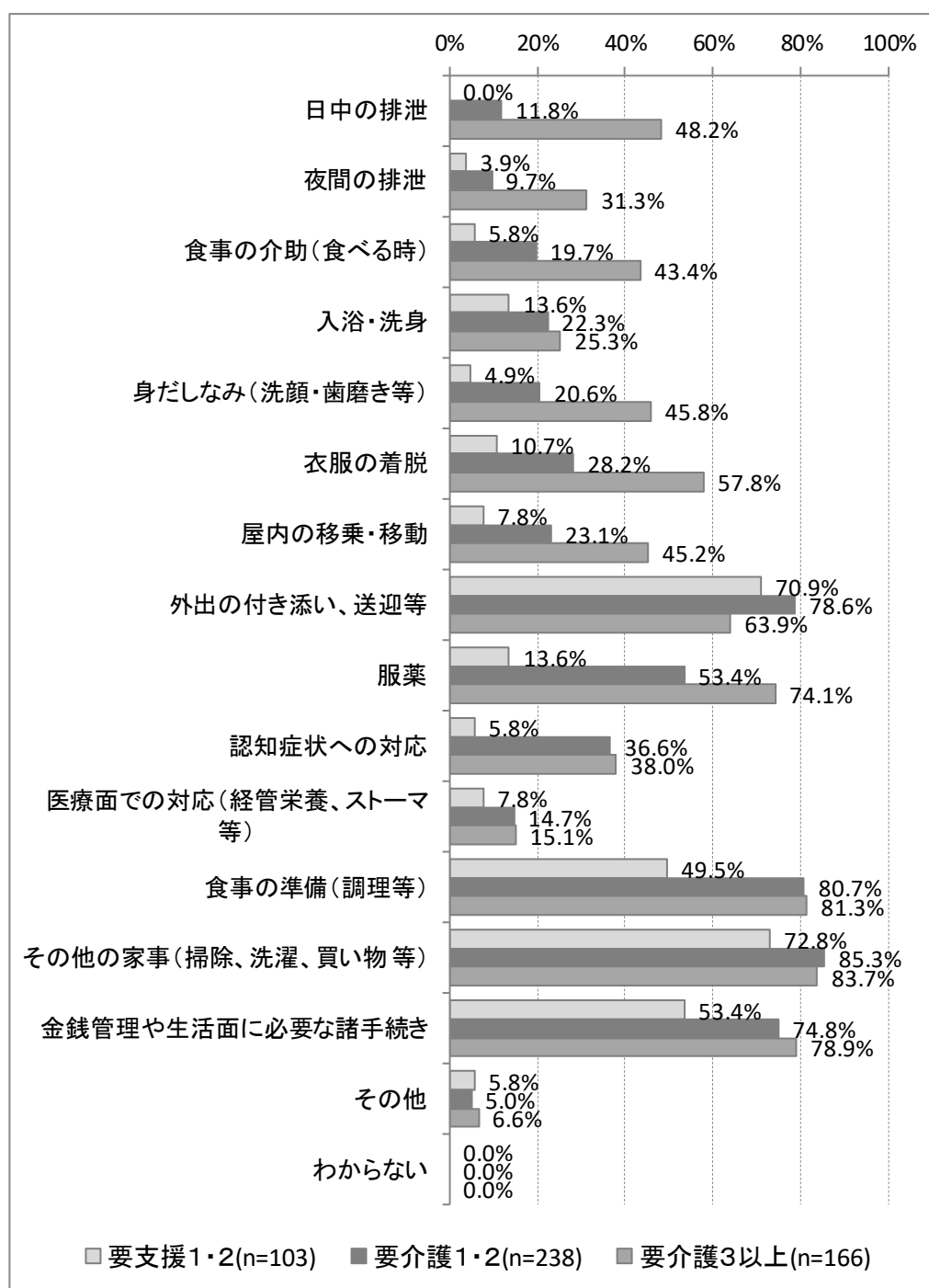
図表 2-18 勤務形態別・主な介護者が行っている介護



主な介護者が行っている介護を要介護度別にみると、要支援1・2では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が72.8%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が70.9%となっています。要介護1・2及び要介護3以上では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」がそれぞれ85.3%、83.7%と最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」がそれぞれ80.7%、81.3%となっています。

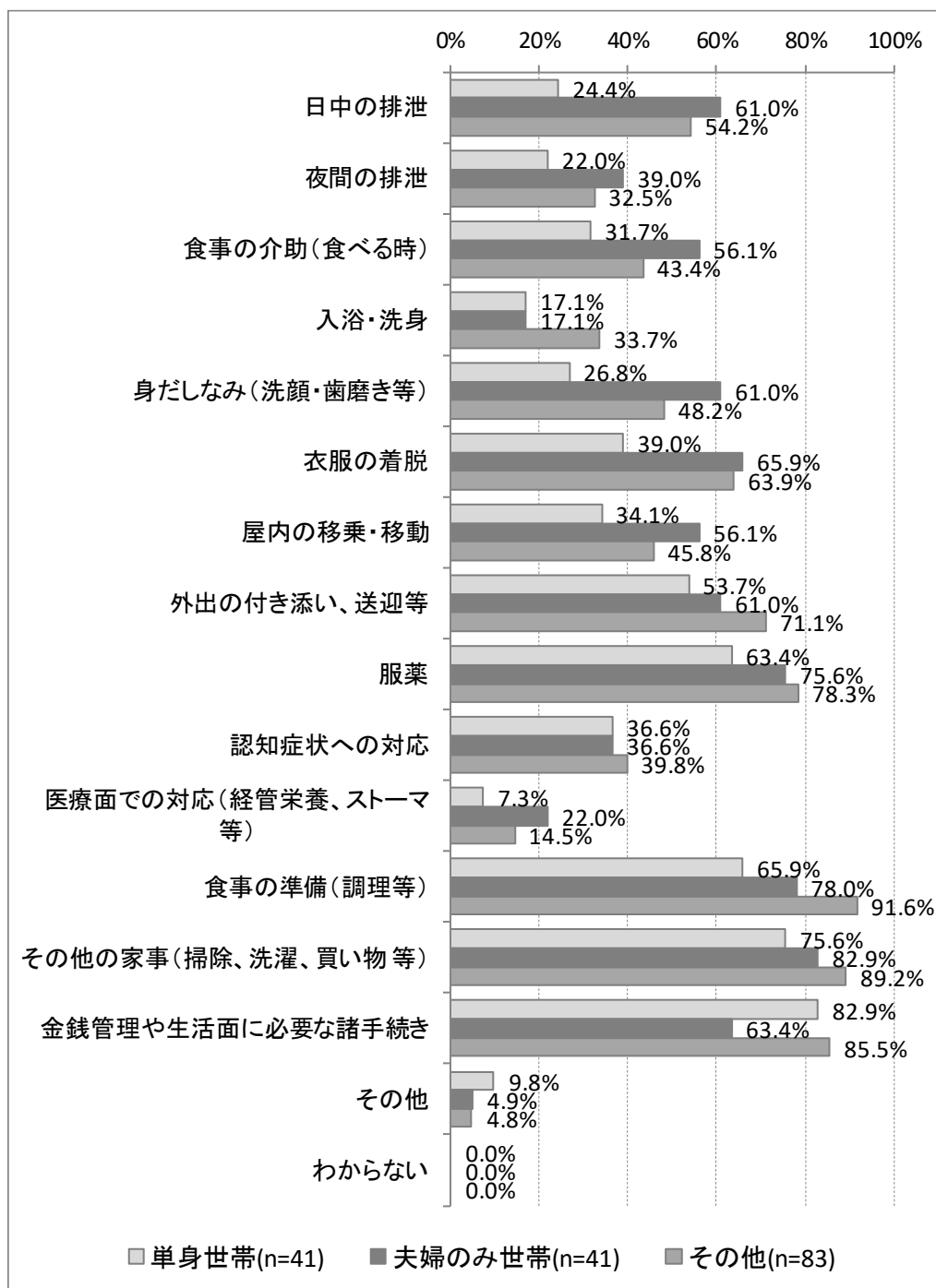
また、要介護度が重度になるにつれ、「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」等、主な介護者が行っている介護の種類が多くなる傾向がみられます。

図表 2-19 要介護度別・主な介護者が行っている介護



要介護3以上で主な介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、単身世帯では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が82.9%と最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（75.6%）となっています。夫婦のみ世帯では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.9%と最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」（78.0%）となっています。その他世帯では「食事の準備（調理等）」が91.6%と最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（89.2%）となっています。

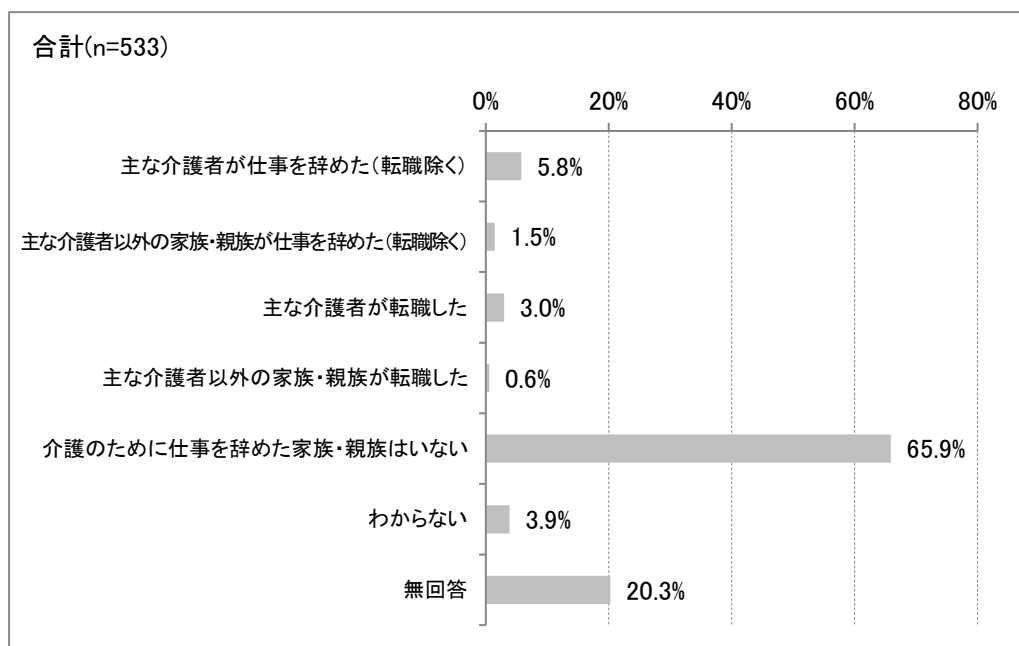
図表 2-20 世帯類型別・主な介護者が行っている介護（要介護3以上）



(7) 介護のための離職の有無

介護のための離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が65.9%を占めている一方、「主な介護者が仕事をやめた（転職除く）」が5.8%、「主な介護者が転職した」が3.0%となっています。

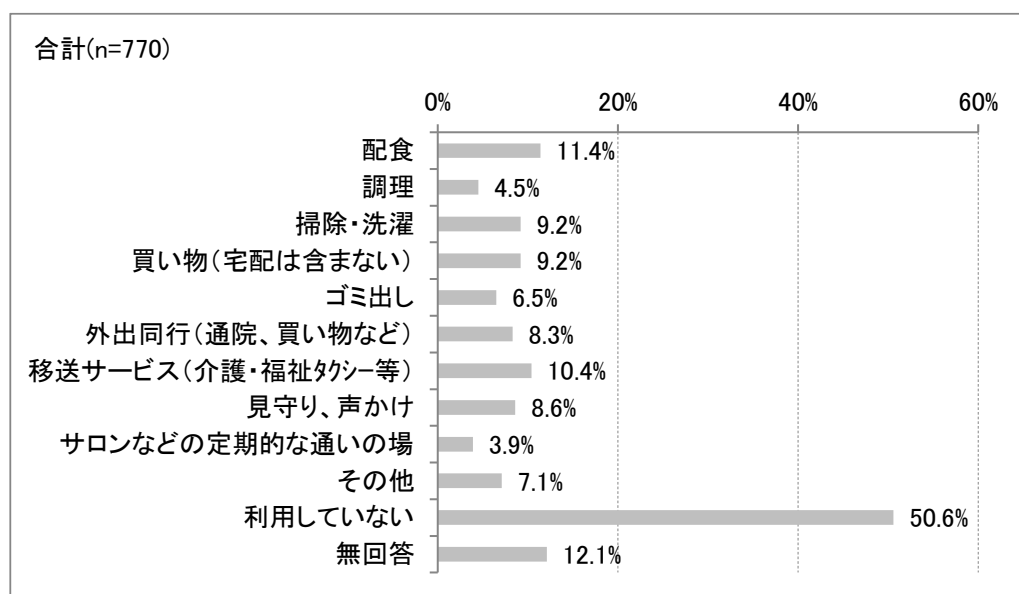
図表 2-21 介護のための離職の有無（複数回答）



(8) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

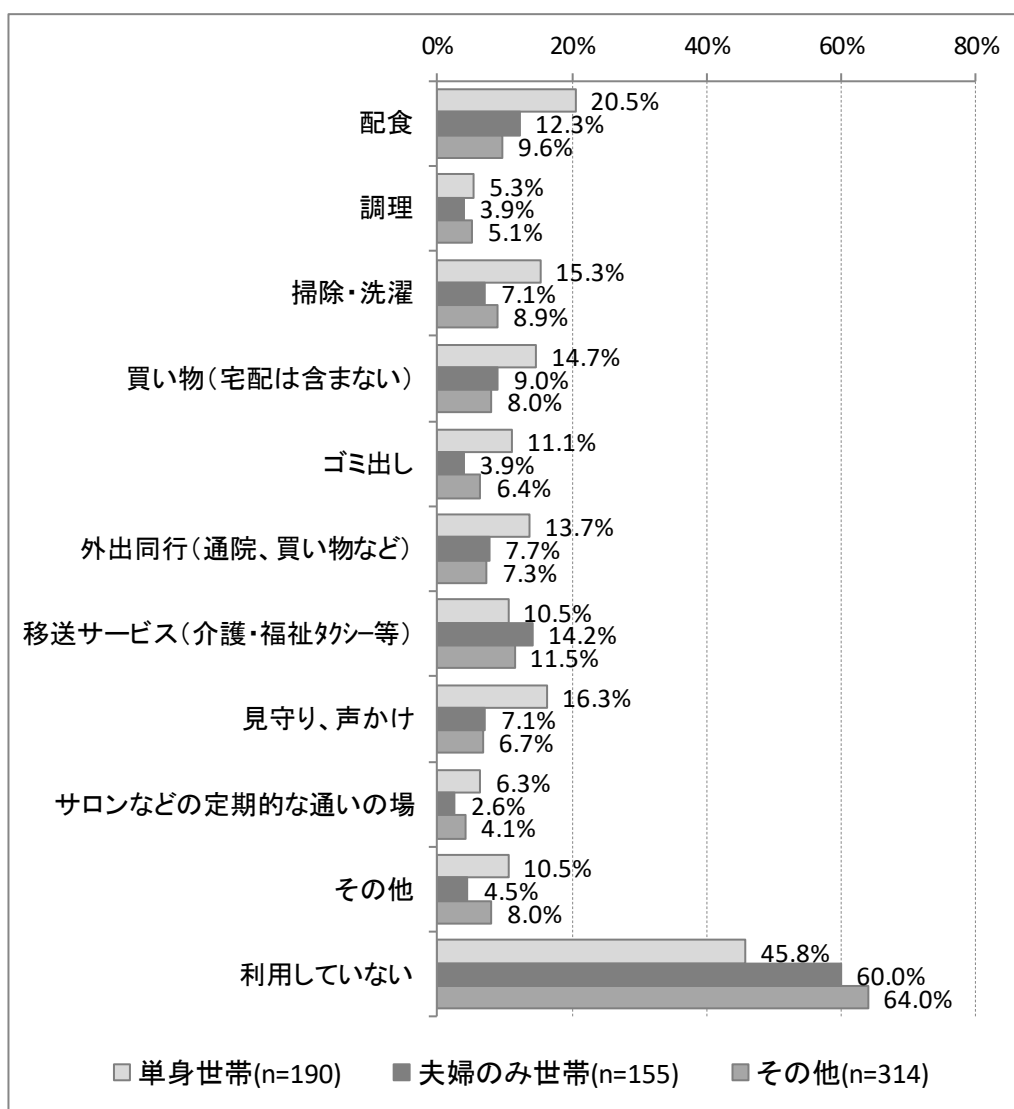
介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」が50.6%を占めています。利用している支援・サービスは、「配食」が11.4%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が10.4%、「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」が9.2%となっています。

図表 2-22 介護保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



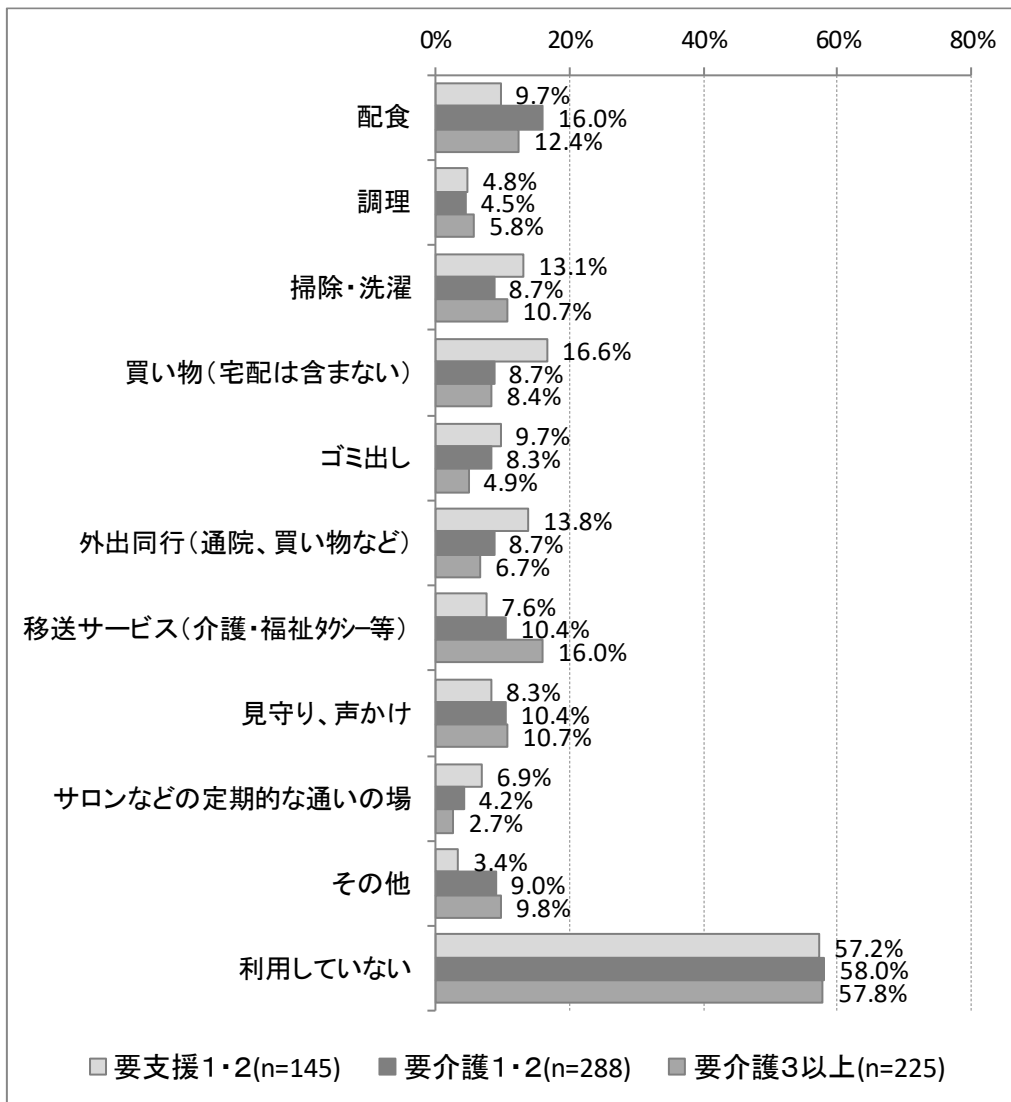
世帯類型別に介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況を見ると、いずれの世帯においても「利用していない」が最も多くなっていますが、夫婦のみ世帯の60.0%、その他世帯の64.0%に比べて、単身世帯では45.8%とやや低い割合となっています。利用している支援・サービスは、単身世帯で「配食」が20.5%、夫婦のみ世帯とその他世帯で「移動サービス（介護・福祉タクシー等）」が、それぞれ14.2%、11.5%と多くなっています。

図表 2-23 世帯類型別・介護保険外の支援・サービスの利用状況



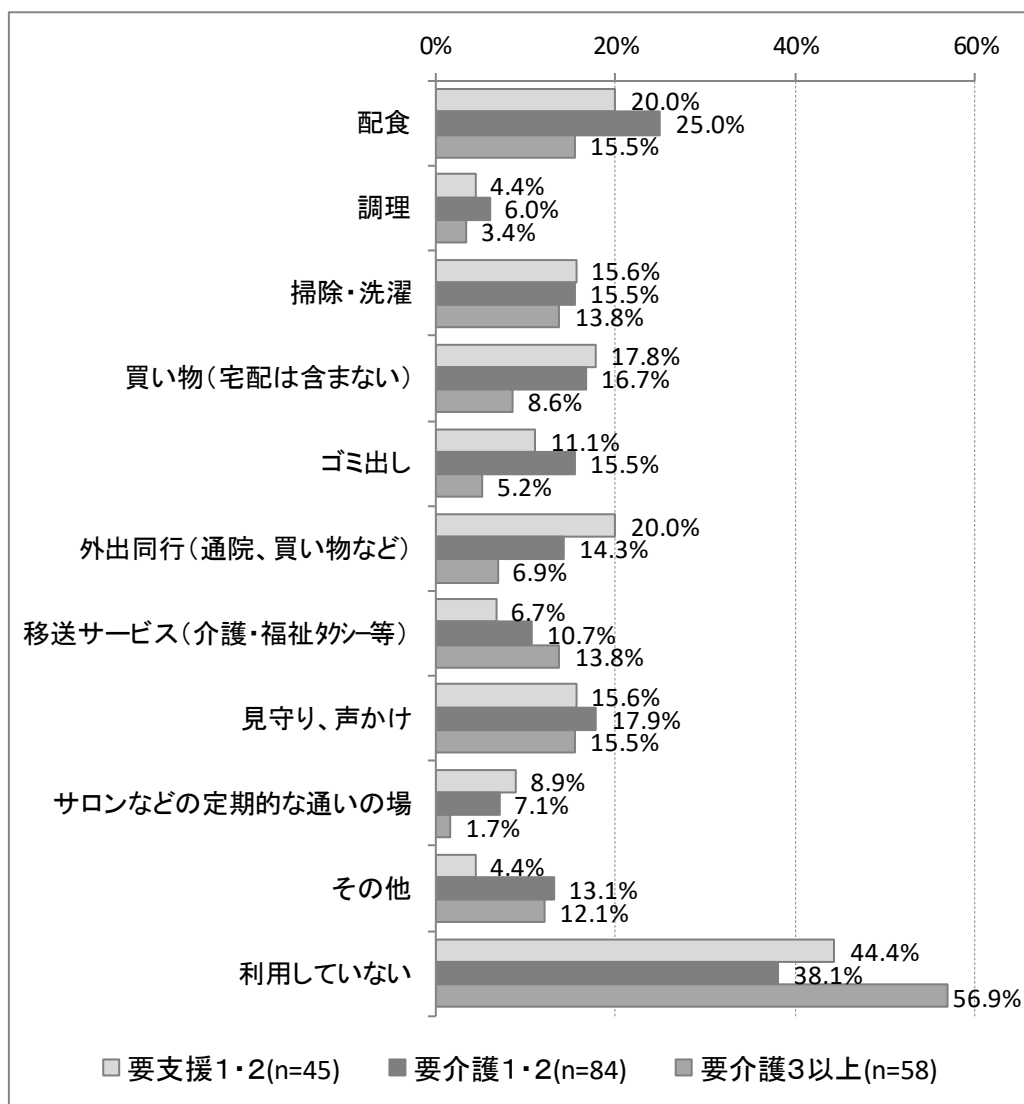
要介護度別に介護保険外の支援・サービスの利用状況をみると、いずれの要介護度においても「利用していない」が55%以上と最も多くなっています。利用している支援・サービスについては、要支援1・2で「買い物（宅配は含まない）」が16.6%、要介護1・2で「配食」が16.0%、要介護3以上で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が16.0%と多くなっています。

図表 2-24 要介護度別・介護保険外の支援・サービスの利用状況



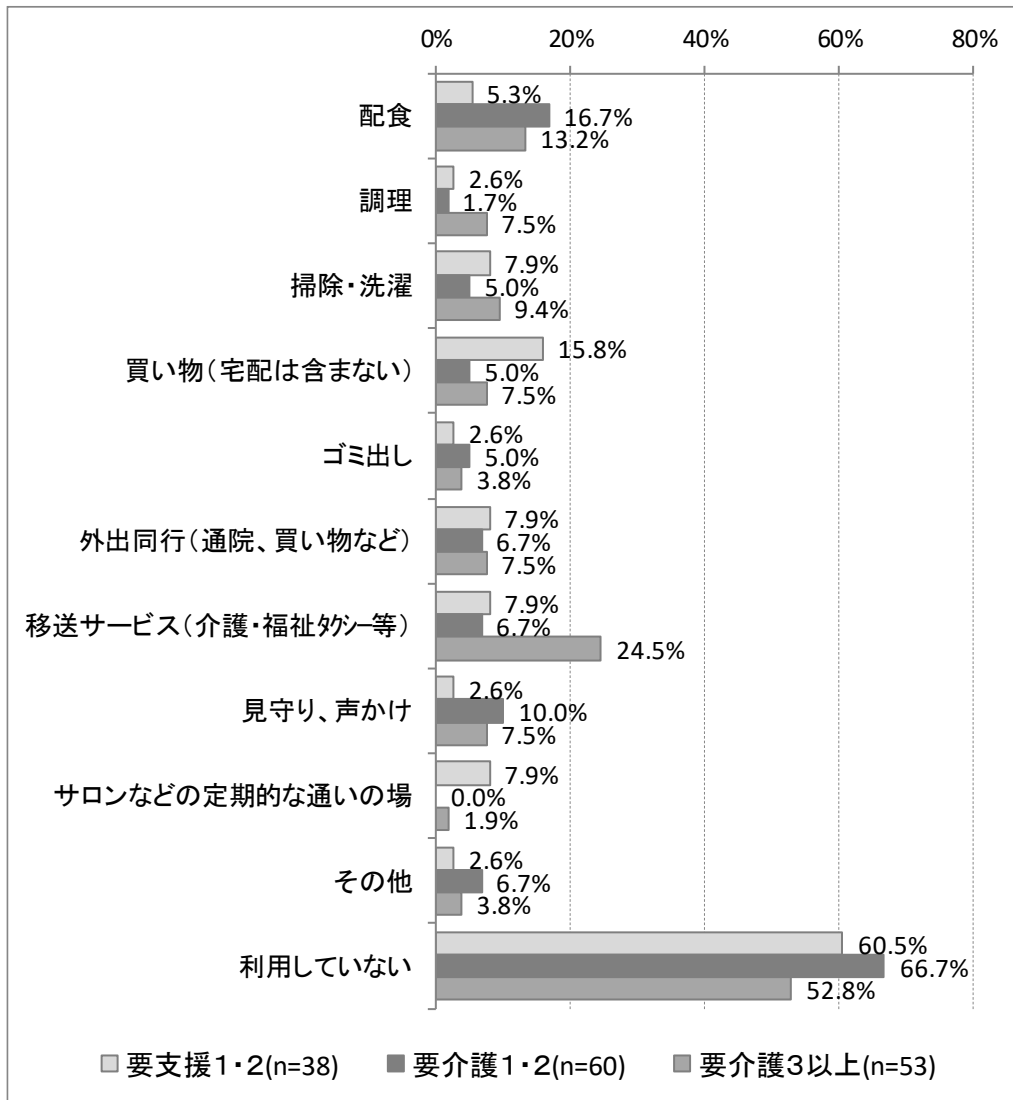
単身世帯で要介護度別に介護保険外の支援・サービスの利用状況をみると、いずれの要介護度においても「利用していない」が最も多くなっています。利用している支援・サービスについては、いずれの要介護度においても「配食」が約15%～25%と最も割合が高くなっていますが、要支援1・2では「外出同行（通院、買い物など）」が他の要介護度と比べて割合が高くなっています。

図表 2-25 要介護度別・介護保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）



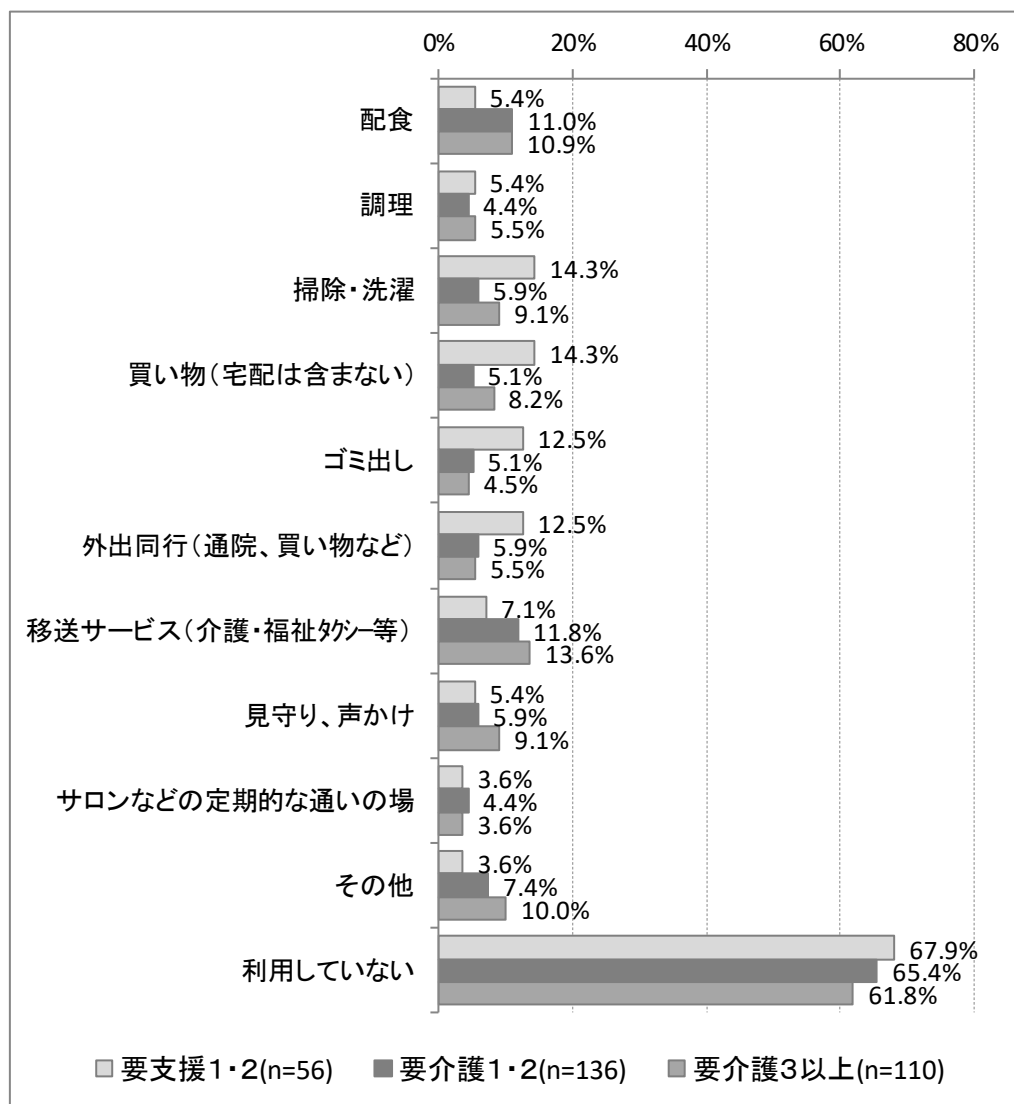
夫婦のみ世帯で要介護度別に介護保険外の支援・サービスの利用状況をみると、いずれの要介護度においても「利用していない」が最も多くなっています。利用している支援・サービスについては、要支援1・2で「買い物(宅配は含まない)」が15.8%、要介護1・2で「配食」が16.7%、要介護3以上で「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が24.5%とそれぞれ多くなっています。

図表 2-26 要介護度別・介護保険外の支援・サービスの利用状況(夫婦のみ世帯)



その他世帯で介護保険外の支援・サービスの利用状況を要介護度別にみると、いずれの要介護度においても「利用していない」の割合が最も高くなっています。利用している支援・サービスについては、要支援1・2で「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」がともに14.3%、要介護1・2及び要介護3以上では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がそれぞれ11.8%、13.6%と割合が高くなっています。

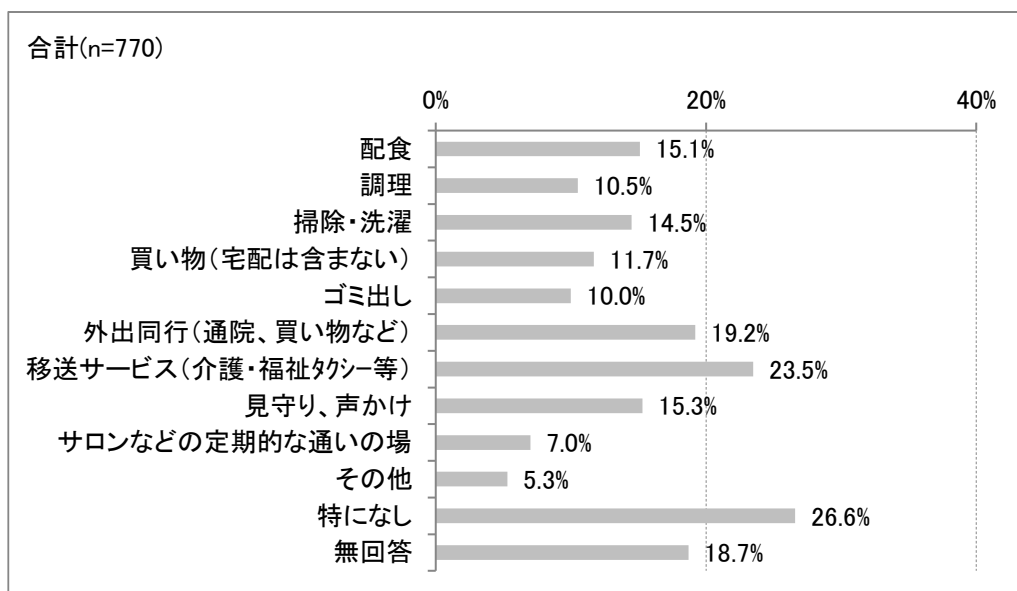
図表 2-27 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

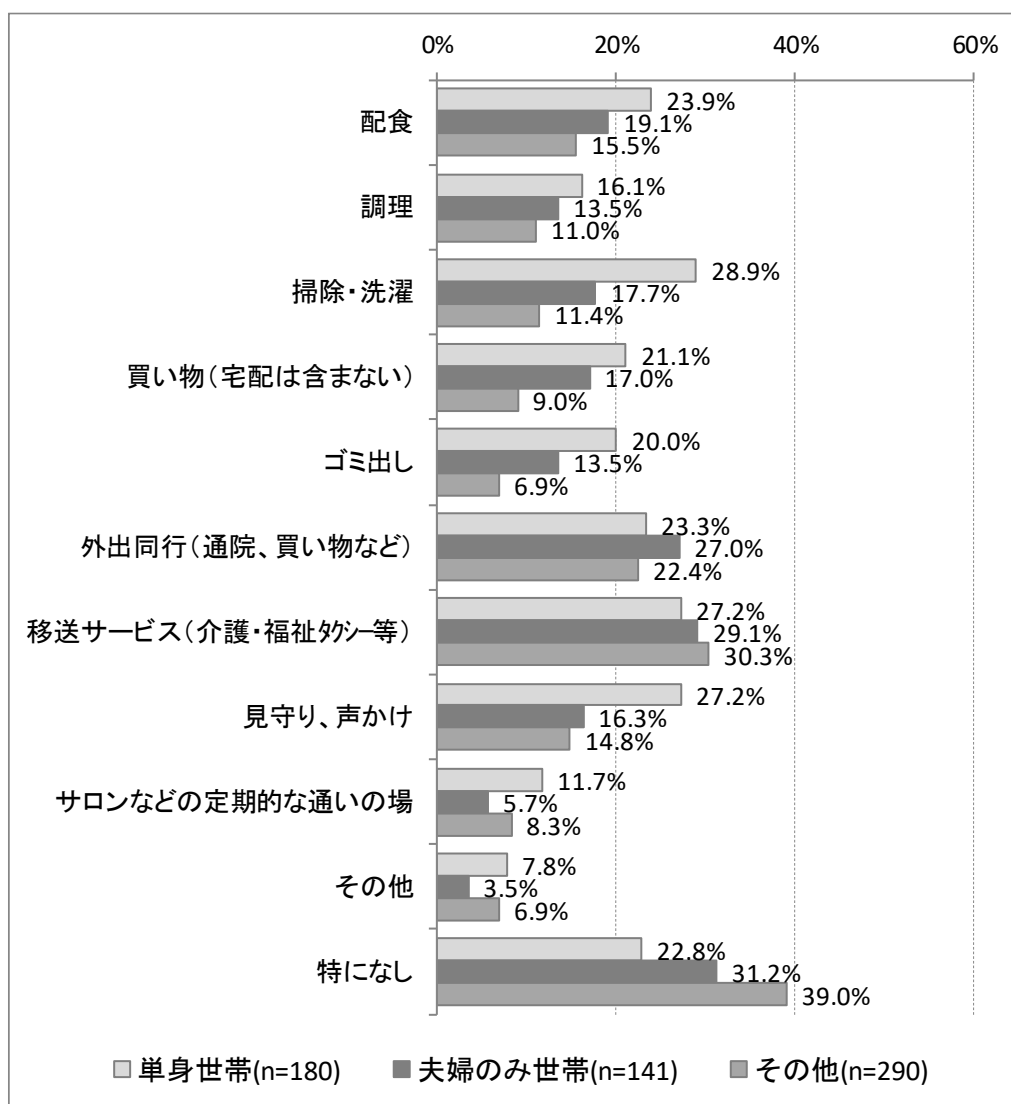
在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスについては、「特になし」が26.6%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が19.2%となっています。

図表 2-28 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



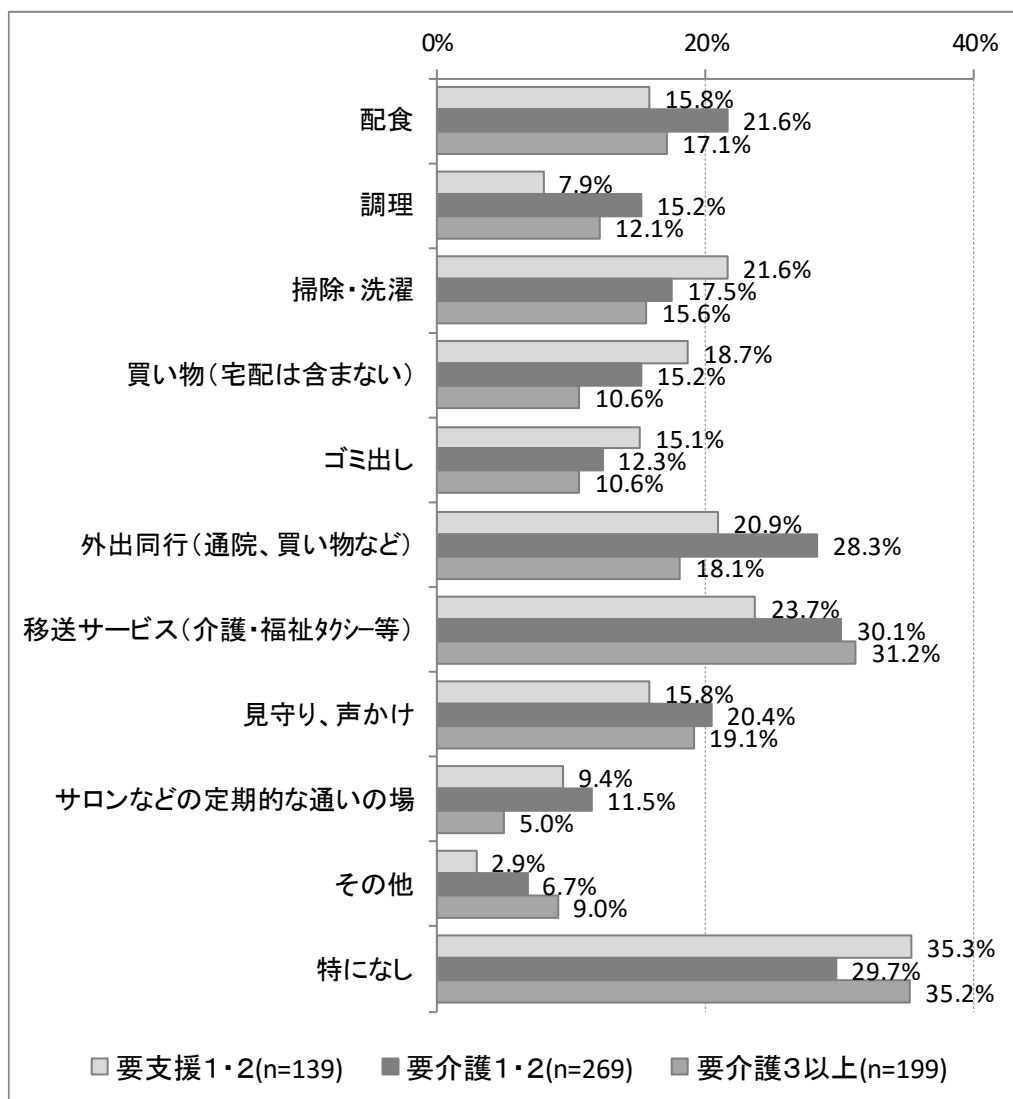
世帯類型別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、単身世帯では「掃除・洗濯」が28.9%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」と「見守り、声かけ」がともに27.2%、「配食」が23.9%となっています。夫婦のみ世帯とその他世帯ではいずれも「特になし」の割合が最も高くなっており、必要な支援・サービスとしては夫婦のみ世帯で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.1%、その他世帯で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.3%と多くなっています。

図表 2-29 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



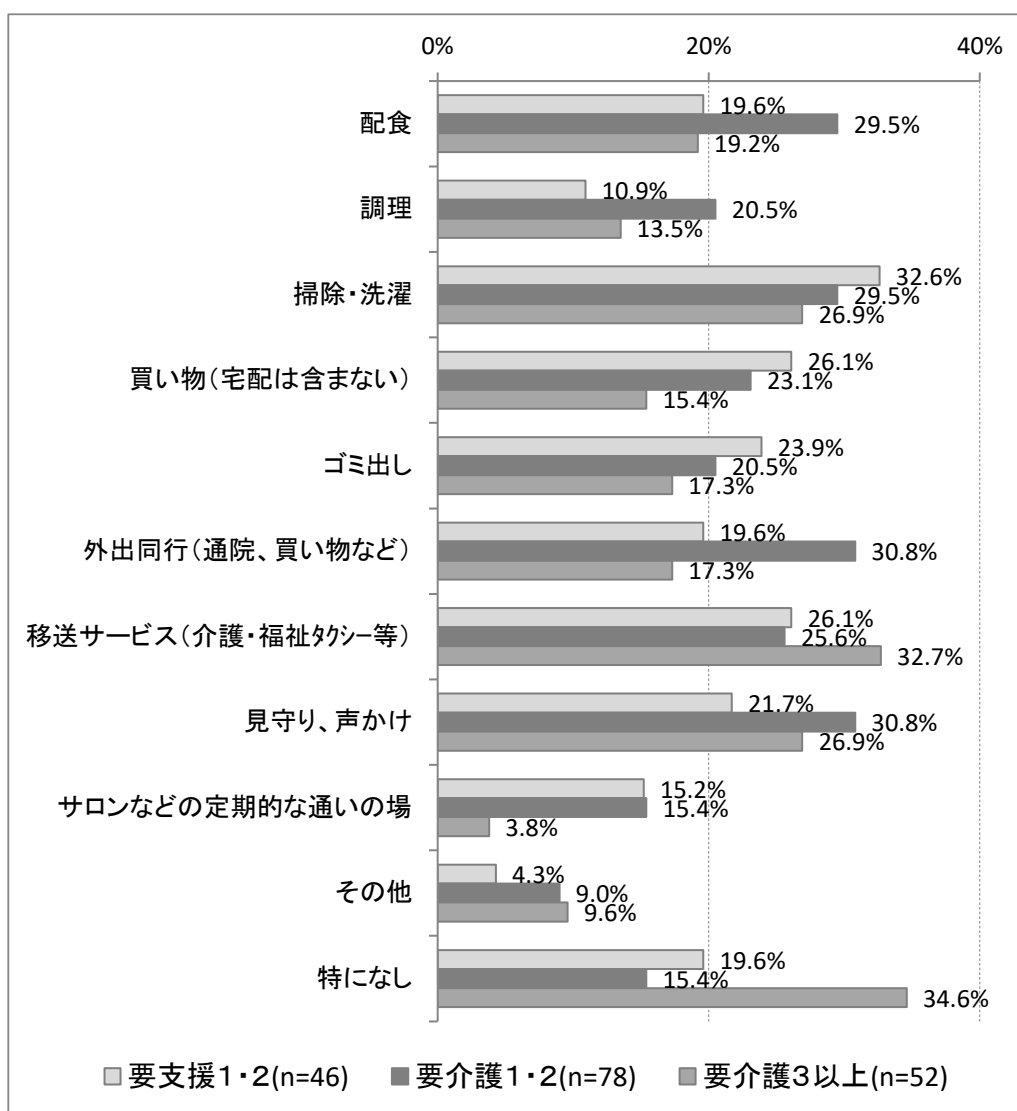
要介護度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、いずれの要介護度においても「特になし」が上位を占めています。必要な支援・サービスについては、いずれの要介護度においても「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も高く、次いで、要支援1・2で「掃除・洗濯」が21.6%、要介護1・2で「外出同行（通院、買い物など）」が28.3%、要介護3以上で「見守り、声かけ」が19.1%とそれぞれ多くなっています。

図表 2-30 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



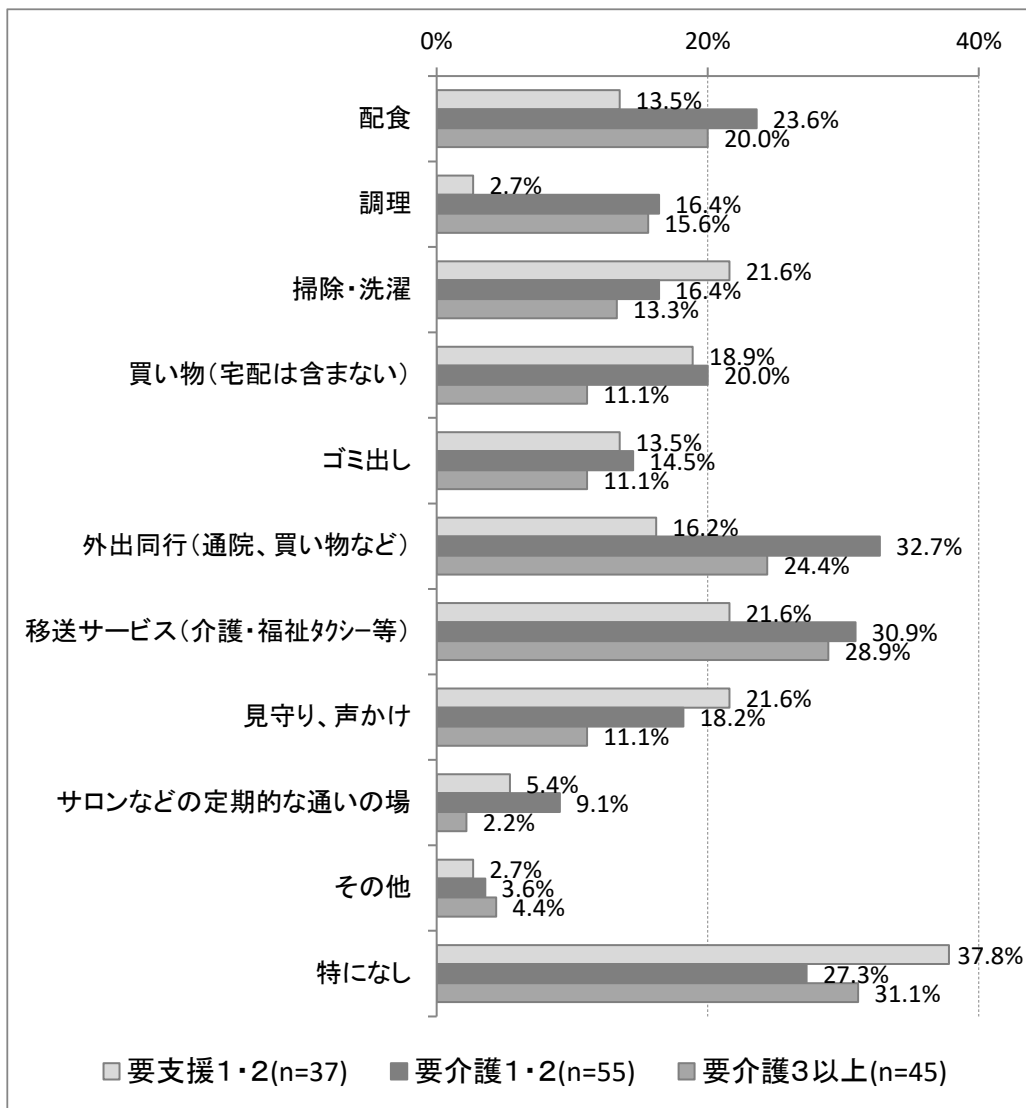
単身世帯で要介護度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、要支援1・2では「掃除・洗濯」が32.6%と最も多く、次いで「買い物（宅配は含まない）」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がともに26.1%となっています。要介護1・2では「外出同行（通院、買い物など）」と「見守り、声かけ」が30.8%と最も多く、次いで「配食」と「掃除・洗濯」がともに29.5%となっています。要介護3以上では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.7%と最も多く、次いで「掃除・洗濯」と「見守り、声かけ」がともに26.9%となっています。

図表 2-31 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



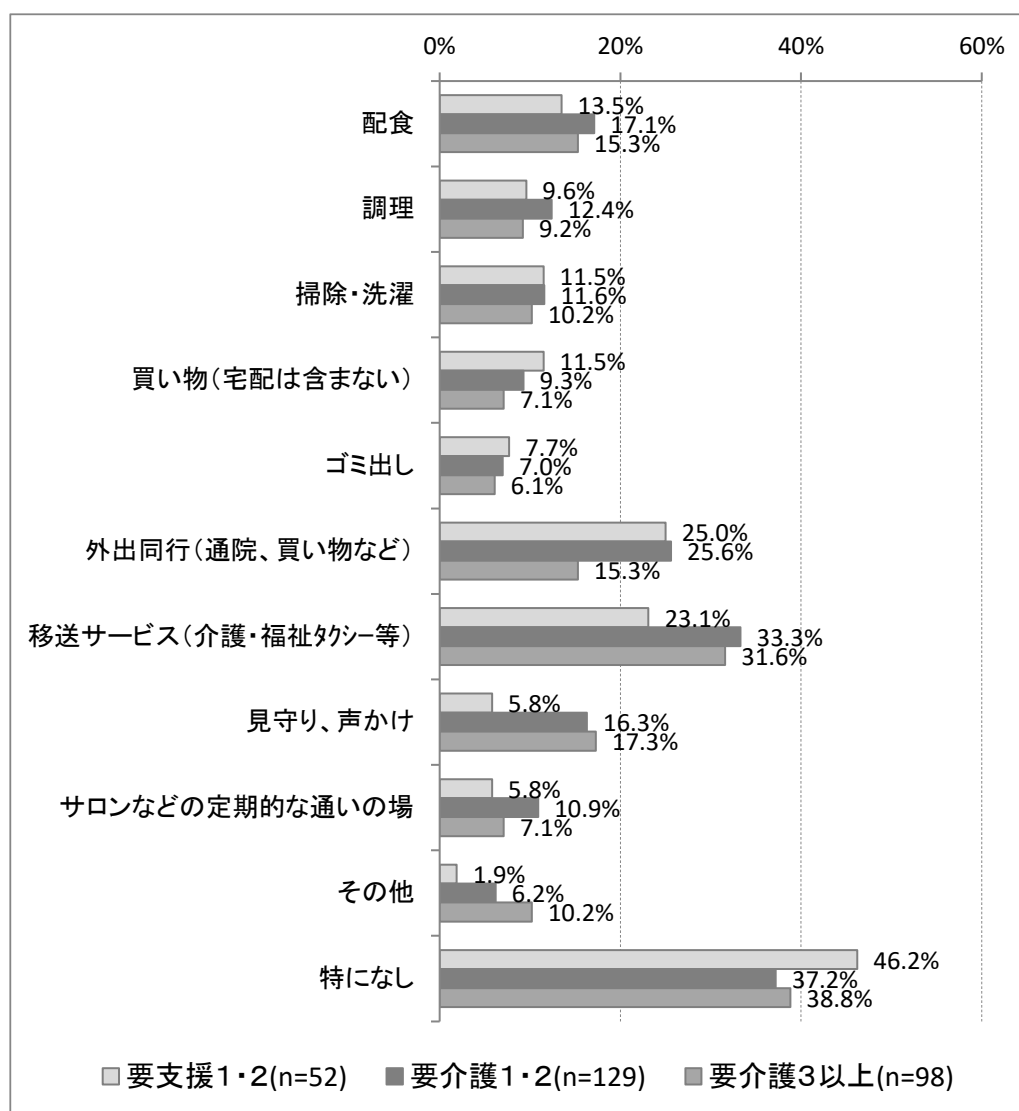
夫婦のみ世帯で要介護度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、要支援1・2及び要介護3以上では「特になし」の割合が最も高く、それぞれ37.8%、31.1%となっています。必要と感じる支援・サービスについては、要支援1・2で「掃除・洗濯」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」がいずれも21.6%、「買い物（宅配は含まない）」が18.9%、要介護1・2で「外出同行（通院、買い物など）」が32.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.9%、要介護3以上で「移送サービスが介護・福祉タクシー等）」が28.9%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.4%と多くなっています。

図表 2-32 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



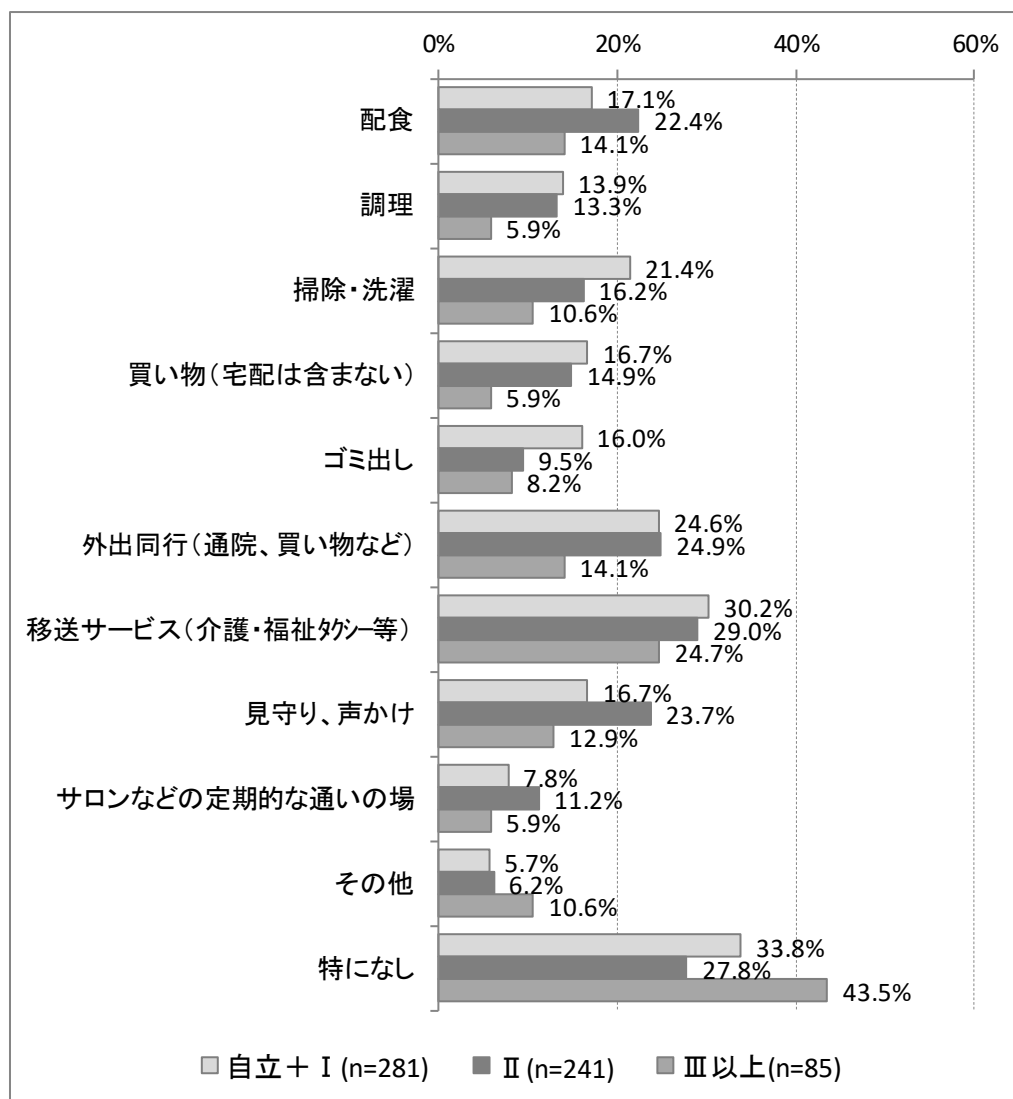
その他世帯で要介護度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、いずれの要介護度においても「特になし」が最も多くなっています。必要と感じる支援・サービスについては、要支援1・2で「外出同行（通院、買い物など）」が25.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.1%、要介護1・2で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が25.6%、要介護3以上で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.6%、「見守り、声かけ」が17.3%となっています。

図表 2-33 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



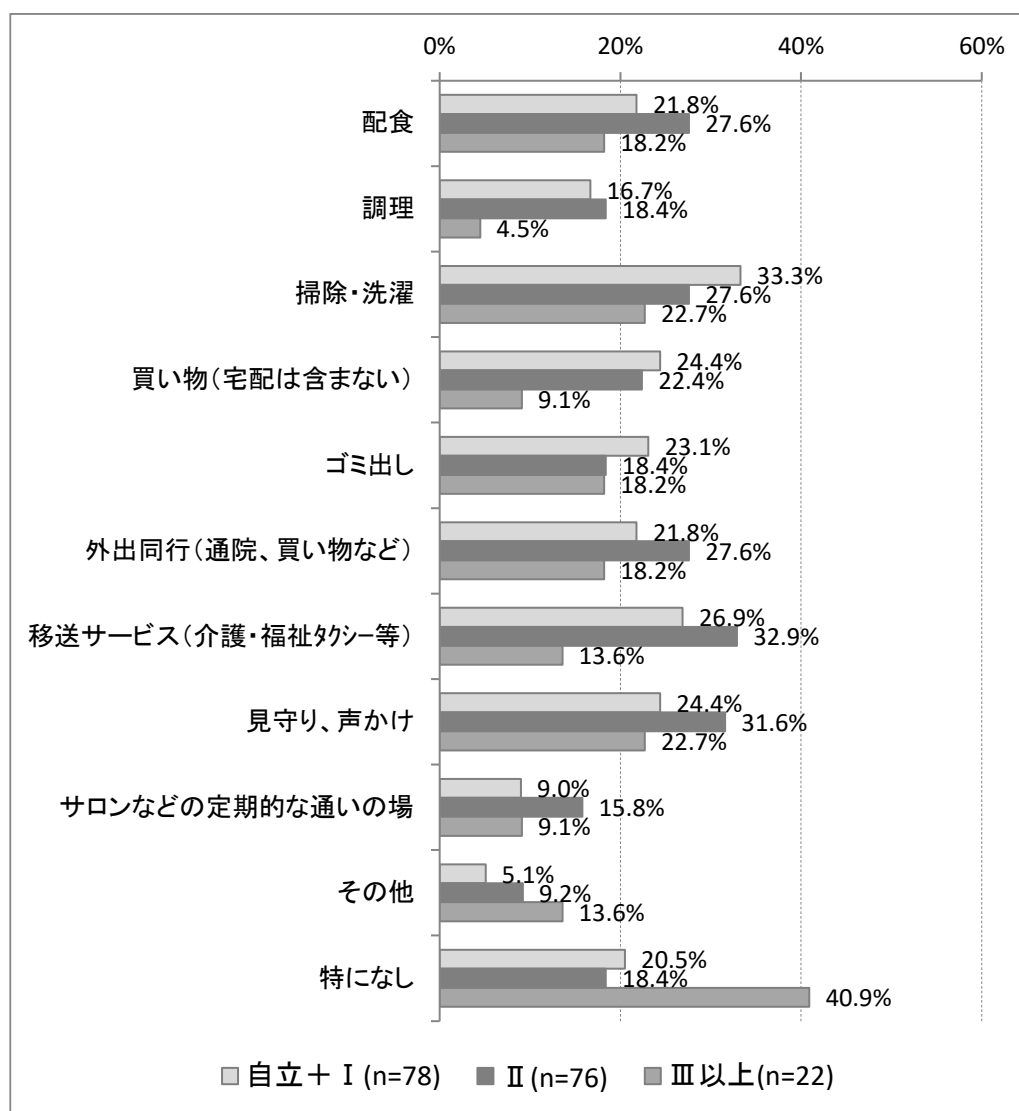
認知症自立度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、自立+Ⅰでは「特になし」が33.8%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.6%となっています。Ⅱでは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.0%と最も多く、次いで「特になし」が27.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.9%となっています。Ⅲ以上では「特になし」が43.5%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.7%、「配食」と「外出同行（通院、買い物など）」がともに14.1%となっています。

図表 2-34 認知症自立度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



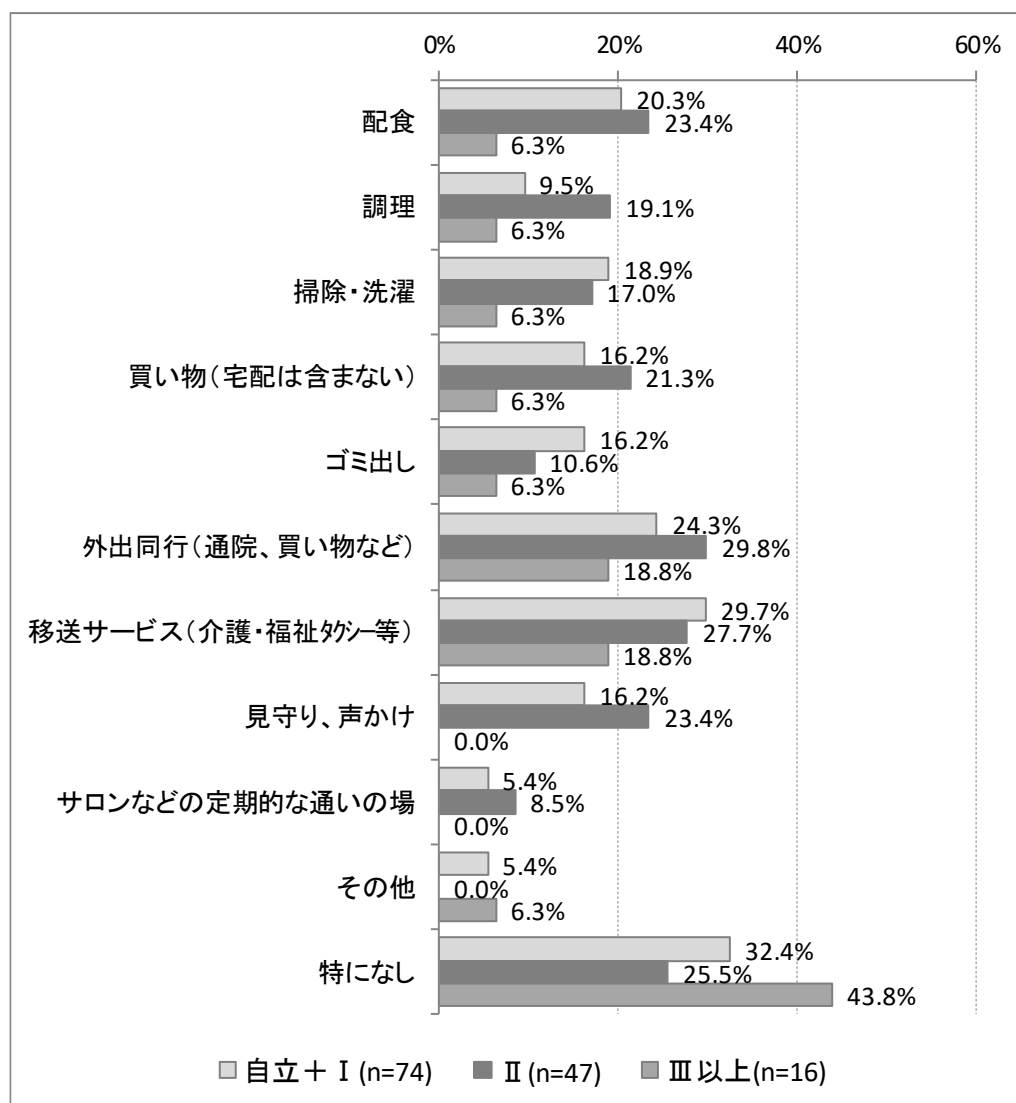
単身世帯で認知症自立度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、自立+Ⅰでは「掃除・洗濯」が33.3%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.9%、「買い物（宅配は含まない）」「見守り、声かけ」がともに24.4%となっています。Ⅱでは「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.9%と最も多く、次いで「見守り、声かけ」が31.6%、「配食」と「掃除・洗濯」「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも27.6%となっています。Ⅲ以上では「特になし」が40.9%と最も多く、次いで「掃除・洗濯」と「見守り、声かけ」がともに22.7%、「配食」と「ゴミ出し」と「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも18.2%となっています。

図表 2-35 認知症自立度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



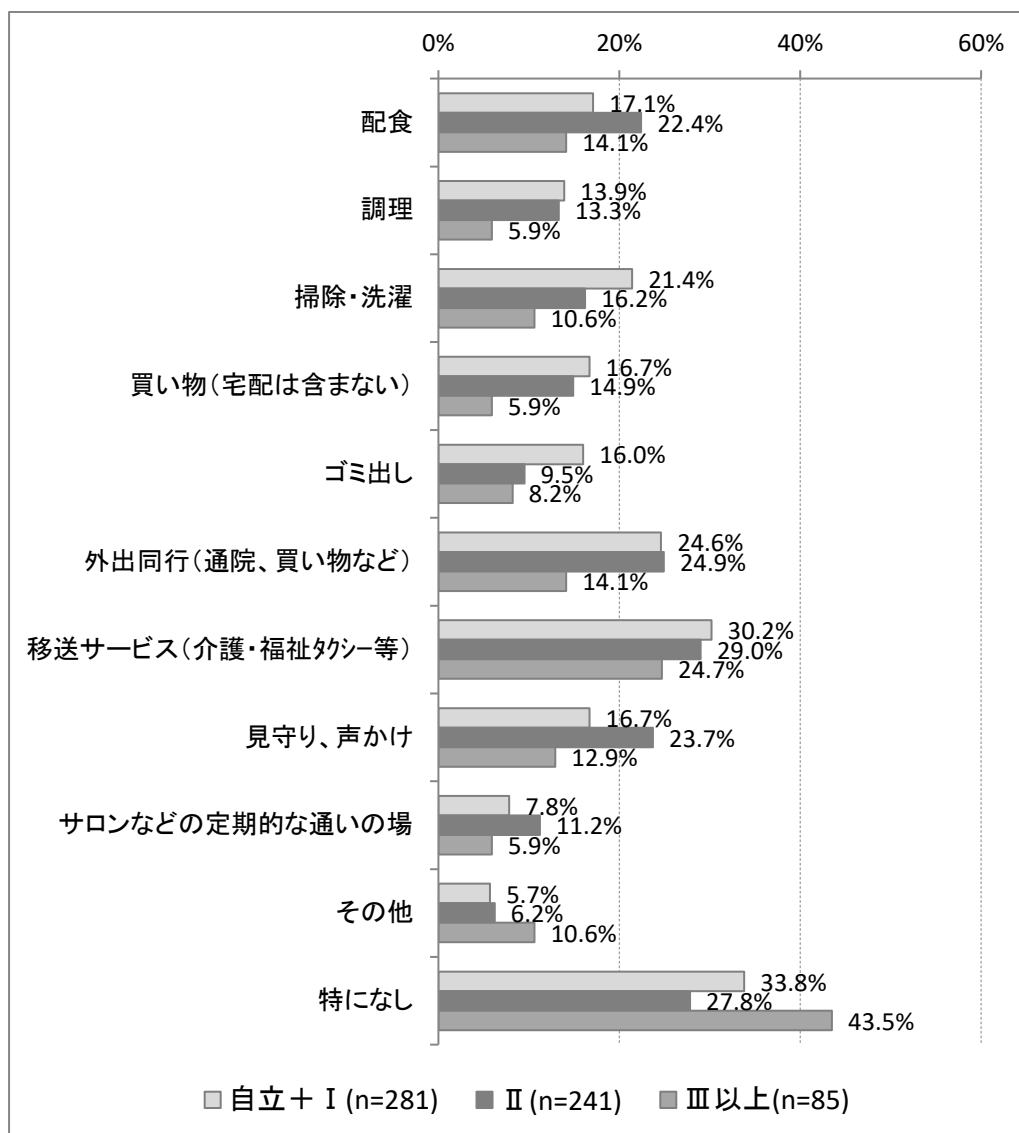
夫婦のみ世帯で認知症自立度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、自立+Ⅰでは「特になし」が32.4%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.3%となっています。Ⅱでは「外出同行（通院、買い物など）」が29.8%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.7%となっています。Ⅲ以上では「特になし」が43.8%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がともに18.8%となっています。

図表 2-36 認知症自立度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



その他世帯で認知症自立度別に在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、いずれの認知症自立度においても「特になし」の割合が高くなっています。必要と感じる支援・サービスについては、自立+Ⅰで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.6%、Ⅱで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.9%、Ⅲ以上で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.7%と多くなっています。

図表 2-37 認知症自立度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

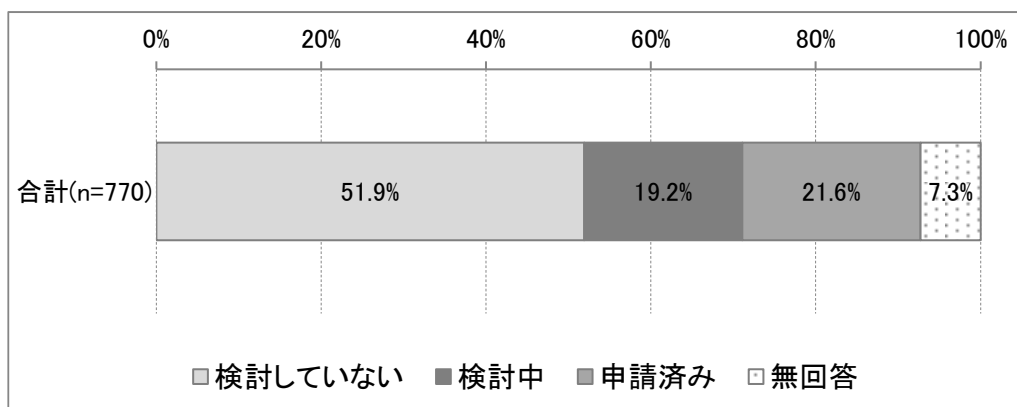


(10) 施設等への入所・入居の検討状況

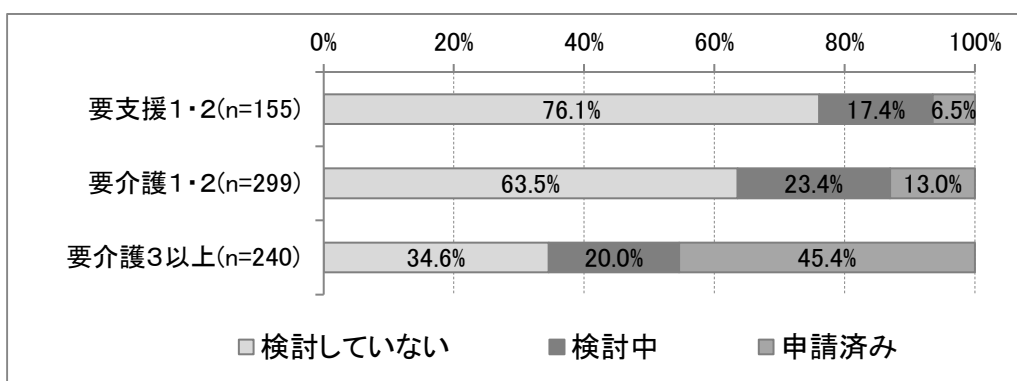
施設等への入居・入所の検討状況については、「検討していない」が51.9%、「申請済み」が21.6%、「検討中」が19.2%となっています。

要介護度別にみると、重度になるにつれ「申請済み」の割合が高くなっています。また、世帯類型別にみると、単身世帯で「申請済み」の割合がほかの世帯に比べて高くなっています。

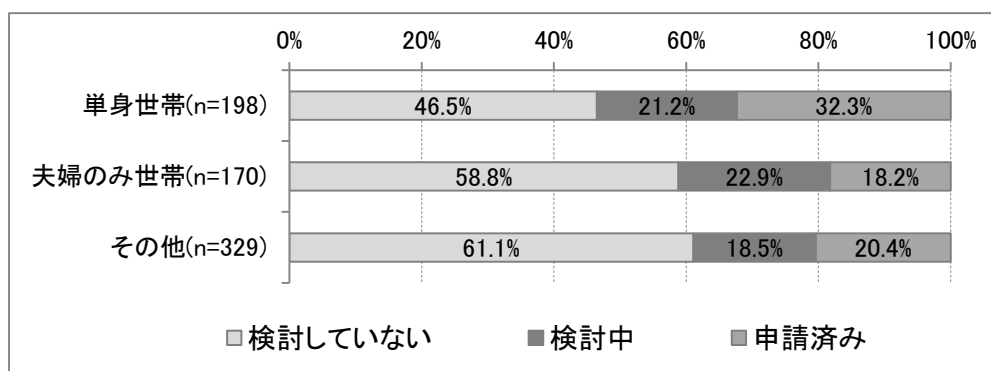
図表 2-38 施設等検討の状況（単数回答）



図表 2-39 要介護度別・施設等検討の状況

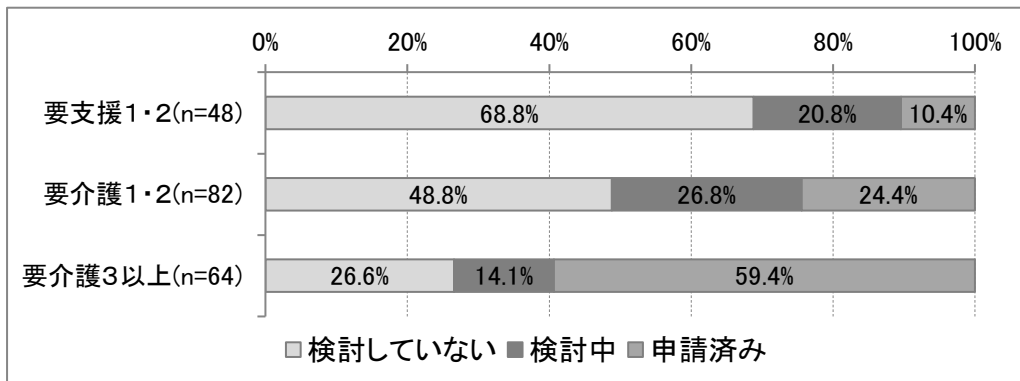


図表 2-40 世帯類型別・施設等検討の状況

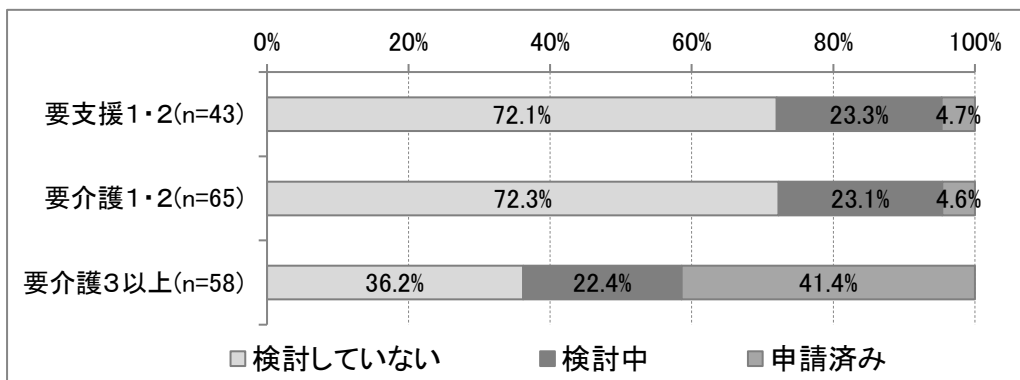


世帯類型ごとに要介護度別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、いずれの世帯においても要支援1・2では「検討していない」割合が高くなっています。また、いずれの世帯においても要介護3以上では、「検討中」「申請済み」をあわせた割合が50%を超えています。

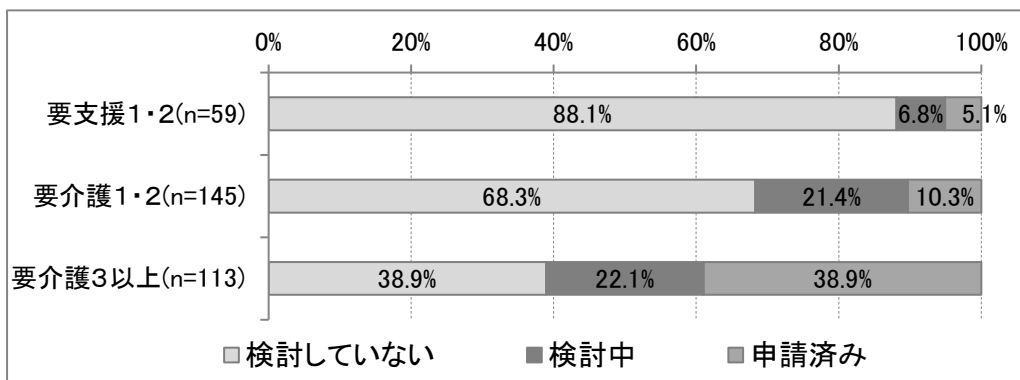
図表 2-41 要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



図表 2-42 要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）

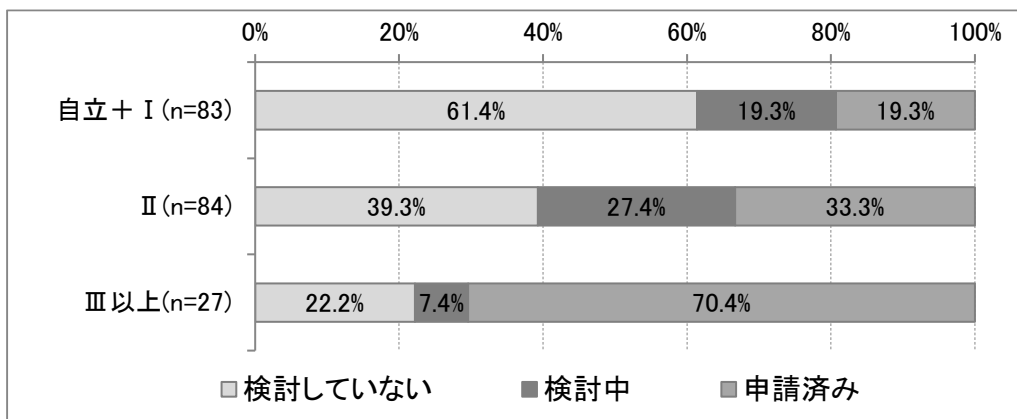


図表 2-43 要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）

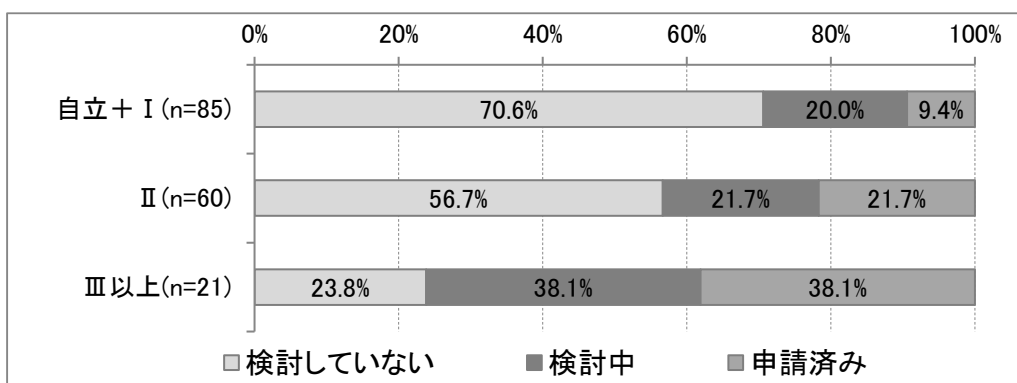


世帯類型ごとで認知症高齢者自立度別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、いずれの世帯においても自立+ I では「検討していない」が60%以上を占めています。また、いずれの世帯においてもⅢ以上で「検討中」「申請済み」をあわせた割合が50%を超えています。

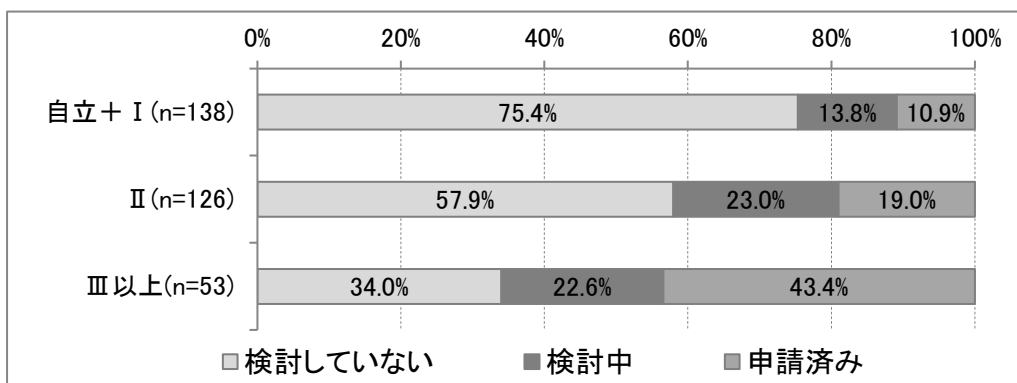
図表 2-44 認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）



図表 2-45 認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



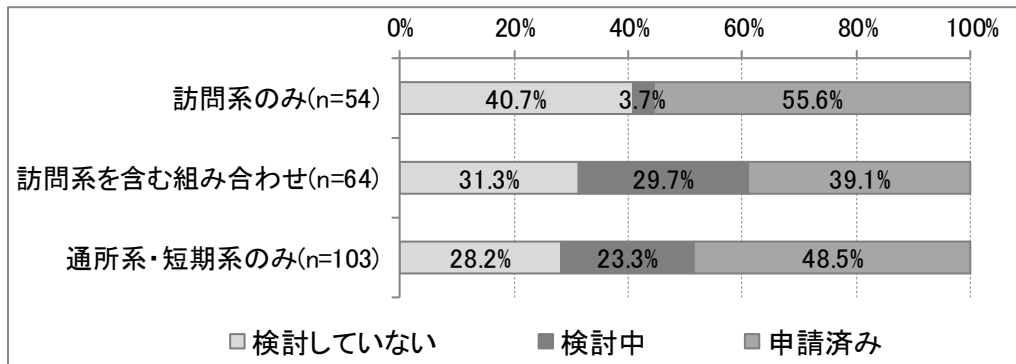
図表 2-46 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）



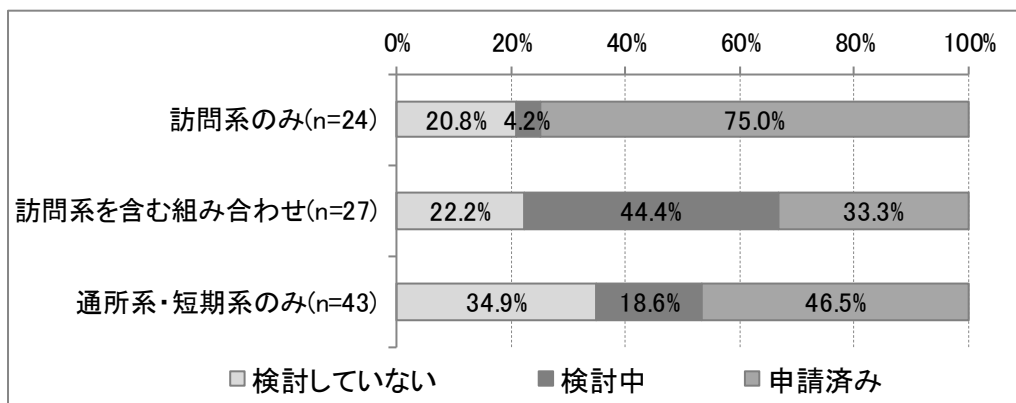
要介護3以上の要介護認定者で、施設等への入所・入居の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、訪問系のみを利用している人で「申請済み」が55.6%と最も割合が高くなっています。

認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で、施設等への入所・入居の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」で「検討中」「申請済み」が79.2%、「訪問系を含む組み合わせ」では77.7%、「通所系・短期系のみ」では65.1%となっています。

図表 2-47 サービス利用の組み合わせ別・施設等への入所・入居の検討状況（要介護3以上）



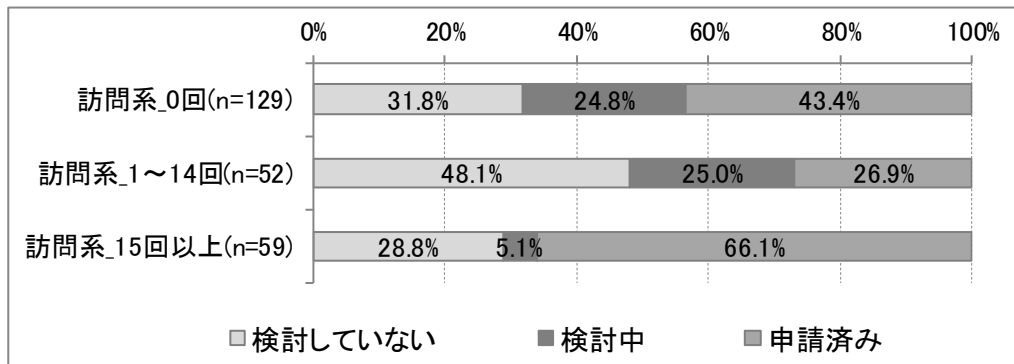
図表 2-48 サービス利用の組み合わせ別・施設等への入所・入居の検討状況（認知症Ⅲ以上）



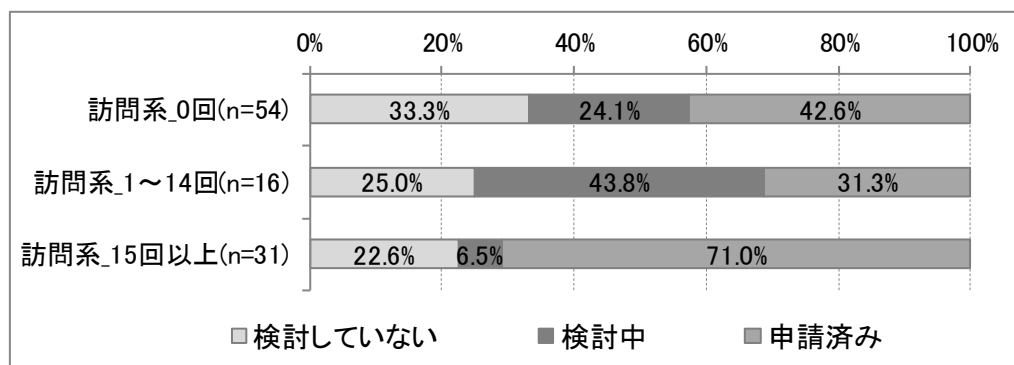
要介護3以上の要介護認定者で、施設等への入所・入居の検討状況を訪問系サービスの利用回数別にみると、「訪問系_1～14回」では「検討していない」が48.1%と、他の利用回数と比べ割合が高くなっています。

認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で、施設等への入所・入居の検討状況を訪問系サービスの利用回数別にみると、「訪問系_15回以上」で「申請済み」の割合が71.0%と最も割合が高くなっています。

図表 2-49 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（訪問系、要介護3以上）



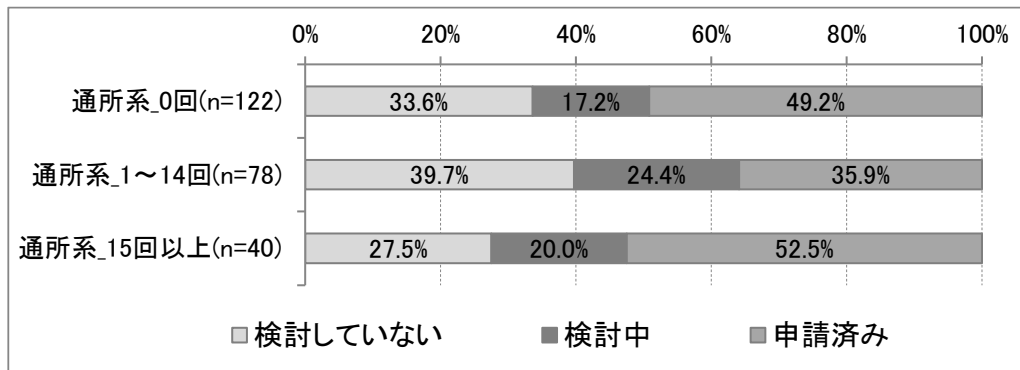
図表 2-50 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



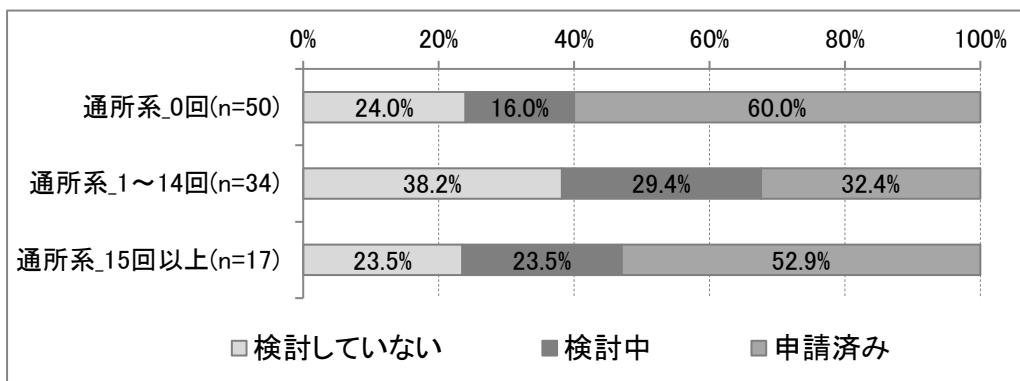
要介護3以上の要介護認定者で、施設等への入所・入居の検討状況を通所系サービスの利用回数別にみると、「通所系_1～14回」で「検討していない」の割合が39.7%と最も高くなっています。

認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で、施設等への入所・入居の検討状況を通所系サービスの利用回数別にみると、「通所系_1～14回」で「検討していない」の割合が38.2%と最も高くなっています。

図表 2-51 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（通所系、要介護3以上）

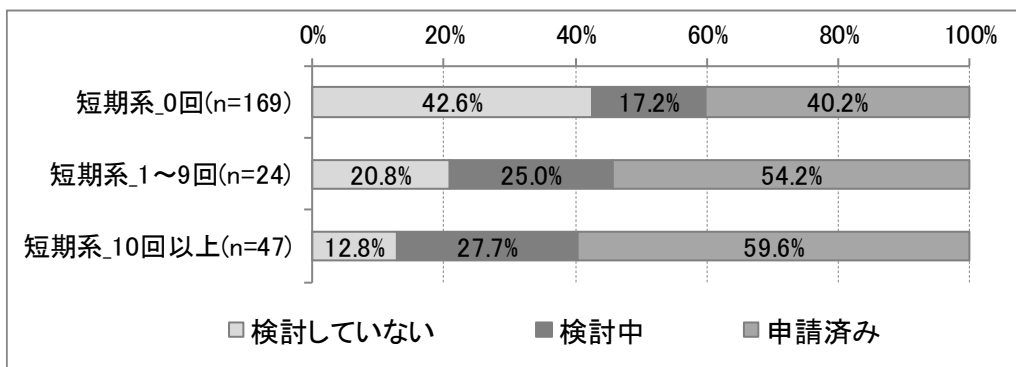


図表 2-52 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（通所系、認知症Ⅲ以上）

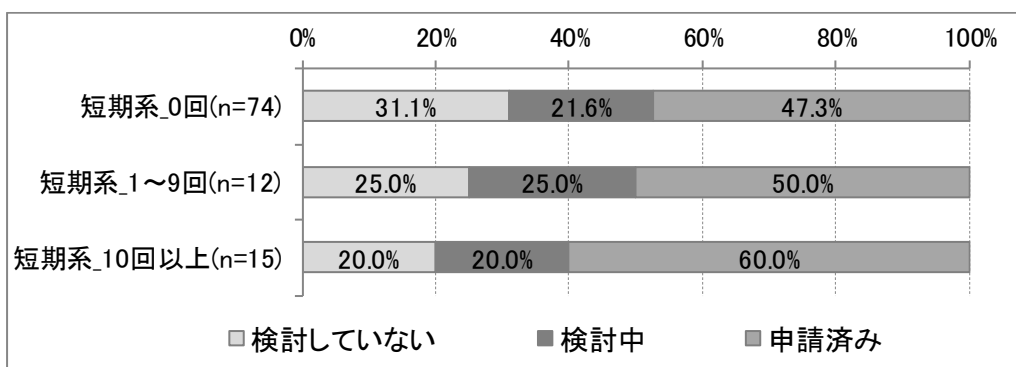


要介護3以上の要介護認定者で、施設等への入所・入居の検討状況を短期系サービスの利用回数別にみると、利用回数が多くなるにつれ「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。同様に、認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で、施設等への入所・入居の検討状況を短期系サービスの利用回数別にみると、利用回数が多くなるにつれ「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。

図表 2-53 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（短期系、要介護3以上）

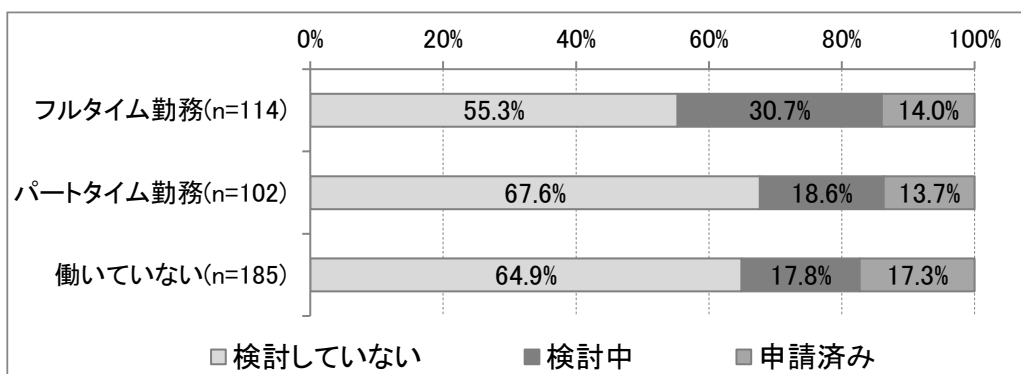


図表 2-54 サービス利用回数別・施設等への入所・入居の検討状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



主な介護者の勤務形態別に施設等への入所・入居の検討状況をみると、「フルタイム勤務」で「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。

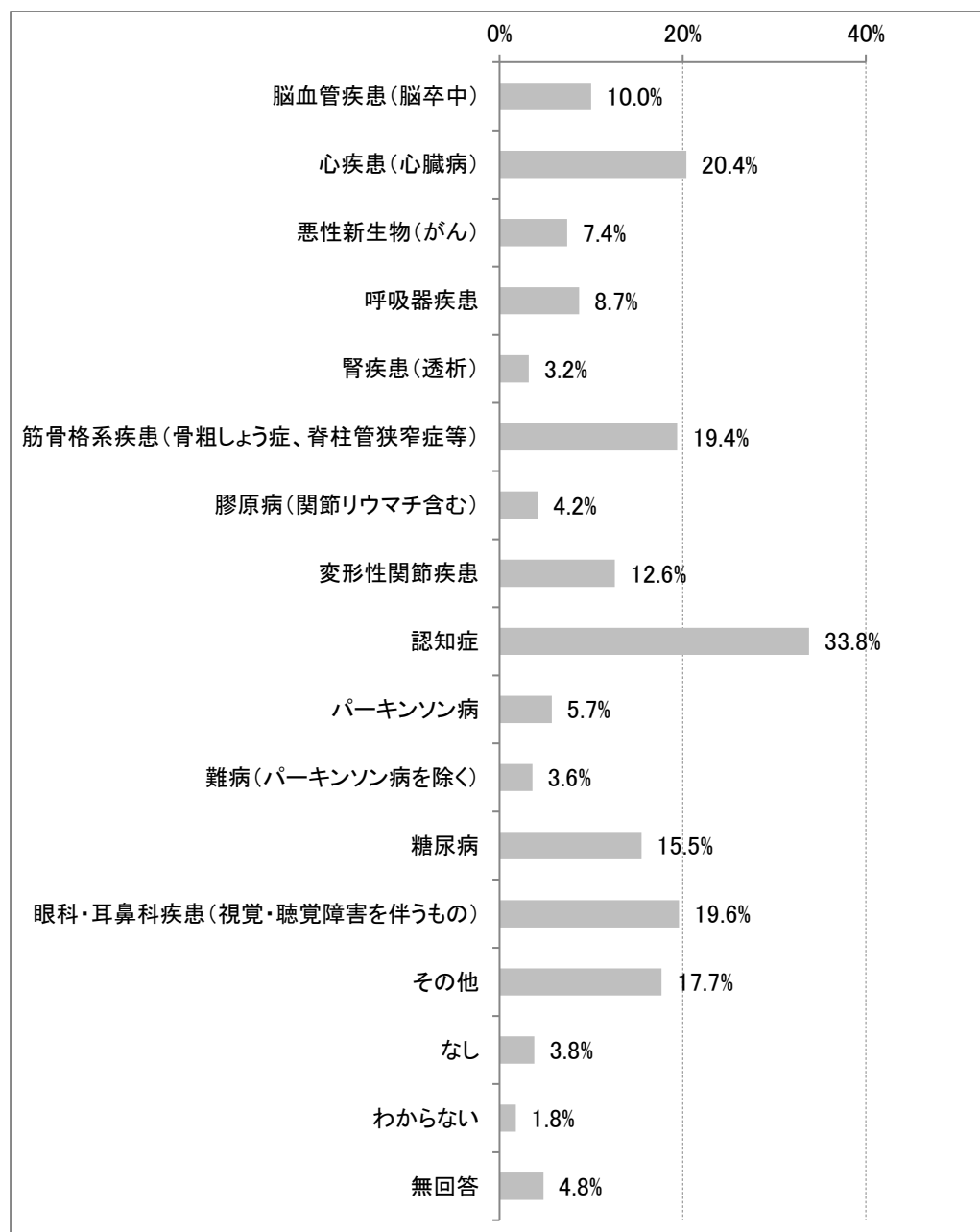
図表 2-55 就労状況別・施設等検討の状況



(11) 本人が抱えている傷病

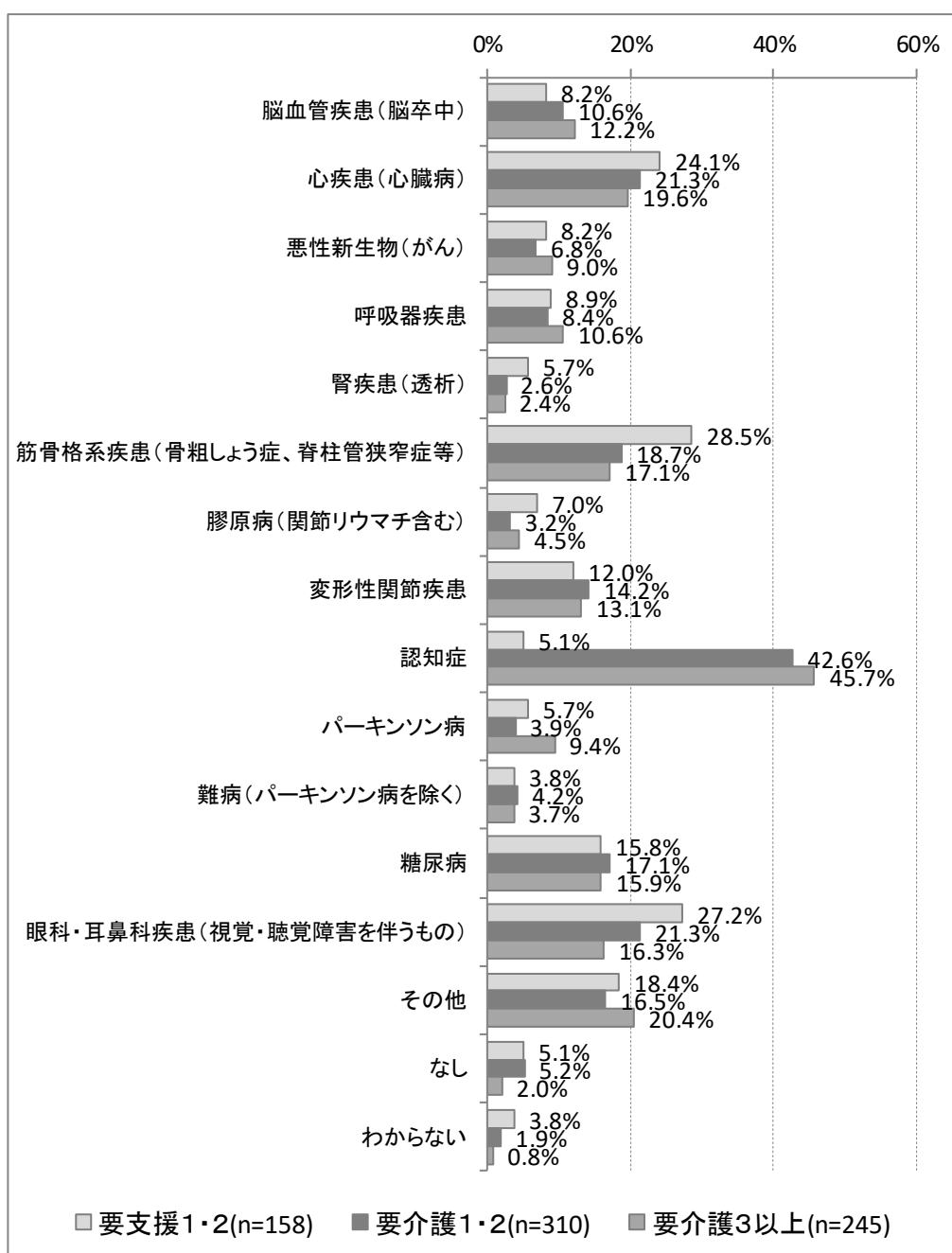
本人が抱えている傷病については、「認知症」が33.8%と最も多くなっています。次いで、「心疾患（心臓病）」が20.4%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が19.6%となっています。

図表 2-56 本人が抱えている傷病（複数回答）



要介護度別に本人が抱えている傷病をみると、「その他」を除いて、要支援1・2では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が28.5%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が27.2%、「心疾患（心臓病）」が24.1%の順、要介護1・2では「認知症」は42.6%、「心疾患（心臓病）」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が21.3%の順、要介護3以上では「認知症」が45.7%、「心疾患（心臓病）」が19.6%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が17.1%の順となっています。

図表 2-57 要介護度別・本人が抱えている傷病



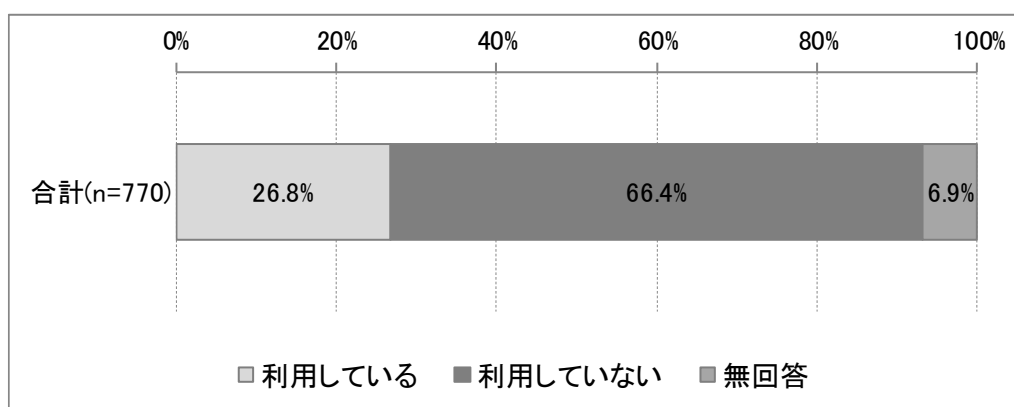
(12) 訪問診療の利用の有無

訪問診療の利用の有無は、「利用している」が26.8%、「利用していない」が66.4%となっています。

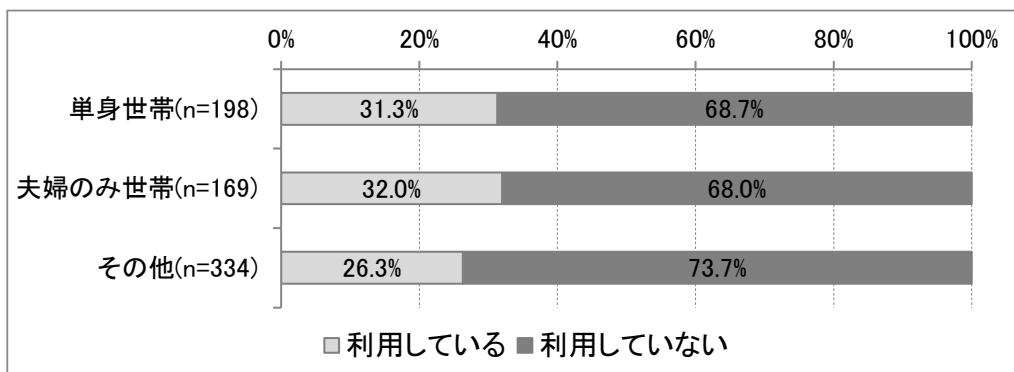
世帯類型別に訪問診療の利用の有無をみると、世帯タイプの違いによる差はあまりみられません。

主な介護者の勤務形態別に訪問診療の利用の有無をみると、働いていない介護者では他の勤務形態と比べ「利用している」の割合が高くなっています。

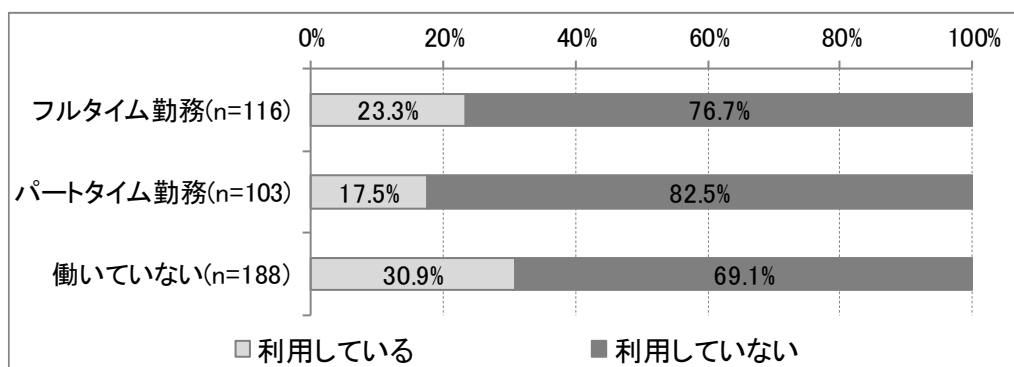
図表 2-58 訪問診療の利用の有無（単数回答）



図表 2-59 世帯類型別・訪問診療の利用割合

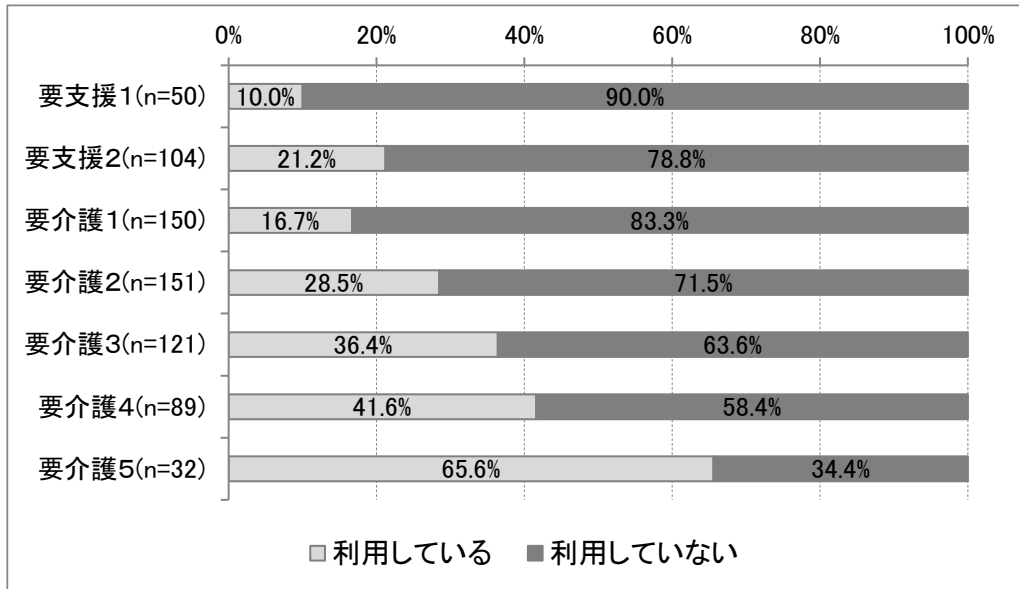


図表 2-60 勤務形態別・訪問診療の利用の有無



要介護別に訪問診療の利用の有無をみると、要介護度が重度になるにつれ、「利用している」割合が高くなる傾向がみられ、要介護5では65.6%となっています。

図表 2-61 要介護度別・訪問診療の利用割合



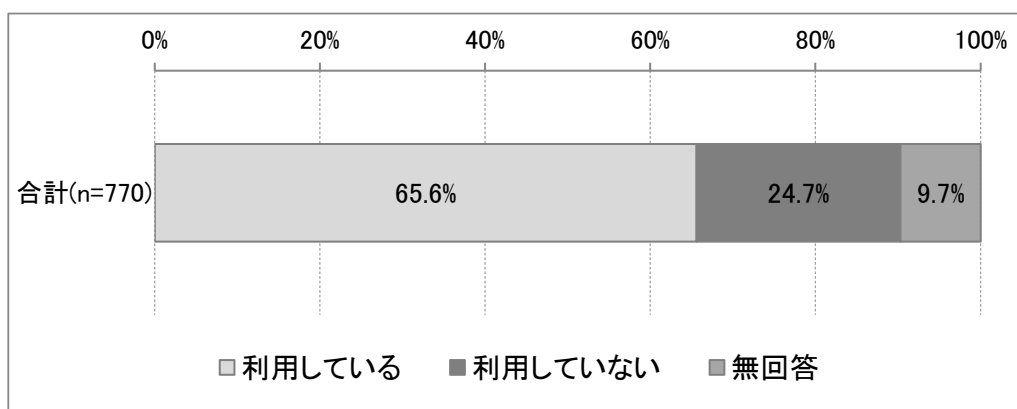
(13) 介護保険サービスの利用の有無

介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が65.6%、「利用していない」が24.7%となっています。

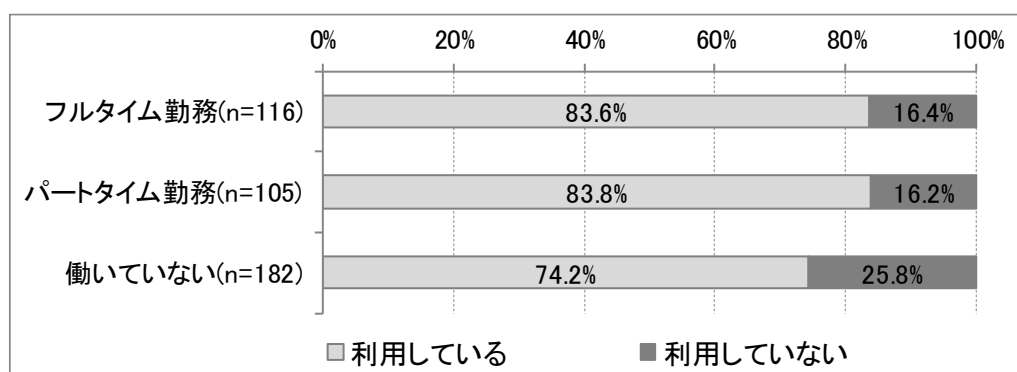
主な介護者の勤務形態別に介護保険サービスの利用の有無をみると、働いていない介護者で「利用している」の割合が74.2%と、他の勤務形態の介護者と比べて低くなっています。

主な介護者の就労継続見込み別にみると、続けていくのはやや難しい・かなり難しい介護者で「利用している」の割合が89.7%と高くなっています。

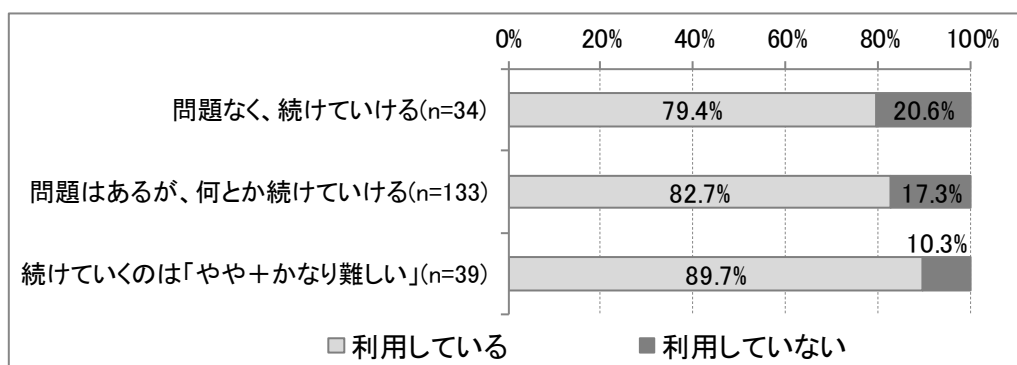
図表 2-62 介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



図表 2-63 勤務形態別・介護保険サービス利用の有無



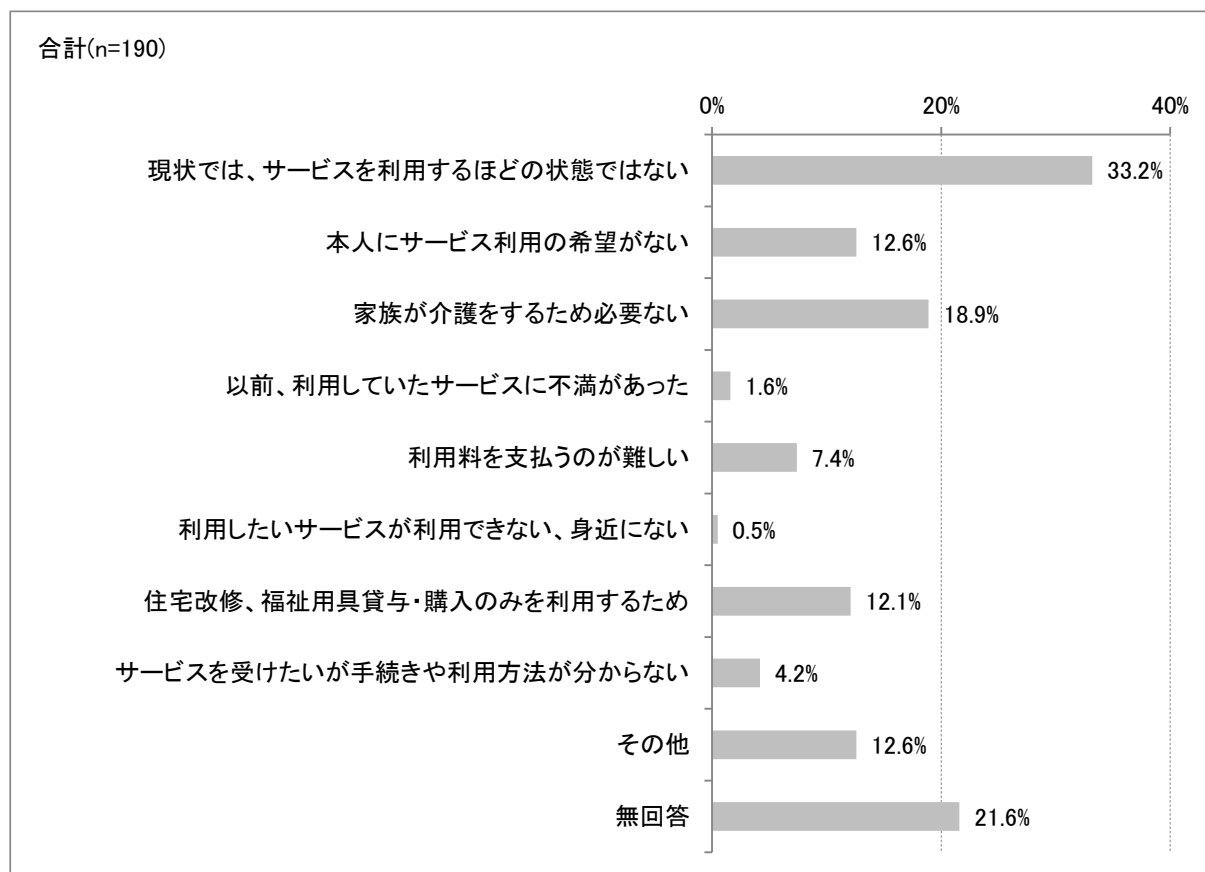
図表 2-64 就労継続見込み別・介護保険サービス利用の有無
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(14) 介護保険サービス未利用の理由

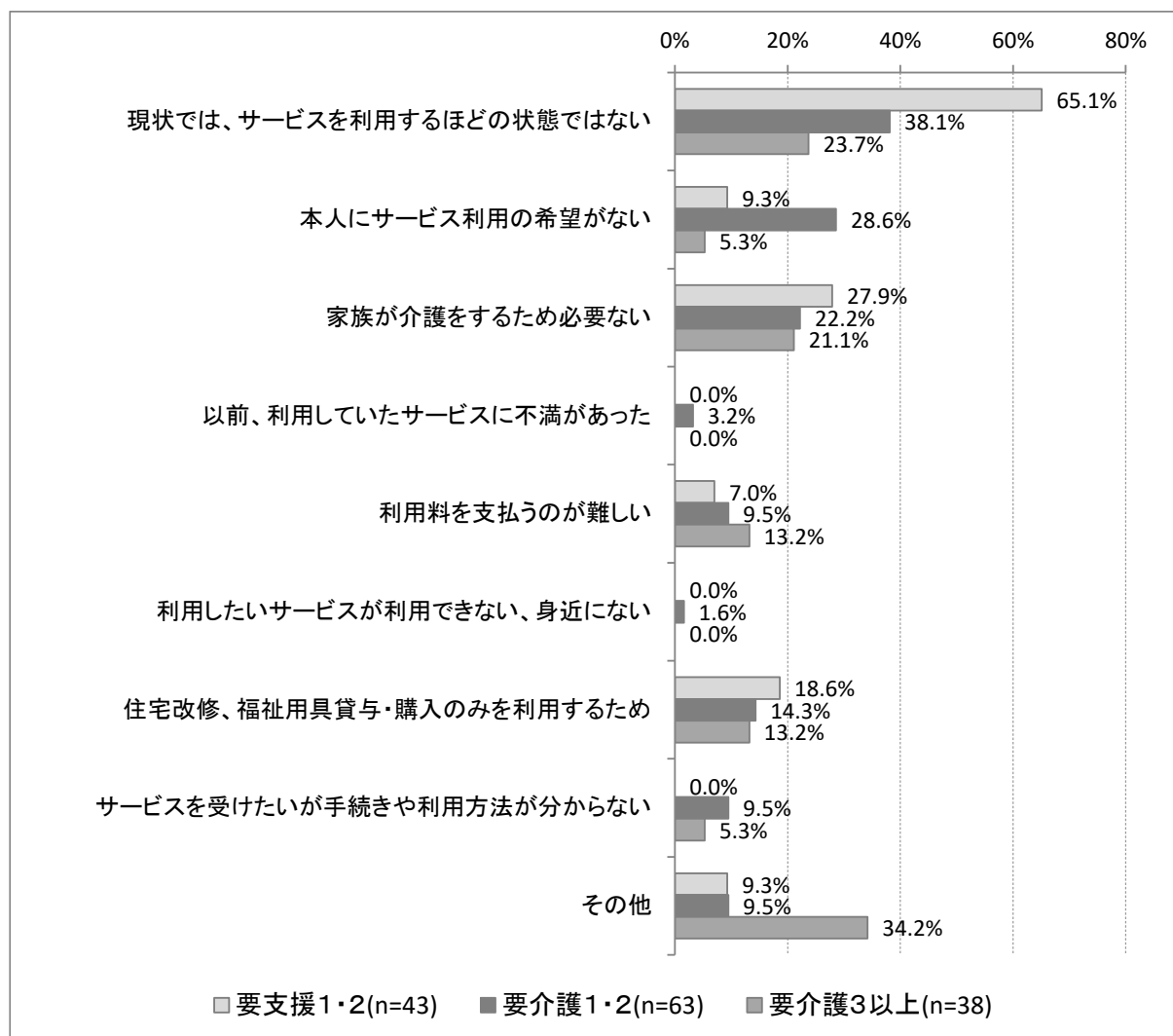
介護保険サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が33.2%と最も多く、次いで、「家族が介護をするため必要ない」が18.9%、「本人にサービス利用の希望がない」が12.6%となっています。

図表 2-65 介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）



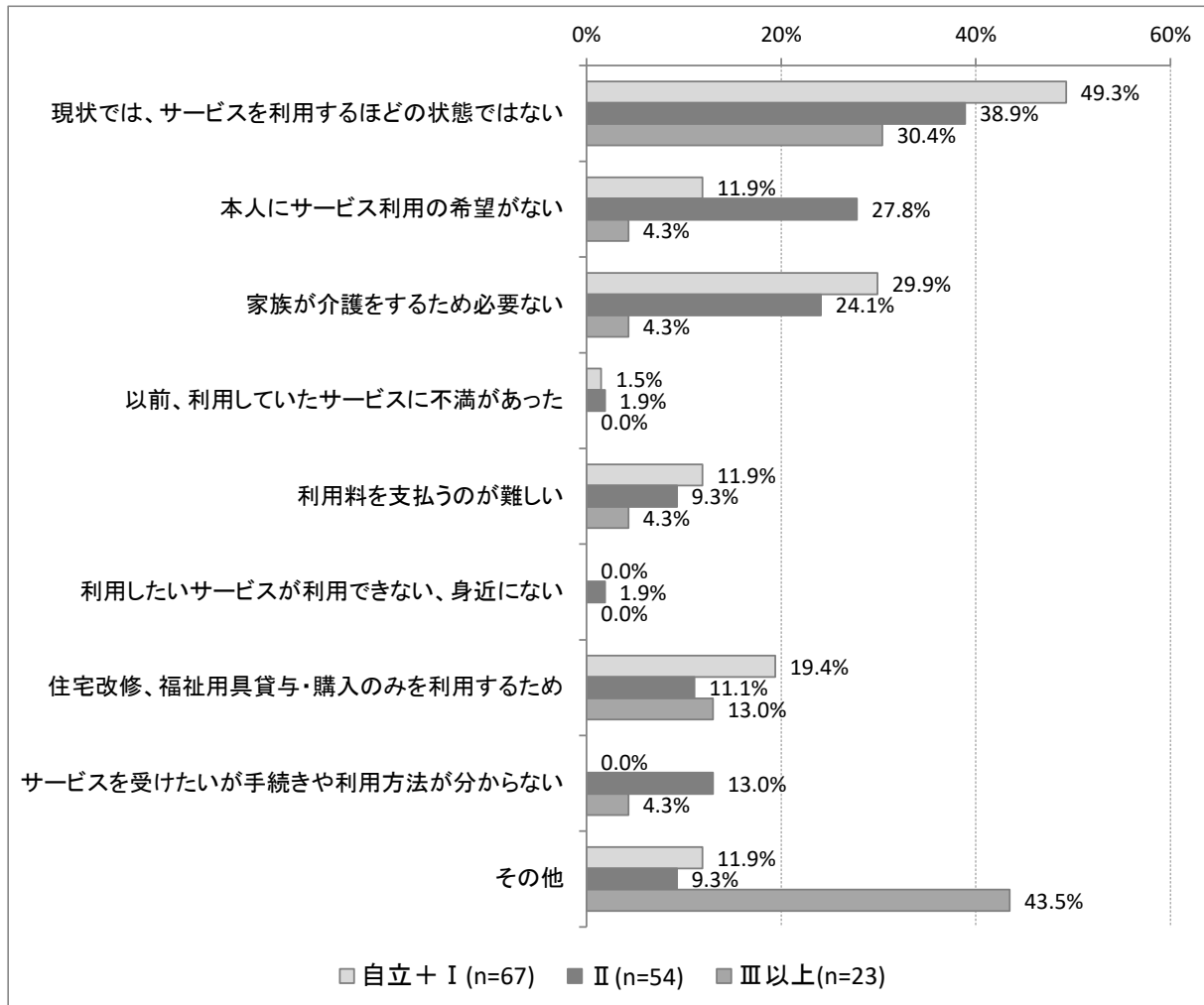
要介護度別に介護保険サービス未利用の理由をみると、「その他」を除いて、いずれの要介護でも「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高くなっています。また、要支援1・2で「本人にサービス利用の希望がない」、要介護3以上で「利用料を支払うのが難しい」の割合が他の介護度に比べて高くなっています。

図表 2-66 要介護度別の介護保険サービス未利用の理由



認知症自立度別に介護保険サービス未利用の理由をみると、「その他」を除いて、いずれの要介護でも「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高くなっています。

図表 2-67 認知症自立度別のサービス未利用の理由

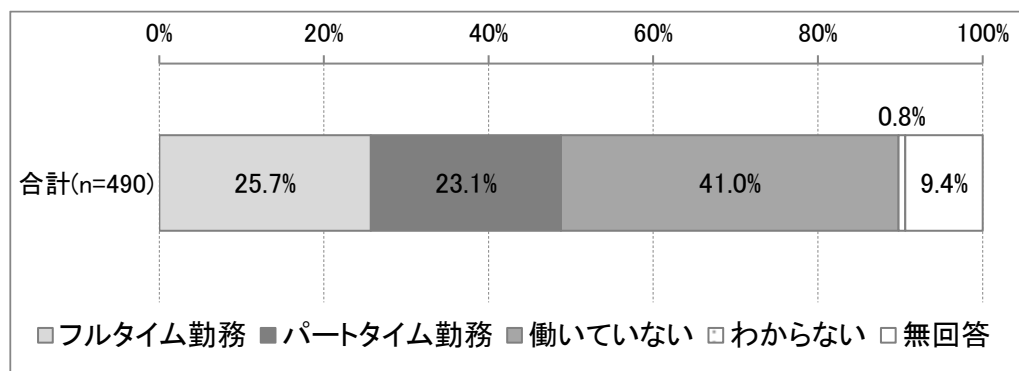


4 主な介護者様用の調査項目（B票）

（1）主な介護者の勤務形態

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が41.0%と最も多く、次いで、「フルタイム勤務」が25.7%、「パートタイム勤務」が23.1%となっています。

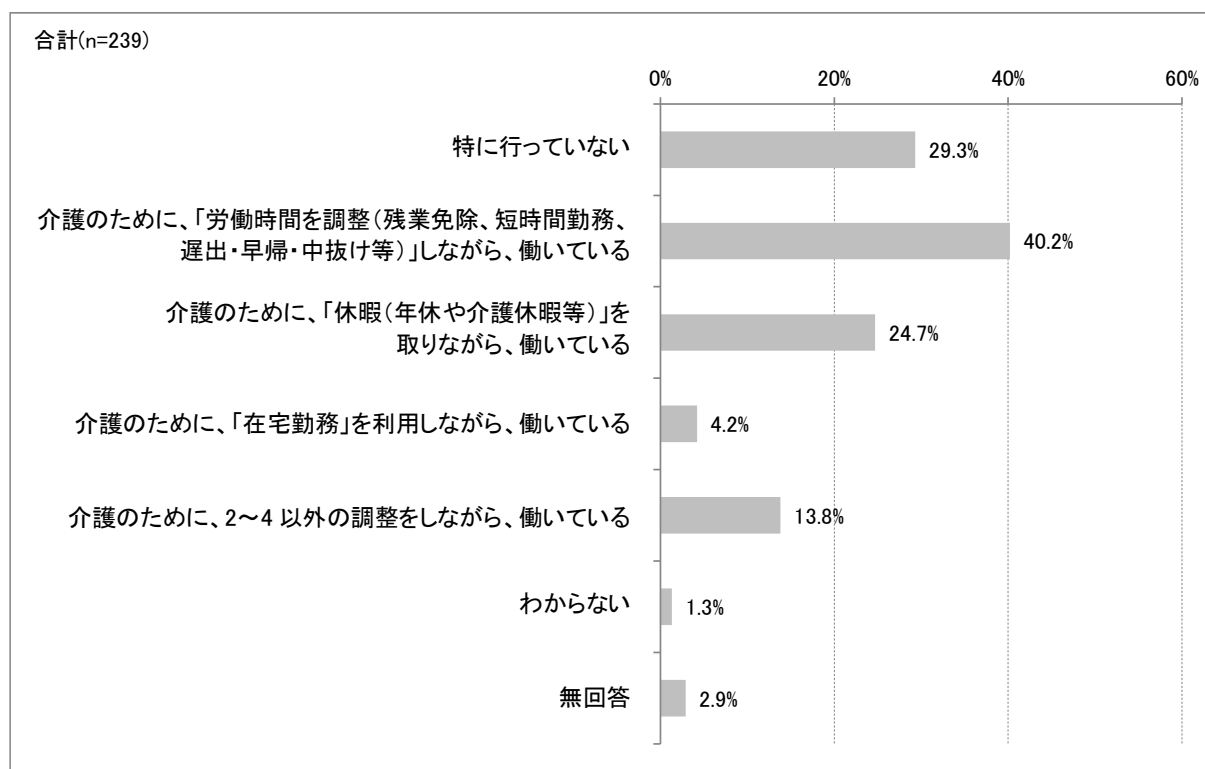
図表 3-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

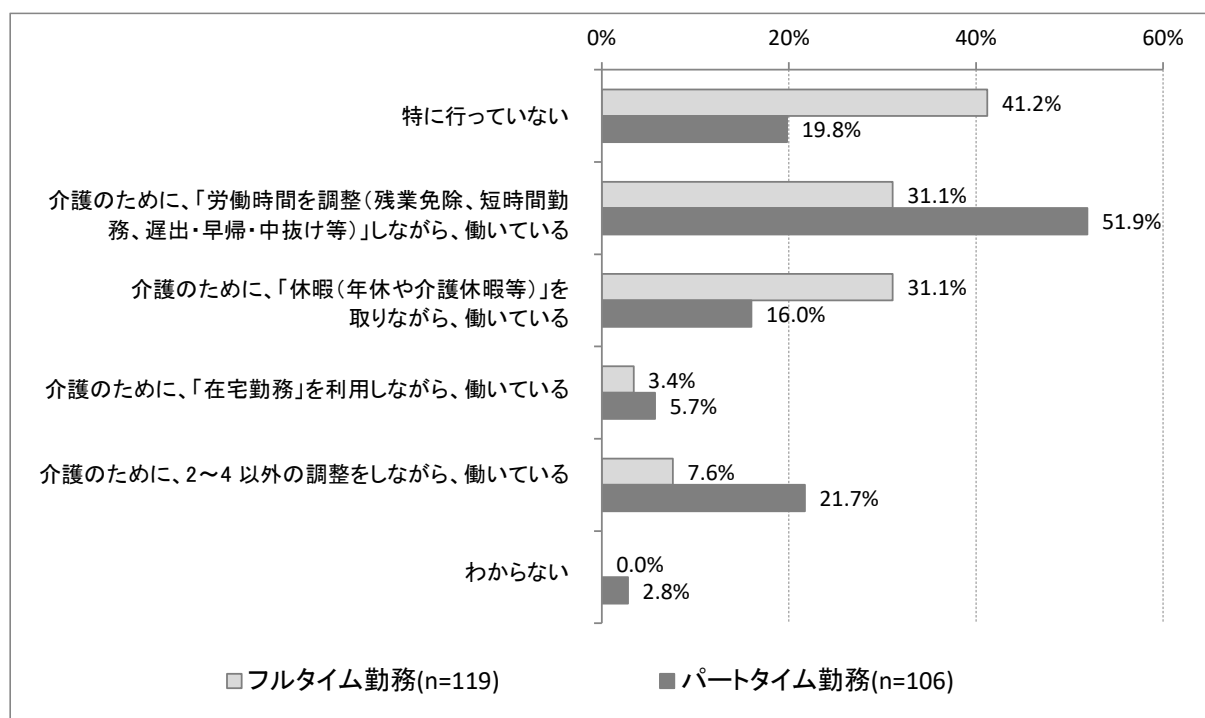
主な介護者の方の働き方の調整状況は、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が40.2%と最も多くなっています。次いで、「特に行っていない」が29.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が24.7%となっています。

図表 3-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



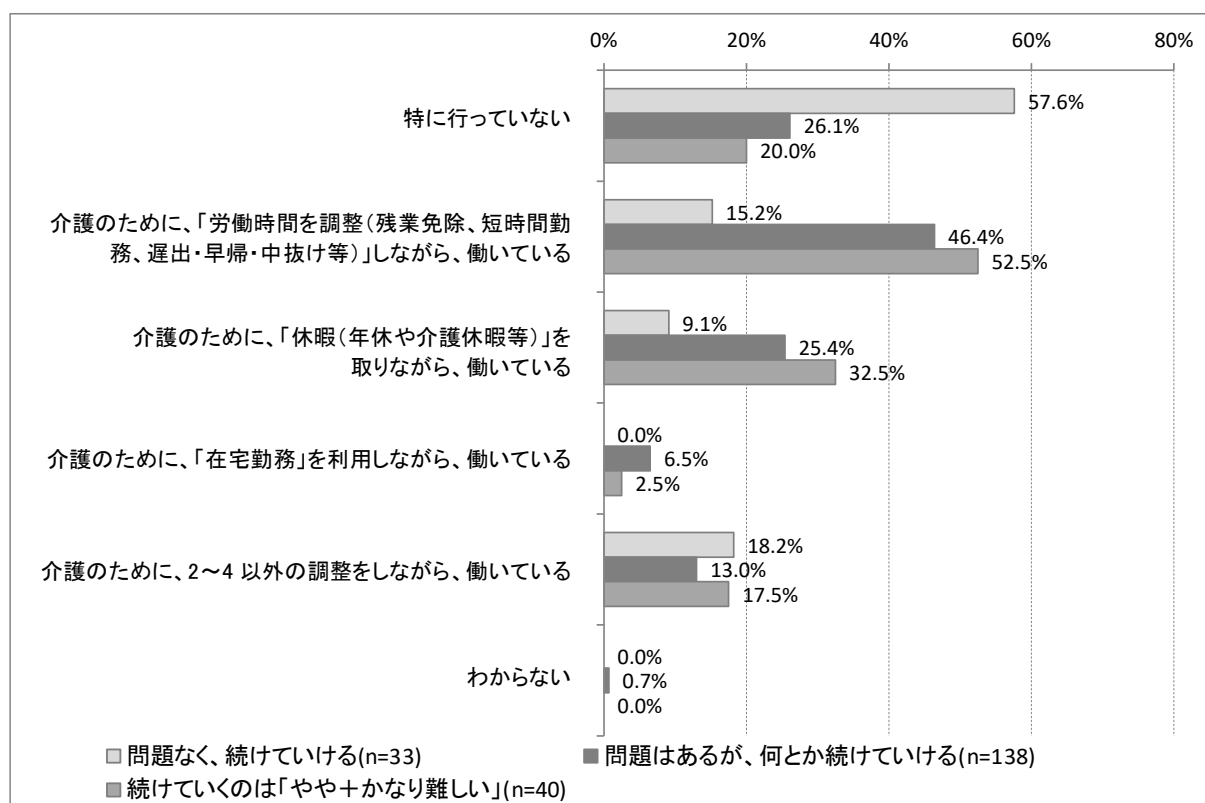
主な介護者の勤務形態別に働き方の調整状況をみると、フルタイム勤務の介護者では「特に行っていない」が41.2%と最も多く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が31.1%となっています。パートタイム勤務の介護者では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が51.9%と最も多く、次いで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が21.7%、となっています。

図表 3-3 勤務形態別・介護のための働き方の調整



介護者の就労継続見込み別に介護者の働き方の調整の状況をみると、問題なく続けていける介護者では「特に行っていない」が57.6%と最も多く、次いで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が18.2%となっています。問題はあがるが何とか続けていける介護者では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が46.4%と最も多く、次いで「特に行っていない」が26.1%となっています。続けていくのは「やや+かなり難しい」介護者では「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が52.5%と最も多く、次いで「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が32.5%となっています。

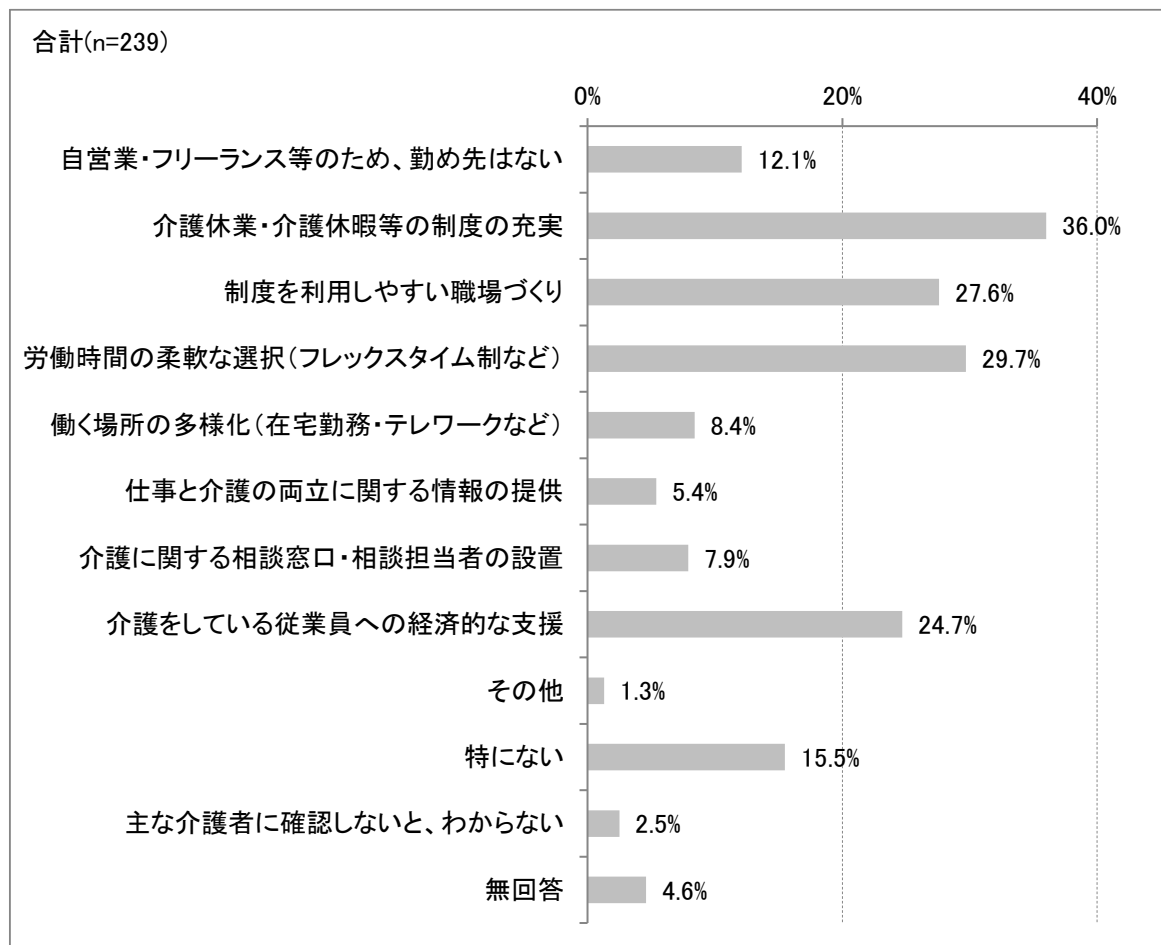
図表 3-4 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

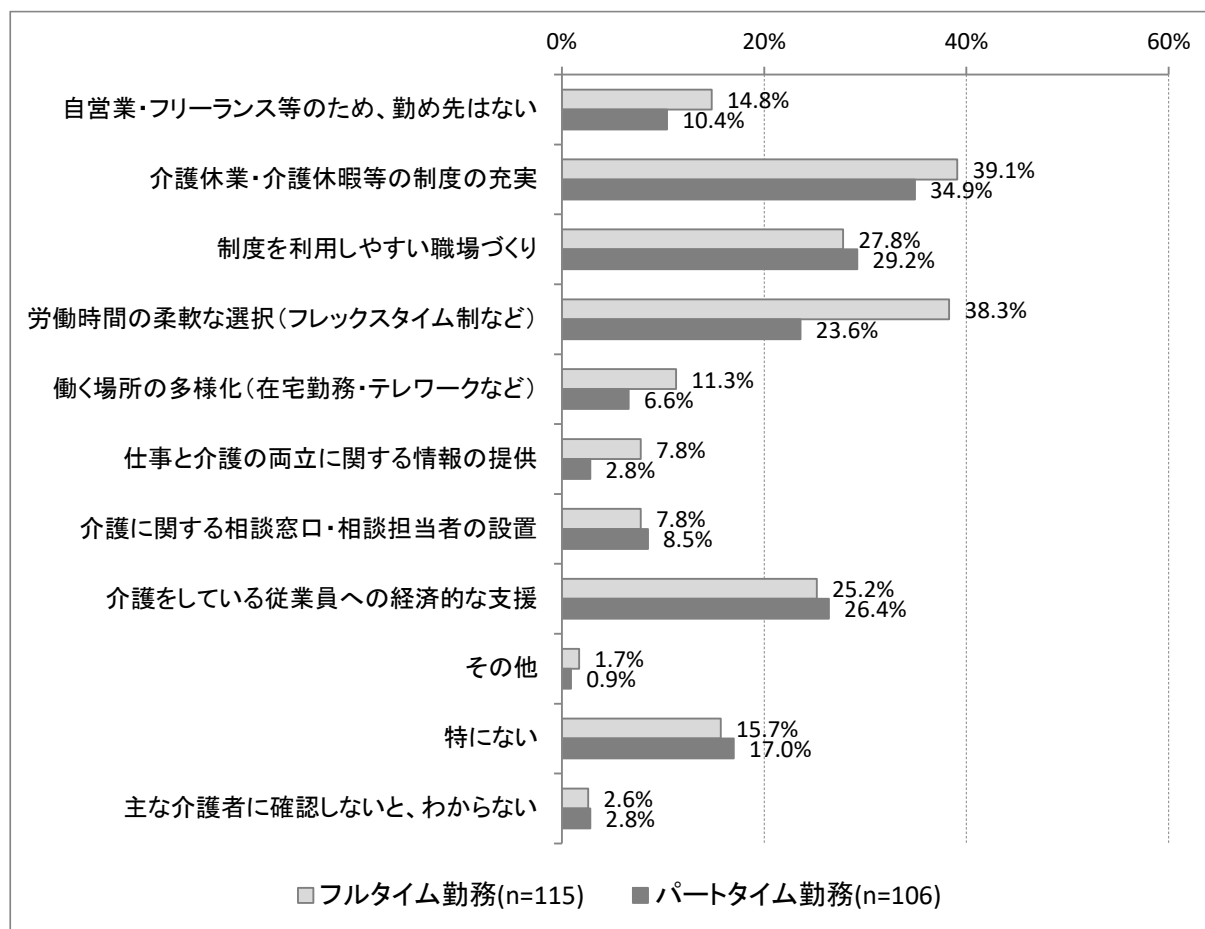
主な介護者の仕事と効果的な勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が36.0%と最も多くなっています。次いで、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が29.7%、「制度を利用しやすい職場づくり」が27.6%となっています。

図表 3-5 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



介護者の勤務形態別に効果的な勤め先からの支援をみると、フルタイム勤務の介護者では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が39.1%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が38.3%、「制度を利用しやすい職場づくり」が27.8%となっています。パートタイム勤務の介護者では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.9%と最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が29.2%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が26.4%となっています。

図表 3-6 就労状況別・効果的な勤め先からの支援

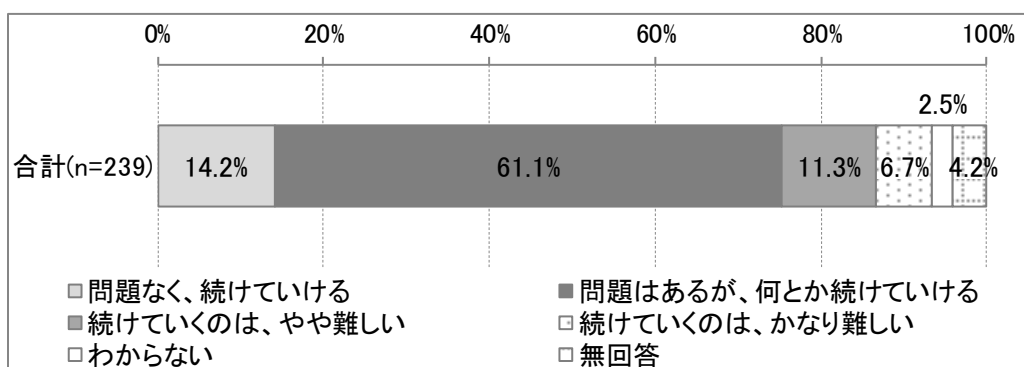


(4) 主な介護者の就労継続見込み

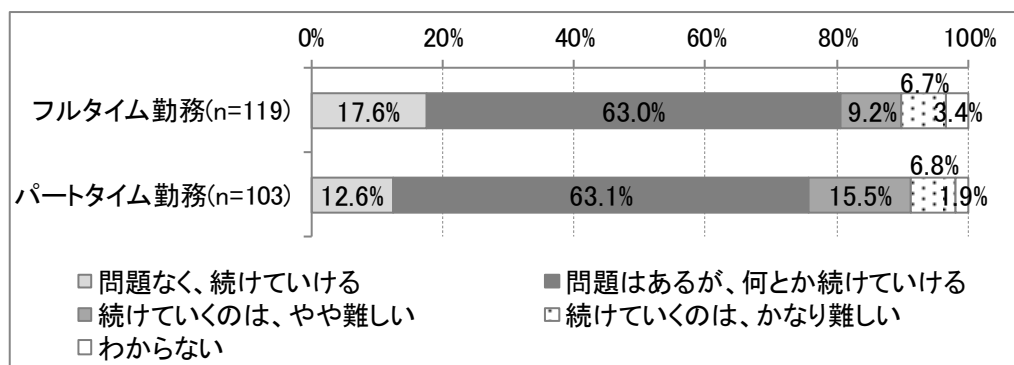
主な介護者の就労継続見込みは、「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多く61.1%となっています。次いで、「問題なく、続けていける」が14.2%、「続けていくのは、やや難しい」が11.3%となっています。

介護者の勤務形態別に介護者の就労継続見込をみると、フルタイム勤務の介護者では「問題なく、続けていける」の割合が17.6%とパートタイム勤務の介護者よりやや高くなって一方、パートタイム勤務の介護者では「続けていくのは、やや難しい」が15.5%とフルタイム勤務の介護者よりやや高くなっています。

図表 3-7 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



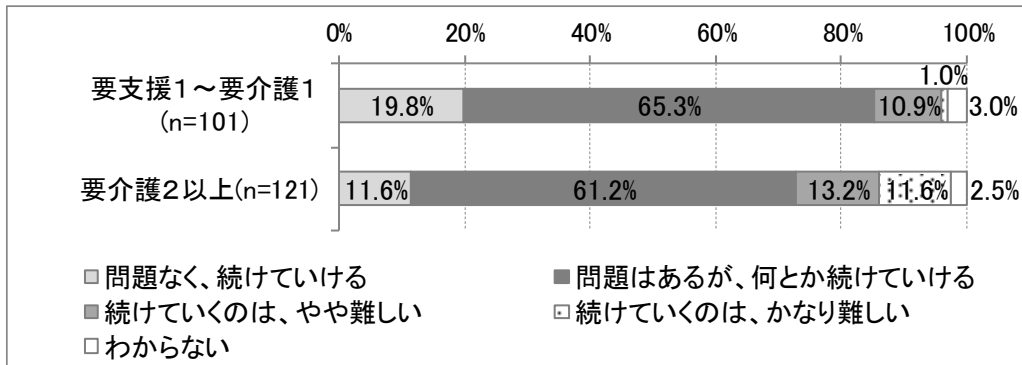
図表 3-8 就労状況別・就労継続見込み



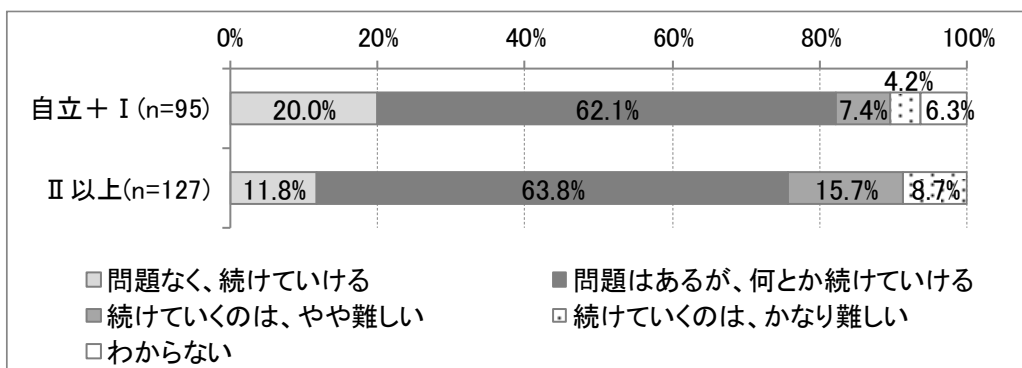
要介護度別に介護者の就労継続見込みをみると、要介護2以上では「問題なく、続けていける」の割合が11.6%と要支援1～要介護1と比べ低くなっています。

認知症自立度別に介護者の就労継続見込みをみると、Ⅱ以上では「問題なく、続けていける」の割合が11.8%と、自立+Ⅰと比べ低くなっています。

図表 3-9 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



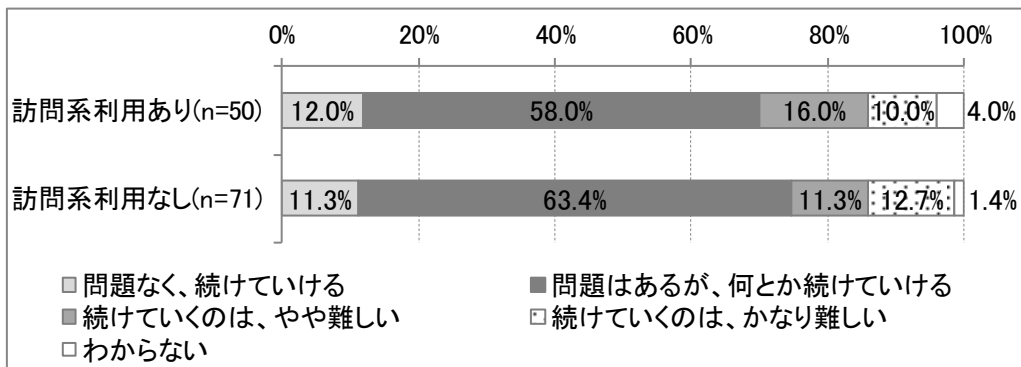
図表 3-10 認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



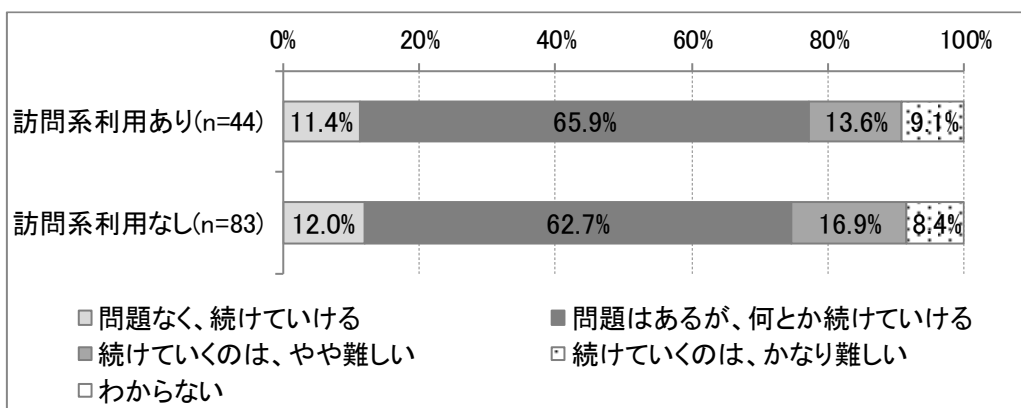
要介護2以上の要介護認定者で、訪問系サービスの利用の有無別に就労継続見込みをみると、利用なしでは「続けていくのは、やや難しい」の割合が16.0%と利用なしと比べて高くなっています。

認知症自立度Ⅱ以上の要介護認定者で、訪問系サービスの利用の有無別に就労継続見込みをみると、大きな差はみられません。

図表 3-11 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



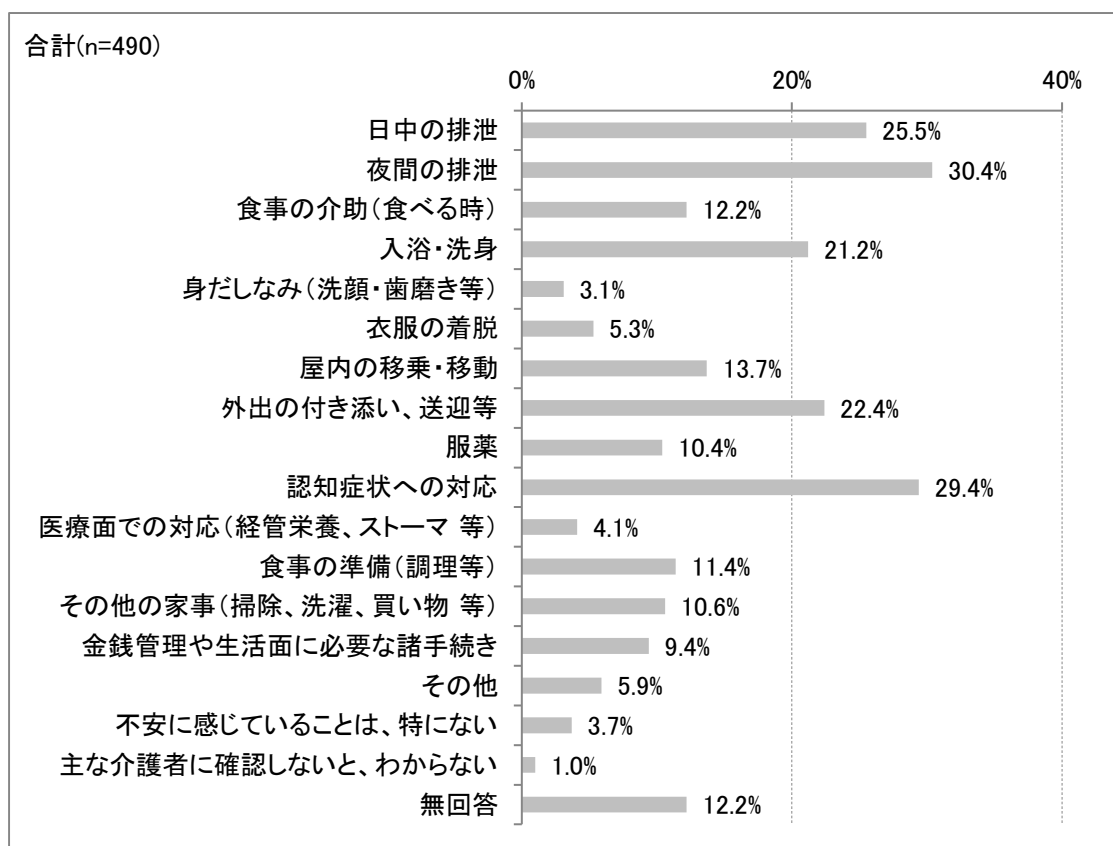
図表 3-12 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
(認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(5) 主な介護者が不安に感じる介護等

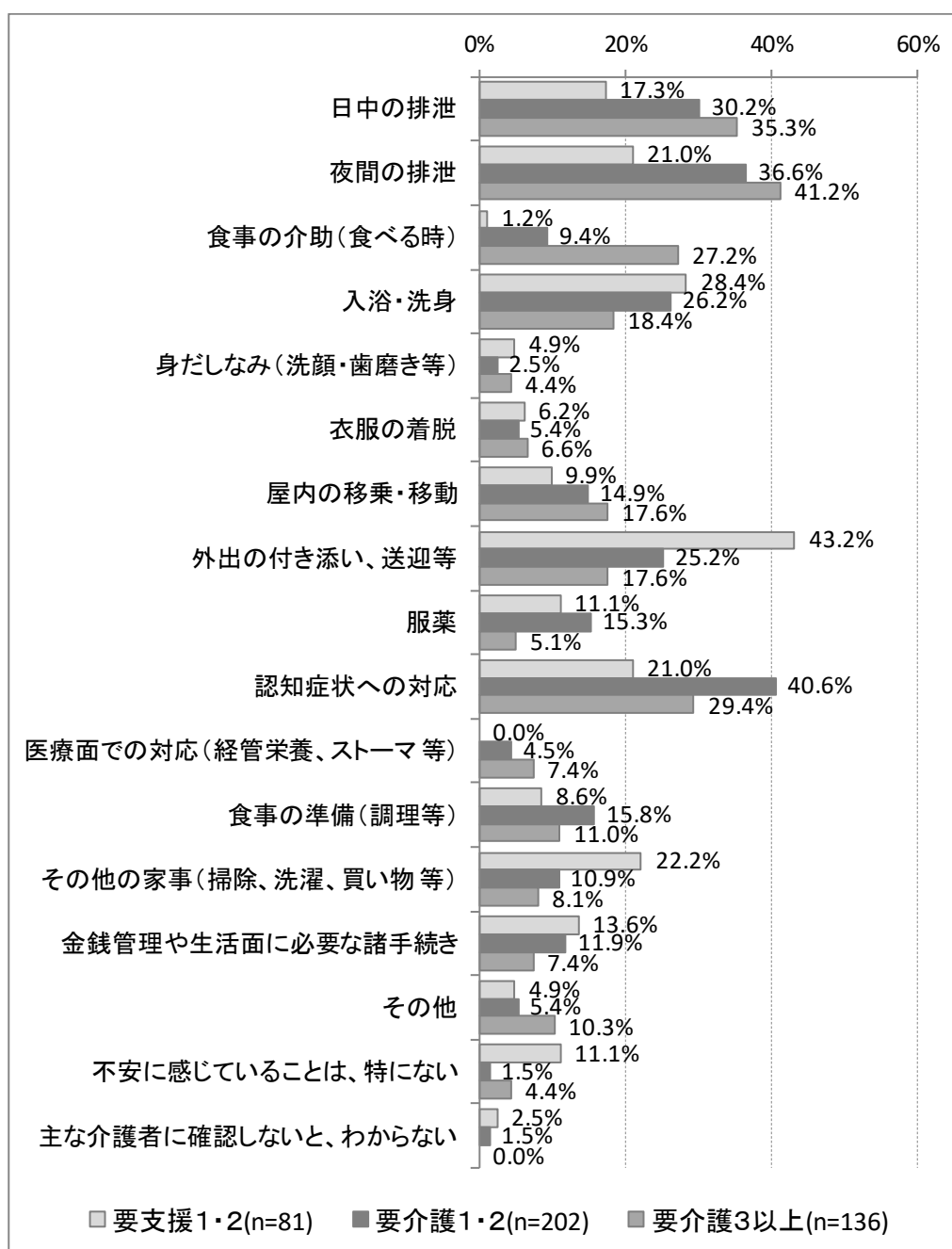
今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護等については、「夜間の排泄」が30.4%と最も多くなっています。次いで、「認知症状への対応」が29.4%、「日中の排泄」が25.5%となっています。

図表 3-13 主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）



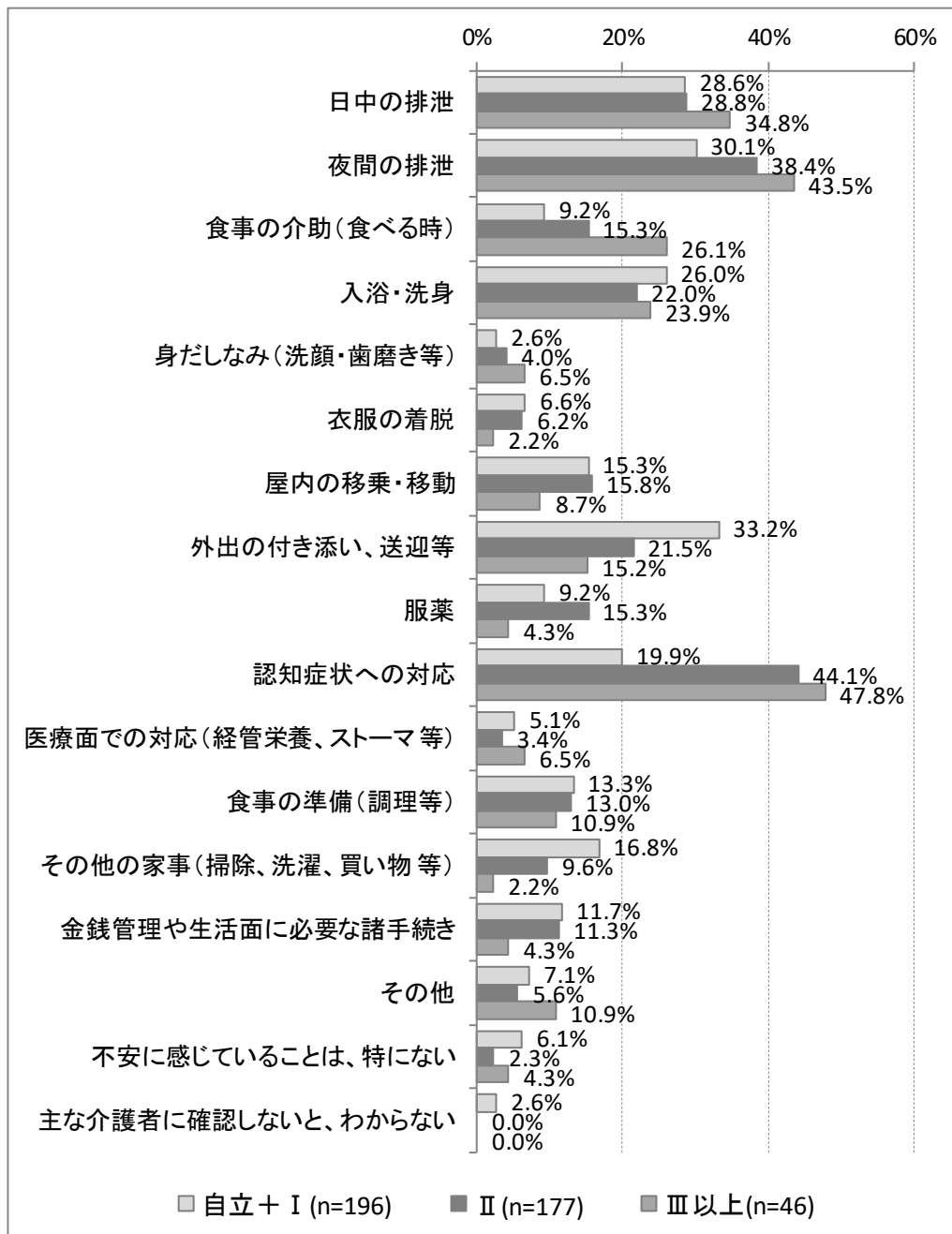
要介護度別に主な介護者が不安を感じる介護等をみると、要介護度が重度になるにつれ「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」の割合が高くなっています。一方、「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は、要介護度が軽度なほど割合が高くなっています。

図表 3-14 要介護度別・主な介護者が不安を感じる介護等



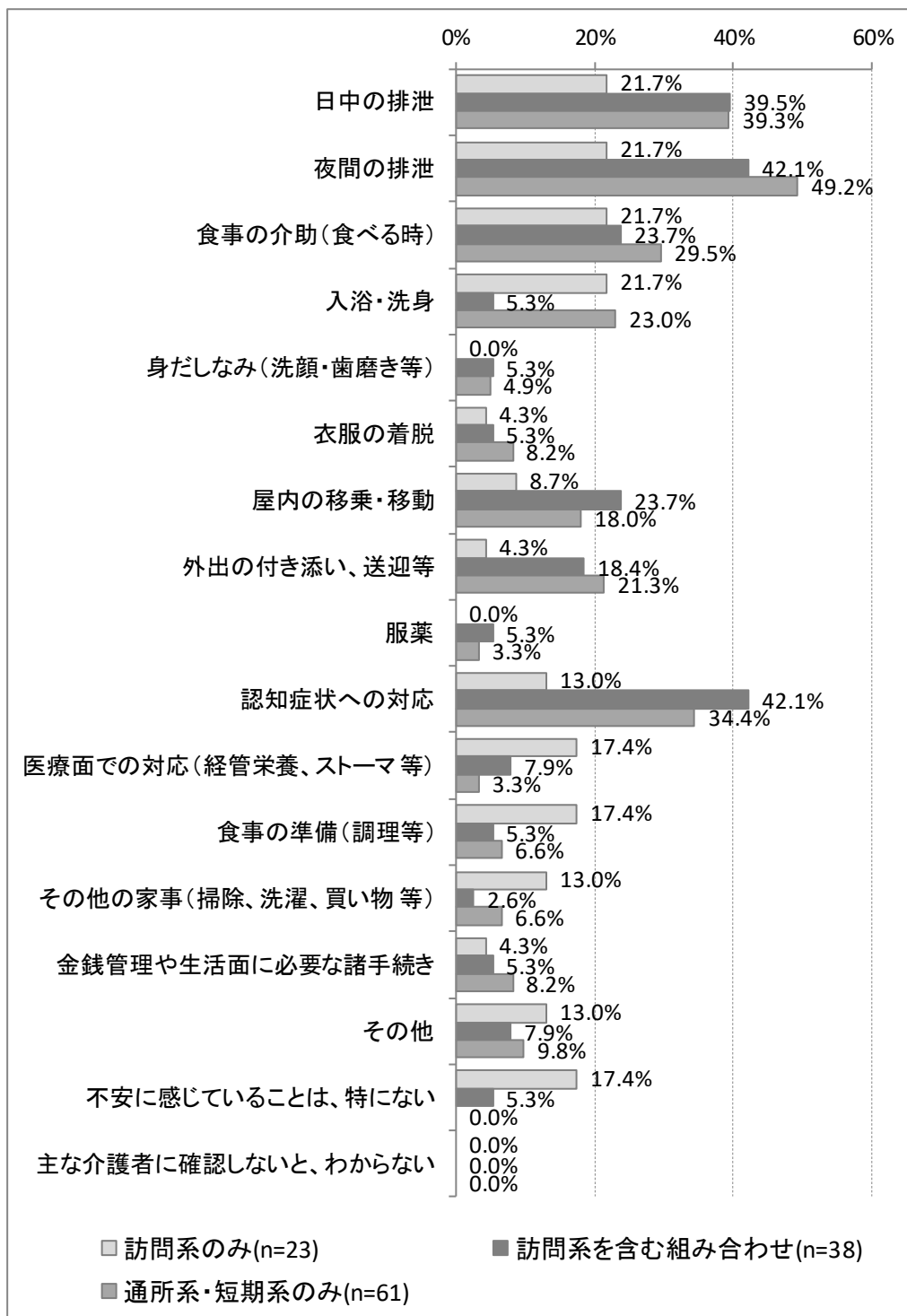
認知症自立度別に主な介護者が不安を感じる介護等をみると、Ⅲ以上で「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「認知症状への対応」の割合が高くなっています。一方、「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は、Ⅰほど割合が高くなっています。

図表 3-15 認知症自立度別・主な介護者が不安を感じる介護



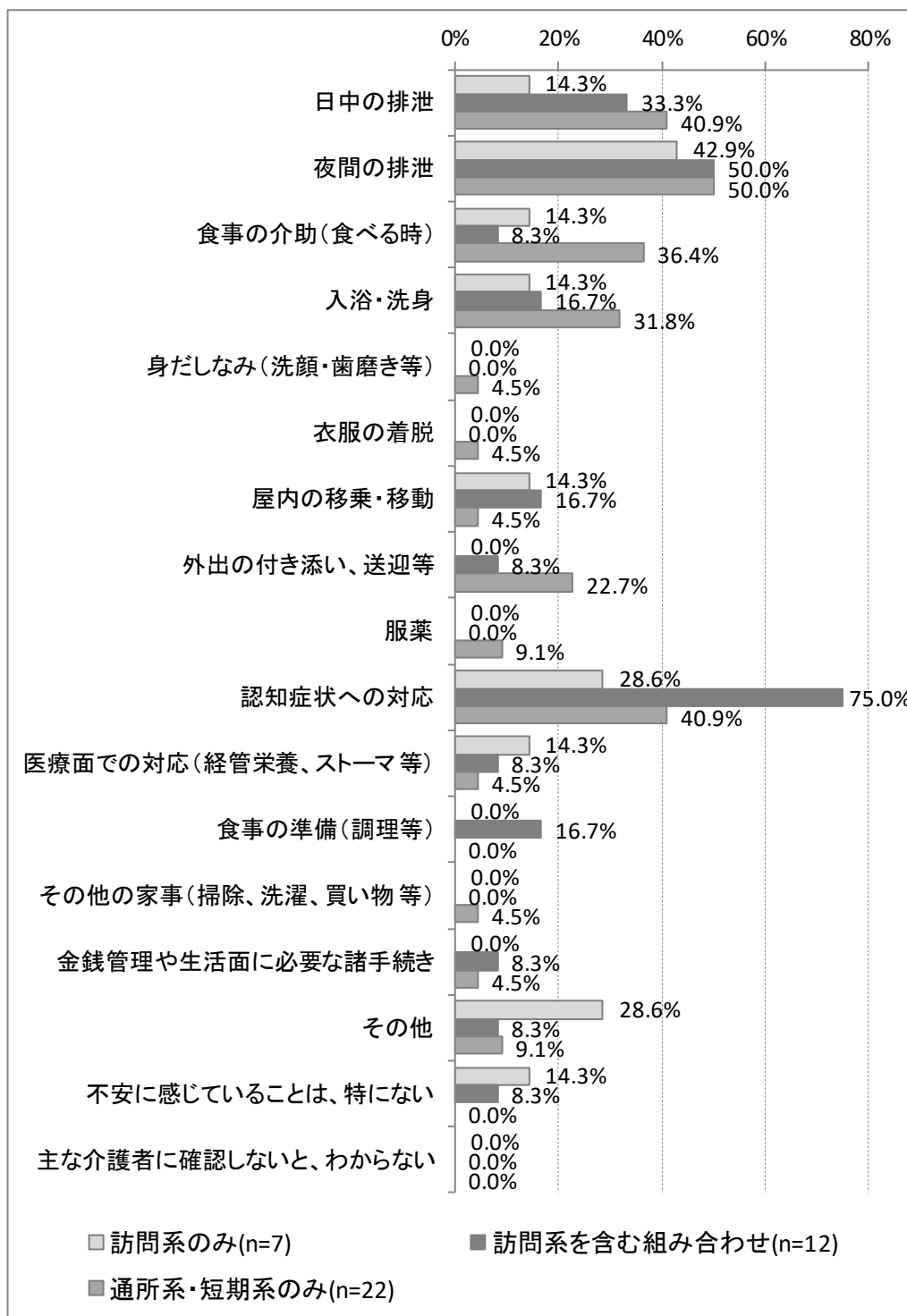
要介護3以上の要介護認定者で、サービス利用の組み合わせ別に主な介護者が不安を感じる介護をみると、訪問系のみでは「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」が21.7%と最も多くとなっています。訪問系を含む組み合わせでは「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が42.1%と最も多く、次いで「日中の排泄」が39.5%となっています。通所系・短期系のみでは「夜間の排泄」が49.2%と最も多く、次いで「認知症状への対応」が34.4%となっています。

図表 3-16 サービス利用の組み合わせ別・主な介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



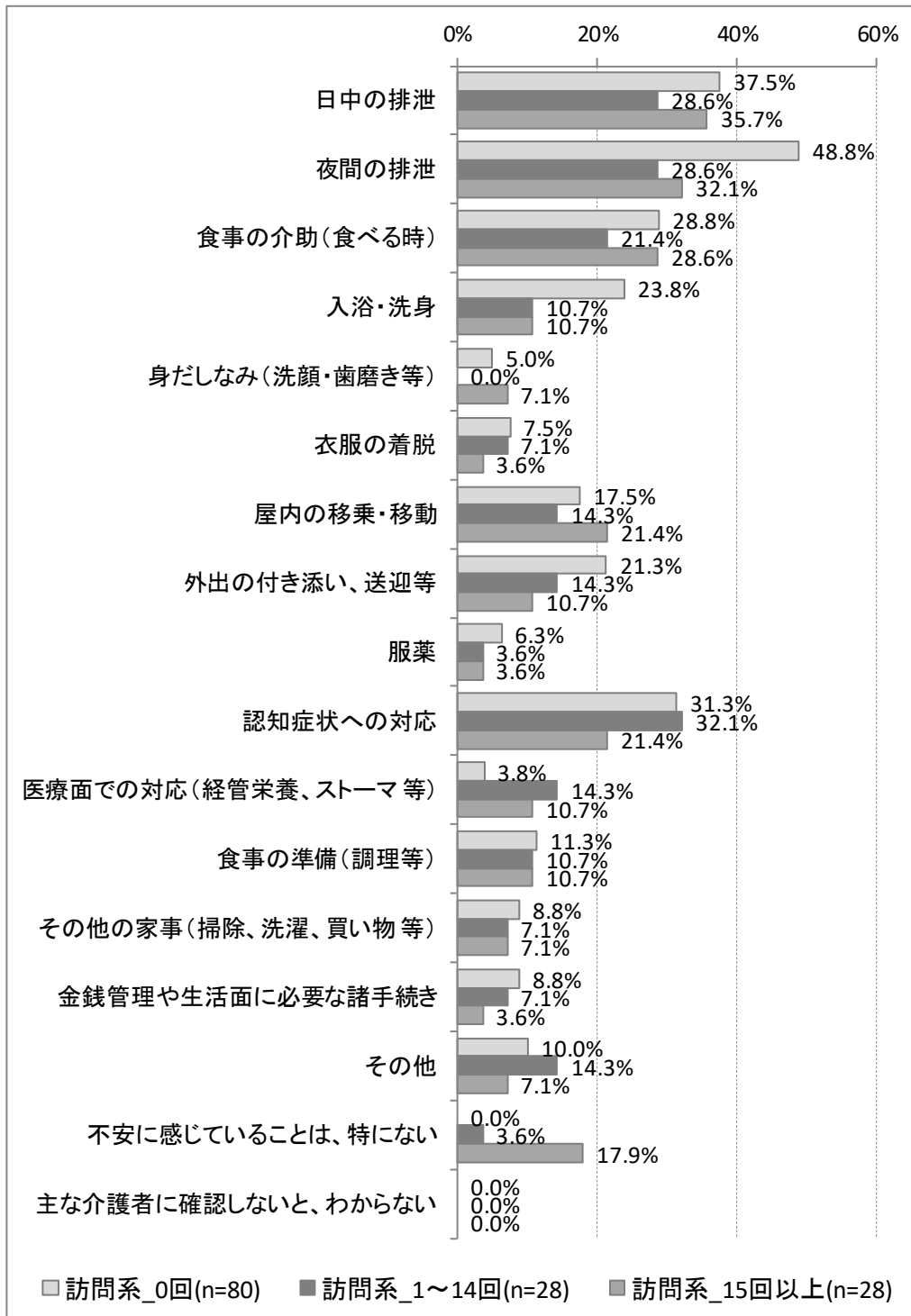
認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で、サービス利用の組み合わせ別に主な介護者が不安を感じる介護をみると、訪問系のみでは「夜間の排泄」が42.9%と最も多く、次いで「認知症状への対応」が28.6%となっています。訪問系を含む組み合わせでは「認知症状への対応」が75.0%と最も多く、ほかのサービスの組み合わせと比べて著しく多くなっています。通所系・短期系のみでは「夜間の排泄」が50.0%と最も多く、次いで「日中の排泄」が40.9%となっています。

図表 3-17 サービス利用の組み合わせ別・主な介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）



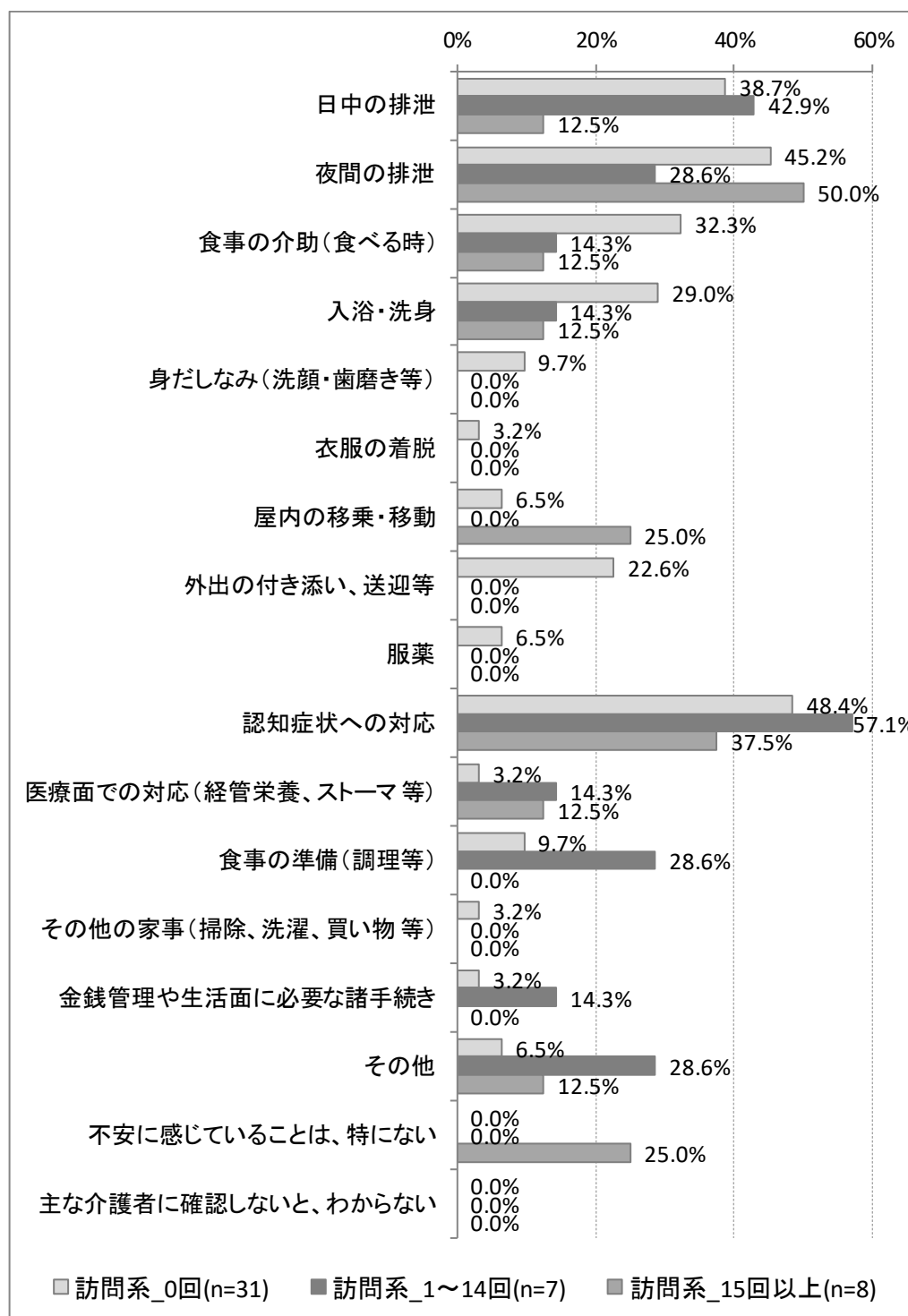
要介護3以上の要介護認定者で、訪問系サービスの利用回数別に主な介護者が不安を感じる介護をみると、利用回数0回では「夜間の排泄」が48.8%と最も多く、次いで「日中の排泄」が37.5%となっています。利用回数1～14回では「認知症状への対応」が32.1%と最も多く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」が28.6%となっています。利用回数15回以上では「日中の排泄」が35.7%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が32.1%となっています。

図表 3-18 サービス利用回数別・主な介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



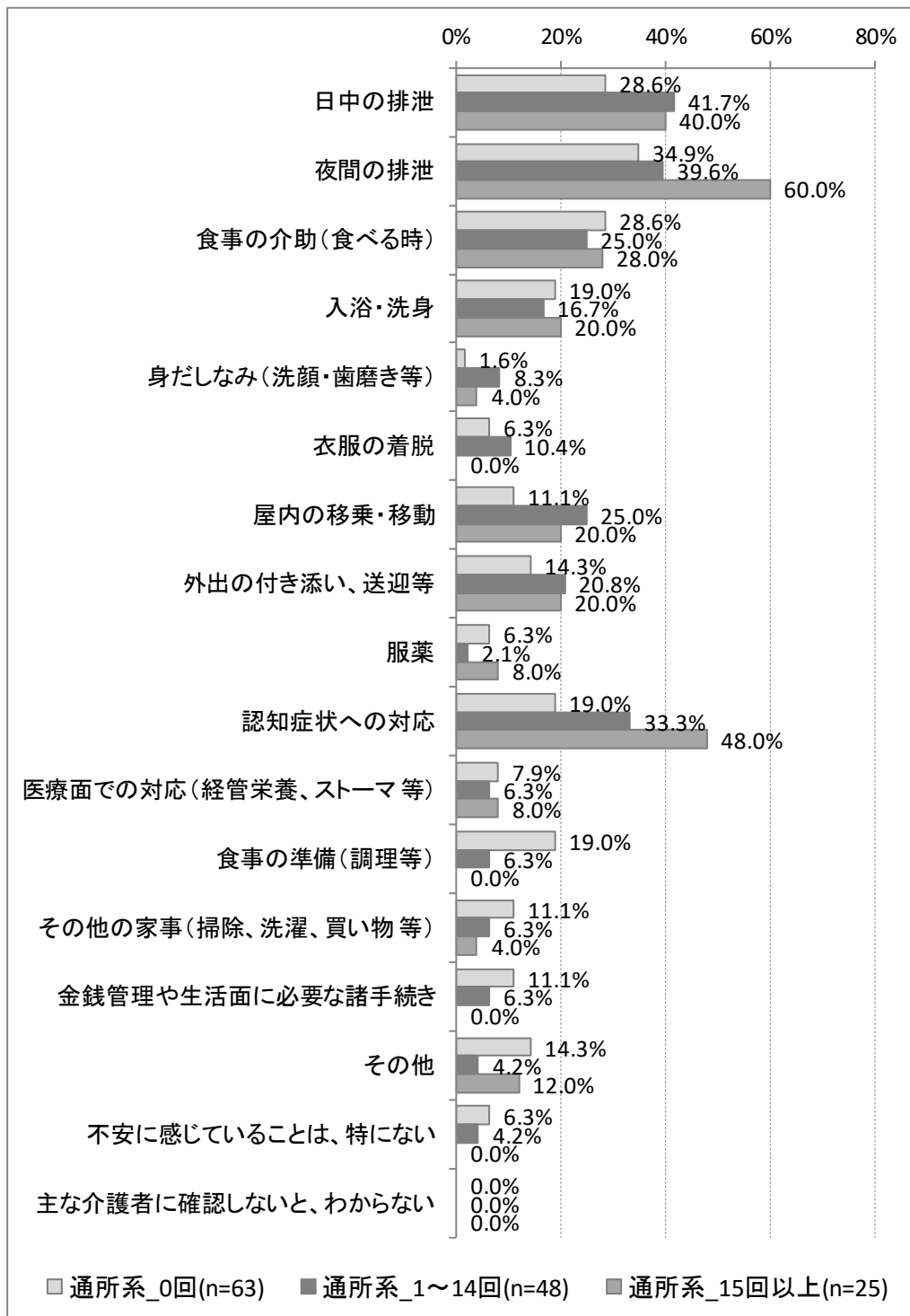
認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で、訪問系サービスの利用回数別に主な介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）

図表 3-19 サービス利用回数別・主な介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



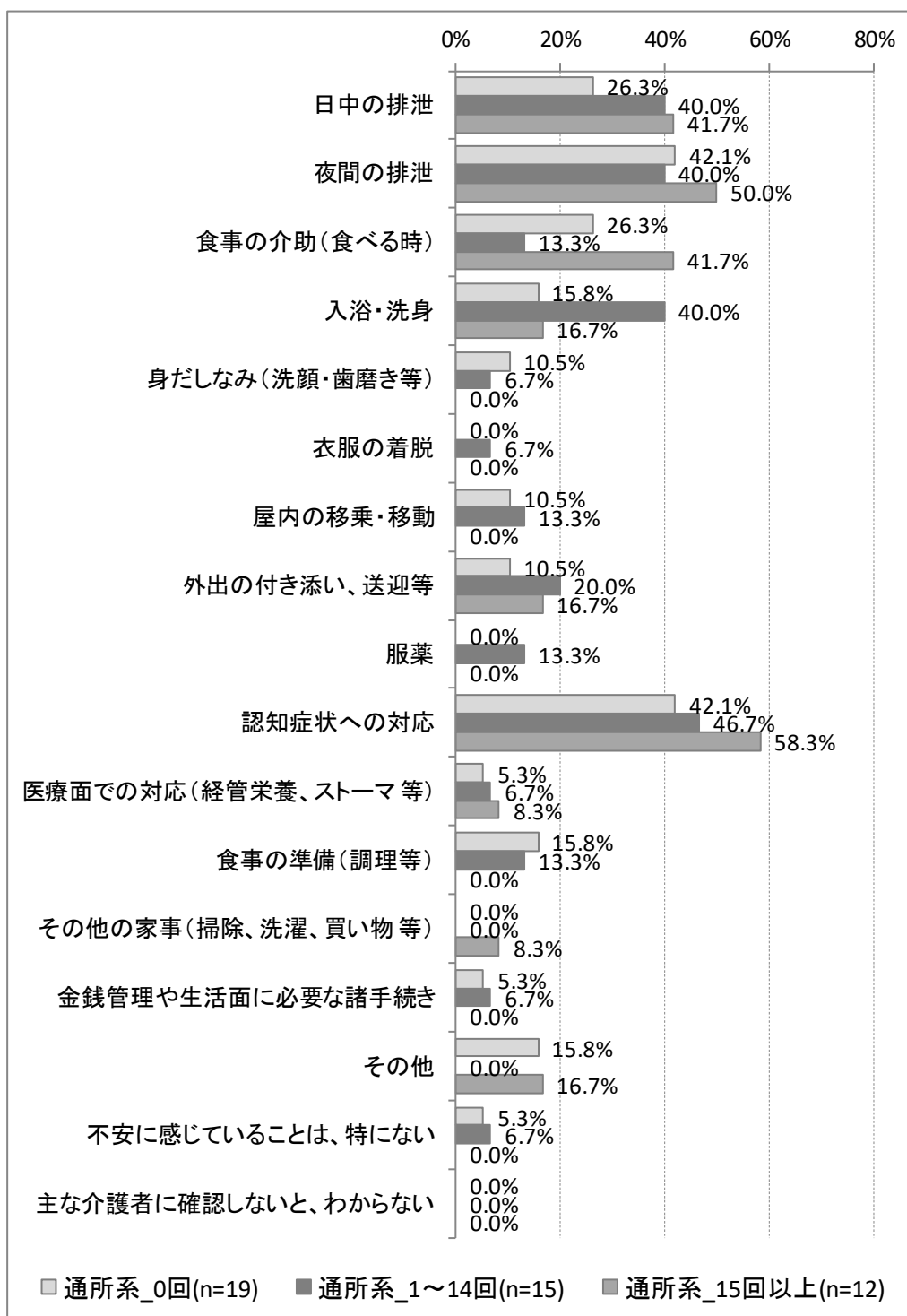
要介護3以上の要介護認定者で、通所系サービスの利用回数別に主な介護者が不安を感じる介護をみると、利用回数0回では「夜間の排泄」が34.9%と最も割合が多く、次いで「日中の排泄」「食事の介助（食べる時）」が28.6%となっています。利用回数1～14回では「日中の排泄」が41.7%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が39.6%となっています。利用回数15回以上では「夜間の排泄」が60.0%と最も多く、次いで「認知症状への対応」が48.0%となっています。

図表 3-20 サービス利用回数別・主な介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）



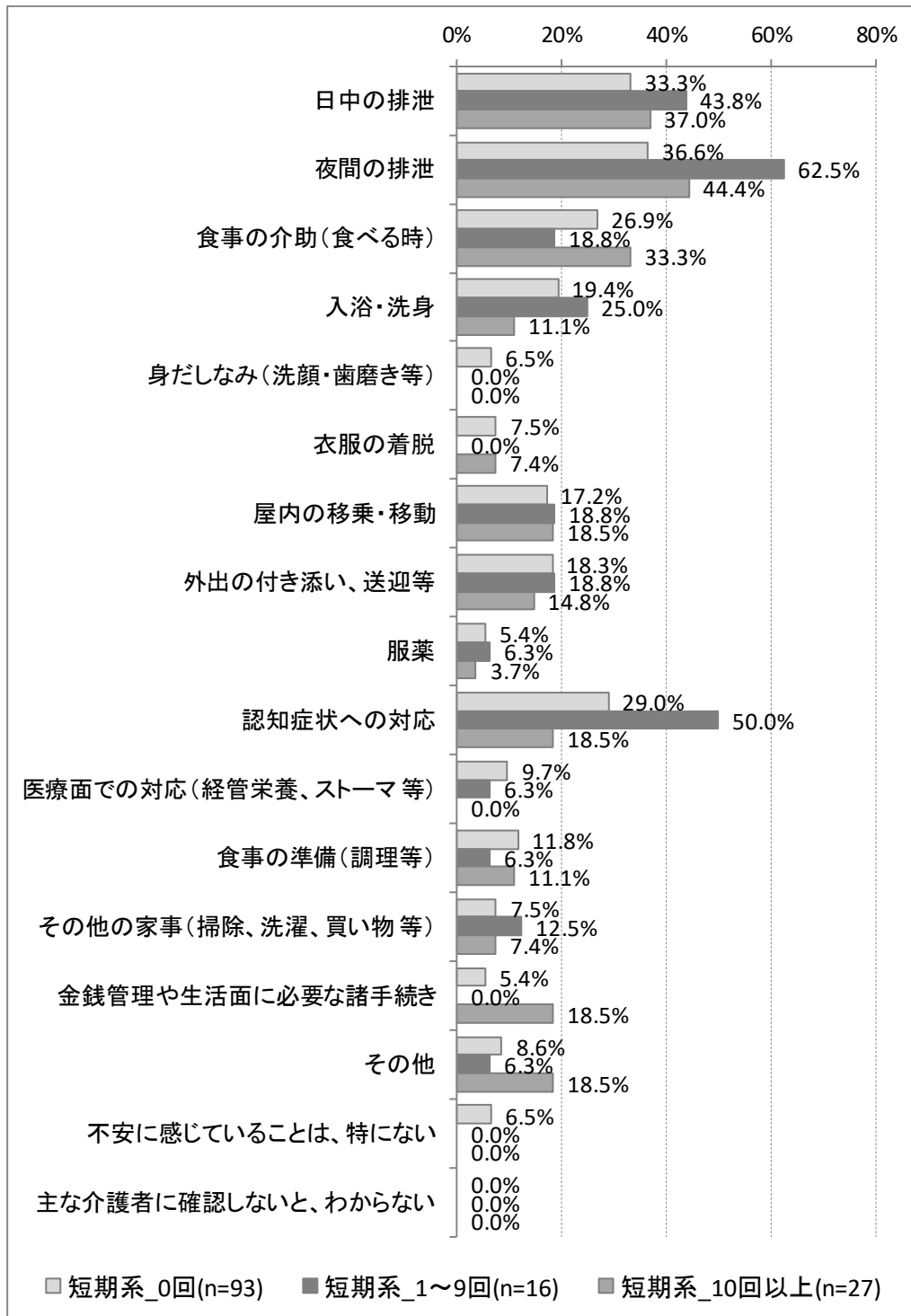
認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で、通所系の利用回数別に主な介護者が不安を感じる介護をみると、利用回数0回では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が42.1%と最も多くなっています。利用回数1～14回では「認知症状への対応」が46.7%と最も多く、次いで「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」が40.0%となっています。利用回数15回以上では「認知症状への対応」が58.3%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が50.0%となっています。

図表 3-21 サービス利用回数別・主な介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



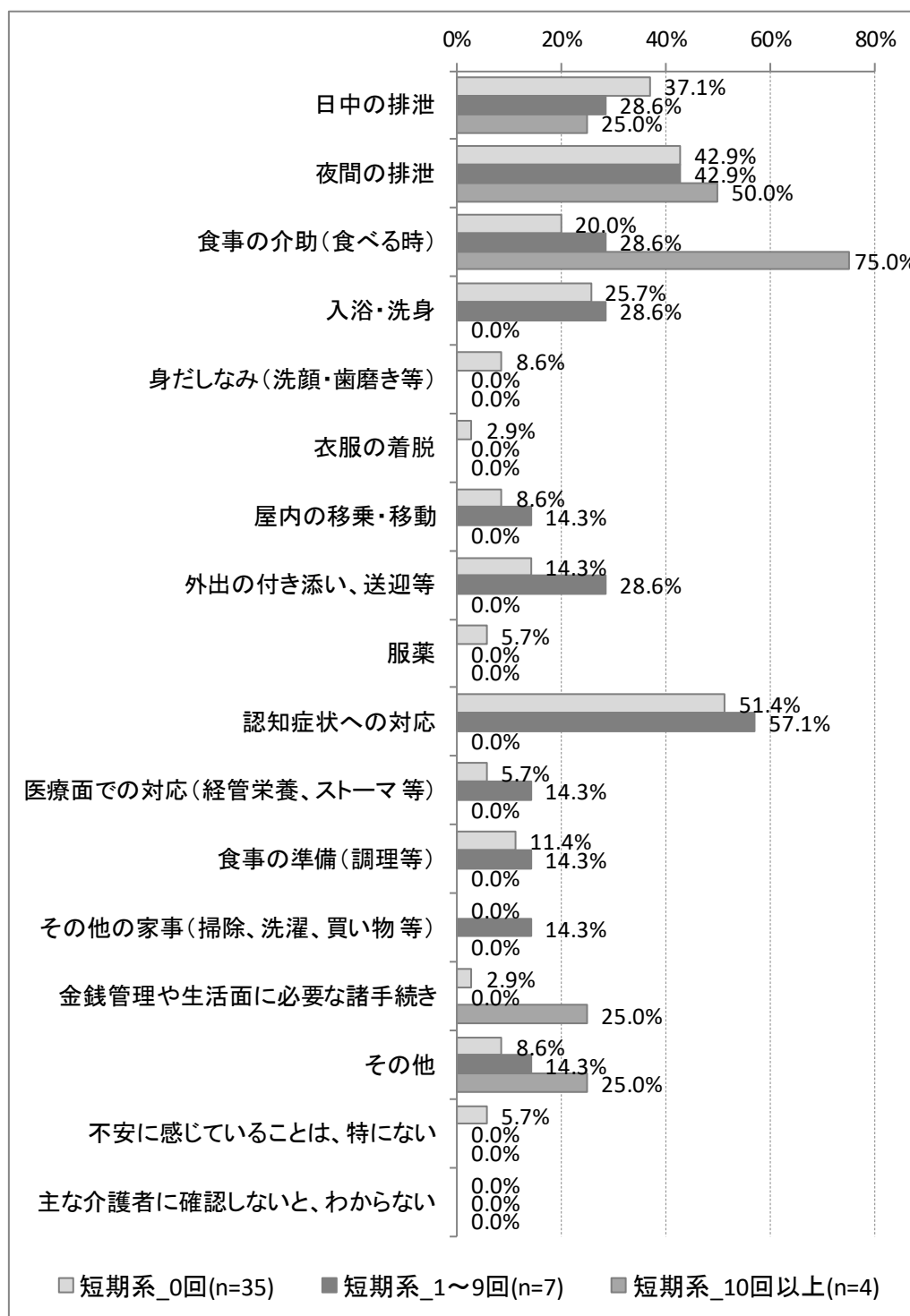
要介護3以上の要介護認定者で、短期系の利用回数別に主な介護者が不安を感じる介護をみると、すべての利用回数で「夜間の排泄」の割合が最も高くなっています。次いで、利用回数0回では「日中の排泄」が33.3%、利用回数1～9回では「認知症状への対応」が50.0%、利用回数10回以上では「日中の排泄」が37.0%と割合が高くなっています。

図表 3-22 サービス利用回数別・主な介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）



認知症自立度Ⅲ以上の要介護認定者で、短期系の利用回数別に主な介護者が不安を感じる介護をみると、利用回数0回では「認知症状への対応」が51.4%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が42.9%となっています。利用回数1～9回では「認知症状への対応」が57.1%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が42.9%となっています。利用回数10回以上では「食事の介助（食べる時）」が75.0%と、他の利用回数と比べ著しく多くなっています。

図表 3-23 サービス利用回数別・主な介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



在宅介護実態調査報告書

発行年月：令和8年3月

発行：大垣市

編集：健康福祉部 介護保険課

〒503-8601

岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

電話：0584-81-4111（内線2482、2488）